

昭和53年度

学校教育要覧



日野市立図書館 81-7354



1374800

日野市教育委員会

目 次

◇ 日野市地図	1
◇ 東京都教育委員会の重点施策	3
◇ 日野市教育委員会の教育目標と重点施策	5
◇ 日野市教育委員会学校教育の指導目標	6
◇ 市教委の学校訪問日程	13
◇ 学校教育課の年間行事計画	15
◇ 日野市教育相談室	29
◇ 日野市心身障害教育推進協議会	32
◇ 日野市立小・中学校科学教育センター	34
◇ 日野市立小・中学校使用教科書	37
◇ 指導主事分担一覧	38
◇ 日野市教育委員会事務局組織	41
◇ 小中学校教科領域研究主任一覧表	45
◇ 日野市立幼稚園・小学校・中学校要覧	
日野市立第一幼稚園	49
" 第二 "	51
" 第三 "	53
" 第四 "	55
" 第五 "	57
" 第六 "	59
日野市立第一小学校	61
" 第二 "	66
" 第三 "	71
" 第四 "	76
" 第五 "	81
" 第六 "	86
" 潤徳 "	92
" 平山 "	97
" 第七 "	102
" 第八 "	106
" 百草台 "	113
" 滝合 "	118
" 高幡台 "	122
" 南平 "	127
" 程久保 "	132
" 旭が丘 "	135
" 平山台 "	140
日野市立第一中学校	144
" 第二 "	150
" 七生 "	155
" 第三 "	160
" 第四 "	165
" 三沢 "	171

日野市全図

- ◇ 市立幼稚園 (6園)
- 市立小学校 (17校)
- 市立中学校 (6校)



日野市役所

1 : 30,000

0 500 1000 2000m

昭和 53 年度東京都教育委員会の 教育目標、学校教育の指導目標、重点事項

1 東京都教育委員会の教育目標

人間尊重の精神を養い、広く国際社会において信頼と尊敬を得られる国民的資質を高め、勤労と責任を重んじ、自主性と創造性に富み、規律正しく健康で情操豊かな都民を目指して、教育を推進する。

2 学校教育の指導目標

東京都公立学校においては、都民の期待にこたえ、未来への展望に立って、教育の本質と学校教育の在り方について深く考え、幼児・児童・生徒・学生（以下児童・生徒という）の資質・特性や地域の実態に即して、ひとりひとりを生かす教育を推進する。

特に学校経営に創意工夫をこらし、教師の識見・能力を高めるとともに、児童・生徒及び、父母との信頼を一層深めて、学校教育の充実に努める。

そのため、次の事項に重点をおく。

- 人権尊重の教育
- 健康・安全の教育
- 教育内容・方法の改善
- 生活指導・進路指導の充実

3 重 点 事 項

重点事項は、各項目が独立したものではなく、相互に有機的な関連をもつものである。各学校においては、これら重点事項を十分考慮し、それぞれの実態に応じて学校教育目標や年度の重点を設定し、教師ひとりひとりの日々の研究・実践の充実に図るとともに、ゆとりのあるしかも充実した学校生活を送れるよう学校・学年・学級経営の推進に努めることが大切である。

○ 人権尊重の教育

日本国憲法に基づき、教育基本法に示された教育の目的を達成するためには、学校教育の全体を通して人権尊重の教育を徹底することが重要である。

特に各学校においては、同和対策審議会答申並びに同和対策事業特別措置法の趣旨を体して、差別や偏見をなくすよう努める。

また、心身に障害をもつ児童・生徒に対しては、その障害の種別・程度に応じて、ひとりひとりに適切な教育を行うよう配慮することが必要である。

○ 健康・安全の教育

生命尊重の精神に基づき、健康で幸福な生活を築くためには、心身の調和のとれた発達を図ることが重要である。

各学校においては、児童・生徒の生活環境をは握し、教育活動の全体を通して、健康・安全に関する望ましい態度や能力を身につけさせるように努め、交通安全、公害、防災等に関する教育の推進を図ることが必要である。特に地震等による災害に対して、児童・生徒の安全を確保するよう、適切な方策を立てて指導することが大切である。

○ 教育内容・方法の改善

ひとりひとりの児童・生徒の可能性を最大限に伸ばすためには、基礎学力の充実を図り、児童・生徒が自ら進んで学習する態度を養い、正しい判断力や創造的な思考力を育成することが重要である。

各学校においては、研究・研修を充実して、指導内容の精選・集約を図り、指導方法の改善に努め、その成果を教育課程の編成・実施に生かすことが必要である。また、過疎・過密など、それぞれ地域の実態に即し、ひとりひとりを生かす効果的な指導を行うように配慮することが大切である。

○ 生活指導・進路指導の充実

児童・生徒の個性を伸長し、豊かな人間性を育成するためには、社会の一員として自己実現を図る態度や能力を身につけさせることが重要である。

各学校においては、児童・生徒に対する理解を深め、父母の要望を十分には握するとともに、全校的な指導体制を一層強化して、生活指導・進路指導の充実を図ることが必要である。

また、特に家庭・地域社会及び関係諸機関との連携を密にして、児童・生徒の問題行動等を未然に防止する指導を強化することが大切である。

昭和 5 3 年度

日野市教育委員会の教育目標と重点施策

1 日野市教育委員会の教育目標

人間尊重の精神を養い、広く国際社会において信頼と尊敬の得られる国民的資質を高め、地域の文化・自然を大切にし、市民相互の信頼による社会連帯意識を育て、心身ともに健康で個性豊かな人間形成をめざす教育を生涯教育の計画のもとに推進する。

2 重 点 施 策

生涯教育の計画を推進するために各課の連携を一層密にし各項相互の有機的な関連をはかりこれを推進する。本年度は特に、それぞれの重点事項に関する 具体的目標を策定しこれの充実を期していくことに努める。

- (1) 教育施設の充実と教育環境の整備
- (2) 学校教育の内容の充実と授業研究の推進
- (3) 生涯教育に立脚し、青少年及び成人に対する教育の充実と、文化財保護の振興
- (4) 健康と体力向上に対する教育活動の充実と学校開放の推進
- (5) 市民のための資料の充実と図書館サービス活動の促進

昭和53年度 学校教育の指導目標

教育基本法の精神及び東京都の学校教育の指導目標の徹底に努めながら、教育の本質と学校教育のあり方について日野市の実態に即して深く考え、地域及び父母との連携をはかり、ひとりひとりの幼児・児童・生徒を生かす指導の徹底に努める。

特に本年度は、新学習指導要領の研究と円滑な移行措置の実施につとめるとともに、「授業」についての教師の研修を充実し、長期的展望にたつて「ゆたかな人間性」を育てる教育と「基礎学力の充実」についての研究を推進する。

重点施策

- 人権尊重の教育
- 社会連帯意識を育てる教育
- 健康・安全の教育
- 授業研究の推進
- 心身障害教育の深化
- 幼児教育の質的充実

重点事項について

各学校（園）では、重点事項に示したことがらを経営に生かすとともに、さらに創意あるものとし、教職員相互の研修を深め、活力にみちた日々の活動を展開し、日野市の教育の向上に努めること。

○ 人権尊重の教育

すべての国民に基本的人権の享有を保障する日本国憲法の精神を根底とし、教育基本法に示された教育を徹底することが必要である。

特に各学校では、同和対策審議会の答申、並びに同和対策事業特別措置法の趣旨を体し、学校教育の全体を通して、あらゆる差別や偏見をなくして、基本的人権を尊重する同和教育の推進に努めなければならない。

1. 地域や幼児・児童・生徒の実態を的確にとらえ、学校のエ育活動全体を通して不合理や差別、偏見をなくし、基本的人権を尊重する精神を育成し、特に、ひとりひとりが尊重されかつ、相互に尊重し合える人間関係の成立に努める。
2. 同和教育について全職員の認識を深め、同和教育のあり方や、指導についての研究を推進し、これを教育課程に生かすようにする。
3. 幼児・児童・生徒の最大限の発達をめざす指導により、ひとりひとりが主体的に目標を立て、常

に明るく充実した生活が営めるようにする。

4. ひとりひとりが自己の能力や適性を最大限に発揮できるよう適切な学習指導・生活指導及び進路指導の徹底をはかる。

○ 社会連帯意識を育てる教育

日野市の急激な都市化は、自然環境を著しく変貌し、また、市民の地域や教育に対する意識、願望も多様なものへと変化してきている。

このような社会の中で、学校が地域に果たす役割を自覚し、「開かれた学校」のあり方を追求するとともに、歴史的に継承され発展してきているさまざまなものに対する理解と、批判力、感受性を育て、郷土を愛する心を育てるとともに、社会的な活動に進んで参加し、その中で自他とともに生かすことができるような社会的連帯意識と責任ある行動とを育てることに努めなければならない。

1. 郷土の自然、文化遺産についての理解を深め、これを愛し保護する教育に努める。
2. 自分を見失わない主体性を育てるとともに、信頼と尊敬を得られる責任ある行動的な態度の育成に努める。
3. 自他の自由を尊重し、自分と異なる意見や立場を重んじながら、互に協力し合う市民意識の育成に努める。
4. 地域のみにとどまらず、自国の歴史と伝統を愛し、文化に深い理解を持つ国民的自覚を育てるとともに、他国の文化をも尊重する国際理解の教育を推進する。

○ 健康・安全の教育

生命尊重の精神を養い、健康の増進と安全の保持をはかることは、心身の調和的発達のうえに極めて重要なことである。

特に都市化が進んでいる日野市にあつては、地域の実態ともあわせて、幼児・児童・生徒が心身ともにたくましく、健康で安全に生活できる態度を身につける教育の徹底をはからなければならない。

1. 生命を尊び、心身の健康の増進をはかり、節度と調和のある生活ができるよう、教育活動の全体を通して指導の徹底をはかる。
2. ひとりひとりに、健康で安全に関する望ましい態度や能力、生活習慣を身につける指導の徹底をはかり、非行の防止につとめる。
3. 幼児・児童・生徒の生活環境の実態をじゅう分は握し、早期対策をたて、これを基に適切な教育の計画をたて、効果的な指導を行うようにする。
4. 災害発生に対し、幼児・児童・生徒の安全がはかられるよう、その組織と方法を明らかにする。
5. 生命尊重の教育の重要性について、地域・父母への啓蒙をはかるとともに、その指導にあたっては連携を深めることに努める。

○ 授業研究の推進

児童・生徒に生気と気はくを与え、ひとりひとりの可能性を最大限に発揮させ、創造的な個性を発見し、これを伸長する教育をめざして、日野市では授業研究に取り組んできている。

本年度もこれを推進し、子ども自らが主体的にとりくむ授業の創造に努める。

1. 日野市立小中学校全校が授業研究にとりくみ、教師の自己研修の場を拡大し、資質の向上に努める。
2. 各学校間で授業研究の交流をはかり、特に幼稚園と小学校低学年、小学校高学年と中学校の指導方法についての関連をいっそう密にすることに努める。
3. 児童・生徒の創造的個性の実態をは握することに努め、その伸長のための授業の方法を追求する。
4. 学習の記録をもとに授業分析を行い「よい授業」の成立条件を明らかにすることに努める。
5. 教育課程の基準の改訂の背景とねらいを正しくとらえ、新学習指導要領の内容、移行措置要領についての理解を深め、「ゆたかな人間性」を育てる教育と「自らの力で思考し、正しく判断して行動できる子」の育成に努める。

○ 心身障害教育の深化

心身に障害を持つ幼児・児童・生徒で、就学を希望する者に適切な教育を施す方策を推進しているが一方、障害の程度は重度化・多様化・重複化の傾向を示し、心身障害教育の重要性と困難性は著しく増大してきている。

こうした現況下において改めて心身障害教育の本質と課題とを深く考えるとともに、ひとりひとりの発達の可能性をひき出し、障害を克服して、明るく強く、生きがいを持つような教育の推進に努める。

1. 心身障害児教育について、全教職員の共通理解をいっそう深め、ひとりひとりを生かす教育の徹底を期することに努める。
2. 心身障害児教育の本質と課題を考え、幼児・児童・生徒の実態をじゅう分考慮した教育目標、教育の重点を設定し、障害に応じた指導の方法を工夫する。
3. 心身障害学級設置校にあつては、全校児童・生徒に、障害を持つ児童・生徒についての正しい認識と理解を与え、相互に協力し合える交流の場を積極的に設けることに努める。
4. 障害の重度化、多様化、重複化に応じて指導内容を精選し、ひとりひとりの発達の可能性をひき出し、伸長する指導方法を追求する。
5. 学校と家庭、教育相談、医療及び福祉機関等との連携をいっそう密にし、心身障害教育の望ましいあり方を研究する。

○ 幼児教育の質的充実

幼児教育の重要性と幼稚園教育に対する市民の要請に応えるために、日野市では幼稚園に入園を希

望するすべての5才児を就園させることを目標に幼児教育の充実をすすめてきている。

最近における幼児の発達には加速度的現象がみられている現況をふまえて、幼児の実態をじゅう分には握し、幼児教育の充実に努める。

1. 幼児の生活実態や心身の発達と環境とのかかわりあいについての研究を深め、これを教育計画に生かすように努める。
2. 幼児ひとりひとりが活力にみちた活動ができるよう、行動記録をとり、幼児理解を深め、これを日々の指導に生かすことに努める。
3. 幼稚園教育と小学校低学年の教育との関連についての研究を深め幼児教育のあり方を追求する。
4. 幼稚園と保育園との連携を深め、研究の交流や教育の一体化をはかることに努める。
5. 心身障害幼児を一般幼児の中で教育する場合の教育計画や指導の方法・環境のあり方について研究を深める。

◎ 小学校教育の方針

1 学校経営・学級経営

- 1) 地域及び父母との心の交流をはかり、地域の実態に応じて開かれた学校経営に努める。
- 2) 各学校の教育目標が学年、学級を通じて児童の望ましい人間形成のためにじゅう分具現化されているか、学校経営全体の立場からこれを検討し、その改善をはかる。
- 3) 「学校評価基準」「学校経営の手引き」などを活用して、いっそう学校経営における創意とくふうに努める。
- 4) 正常な学校運営に基づいて学年及び学級経営の充実をはかるとともに、学級担任教師はその専門性と指導性の向上に努める。
- 5) 学級担任教師は、児童ひとりひとりの個性と能力について正しく理解するとともに、心身に障害のある児童の教育にいっそう理解を深め、心の交流がじゅうぶん行なわれるよう配慮する。

2 教育課程・学習指導

- 1) 教育課程の編成に当っては、地域及び児童の実態に基づいて調和と統一がはかれるように努める。
- 2) 教育課程の実施に当っては、教育の成果が児童ひとりひとりに正しく身にそくよう万全を期する。
- 3) 学習指導に当っては、目標の明確化、内容の精選、指導方法の刷新を期した授業を進めるとともに児童の学習態度が意欲的になるようくふうし、また、その評価についてあわせて研究する。
- 4) 学習環境を整備し、教材教具の活用にも努めるとともに、効率の高い学習指導の方法について研究する。
- 5) 指導要領の研究とその実践化に努めるとともに、幼児教育及び中学校の教育課程との関連について考えるようにする。

3 道徳教育・生活指導

- 1) 深く児童の心にふれあつて、その徳性と社会性が正しく養われるように学校教育全体の中で計画的に適切な指導をする。
- 2) 生活指導の成果が児童ひとりひとりに正しく身につくよう、その組織及び方法についてじゅう分研究をする。
- 3) 生活指導と教科及び道徳の指導との連携をいっそう深めるとともに、教育相談的方法の推進をはかり、あわせて学校教育相談の望ましいあり方について研究をする。
- 4) 児童を通じて学校と家庭との連携に配慮し、学校教育における正しい人間形成のあり方について家庭の理解を深める。
- 5) 学校の全教育活動の中で、教師が児童と一体となって道徳教育を進める。

4 健康・安全教育

- 1) 児童の体力の向上に努めるとともに、心身の調和のある発達を期する。
- 2) 児童の生命尊重に万全を期し、強力かつ効果的な安全指導を行なう。
- 3) 地域の実態に即し、交通安全教育の徹底をはかる。
- 4) 児童が健康で安全な生活が送れるよう、保健及び安全教育の実践に努める。
- 5) 火災及び地震等の災害発生に対し、児童の安全がはかれるよう、その組織と方法を明らかにしておく。

5 情操教育・科学教育

- 1) つねに学校教育の全般を通じて人間性に即した豊かな心情がつつかわれるようじゅう分配慮する。
- 2) 読書指導の推進と教育機器の活用に努める。
- 3) 科学的なものの見方、考え方を伸ばす教育の推進をはかる。
- 4) 科学教育を進展させる設備・器具の充実と、その効果的利用に努める。

◎中学校教育の方針

1 学校経営・学級経営

- 1) 地域及び父母との交流をはかり、地域の実態に応じて開かれ学校経営に努める。
- 2) 「学校評価基準」「学校経営の手引き」等の活用により、学校経営に創意くふうをし、望ましい学校教育を推進する。
- 3) 学力を充実し、情操を培い、体力を養う等、生徒の望ましい人間形成をめざして、全教職員が一体となって指導に当るように努める。
- 4) 学級担任教師は、生徒ひとりひとりを把握し、理解し、心の交流がはかれるよう配慮するとともに教科担任教師との連絡を密にし学級経営の充実をはかる。
- 5) 学年の中における学級担任相互の連絡を密にし、学年経営をくふうする。さらに学年相互の連絡がとれるよう努める。
- 6) 心身障害学級を設置する学校においては、心身障害学級と一般学級との交流をはかり、協力的な指導体制を整えるようにする。

2 教育課程・学習指導

- 1) 教育課程の編成に当っては、地域及び生徒の実態に基づいて調和と統一がはかれるよう努める。
- 2) 各教科、領域の指導に当っては、指導のねらいを明確にし、指導内容の精選をはかり、指導方法の改善を期した授業の研究に努める。
- 3) 学習評価の研究をすすめ、能力、適性を生かすように努める。

- 4) 教材・教具の効果的な活用・教育機器の利用についてもくふうし学習指導の充実をはかる。
- 5) 指導要領の研究とその実践化に努めるとともに、小学校の教育課程との関連について考える。

3 道徳教育・生活指導

- 1) 学校の全教育活動の中で道徳教育を進める。
- 2) 各教科、道徳、特別活動の中において生活指導の徹底をはかり、常に生徒と教師との心のふれあいに努める。

4 健康・安全教育

- 1) 体育の時間はもちろん、クラブ活動、その他の教育活動を通して体力の増強をはかり、さらに保健指導の充実と相まって健康な生活ができるように努める。
- 2) 安全確保は学校で常に留意しなければならない。学習指導中における安全指導、校外における安全指導にも力を入れるようにする。
- 3) 火災及び地震等の災害発生に対し、生徒の安全がはかれるようその組織と方法を明らかにしておく。

5 情操教育・科学教育

- 1) 人間性豊かな心情を養い、科学的態度を身につけるよう環境づくりに配慮する。

6 進路指導

- 1) 個々の生徒の能力、適性をよく把握し、それに応じられるように努める。

◎幼稚園教育の方針

1. 学級経営について創意くふうし、個々の幼児の特性を理解し、個性の伸長に努める。
2. 教育課程の編成に当っては、地域、幼児の実態に基づき、小学校低学年との関連をはかりながら改善をはかる。
3. 指導のねらいを明確にし、指導内容を検討し、指導方法のくふうに努める。
4. 健康安全の生活習慣を身につけるように努める。とくに交通安全については地域、父母との連携をはかり、これの徹底に努める。
5. 心身に障害を持つ幼児や、特別な配慮を要する幼児については、特に深い理解を持ち、ひとりひとりを生かすための適切な園、学級経営に努める。
6. 家庭との連絡を密にし、幼児の望ましい成長を助けるようにする。
7. 環境改善についてくふうし、豊かな情操を培うとともに、正しい科学的態度が身につくように努める。
8. 幼保、私立幼稚園との連絡を密にし、研究の交流、保育の一貫性がはかれるように努める。

市教委の学校訪問について

1 趣 旨

学校訪問は教育長・庶務課長・学校教育課長・指導主事が学校の教育活動の実態に直接触れることで、①学校の当面する教育指導上の諸問題をとらえ、②それらの問題を学校のもつ諸条件に基いて解決するように実践し、③あわせて日野市の全般的な教育活動を把握して指導行政の参考とするため実施する。

昭和53年度は、次の三方法にわけ、教育課程実施上の諸点について教職員と協議懇談するところに重点をおく。

(1) 市教委訪問 A

年間一度、教育長、庶務課長・学校教育課長・指導主事が訪問し、学校経営全般にわたって実態を把握し、指導助言する。

内容は ①校長の概況説明 ②授業参観 ③施設・設備の活用状況の参観 ④教職員との協議懇談等を含む。

(2) 市教委訪問 B

年間一度、市教委訪問のない学期に指導主事が訪問する。

内容は ①学級経営 ②教科指導 ③道徳指導 ④生活指導 ⑤その他

(3) 要請訪問

各学校の要請に基づき指導主事が訪問し、指導助言する。

2 昭和53年度市教委訪問日程

No	小学校	訪問別	市教委訪問 A	市教委訪問 B
1	日野第一小			53年 6月29日(木)
2	日野第二小	53年 6月 9日(金)		53年12月 6日(水)
3	日野第三小			53年12月 7日(木)
4	日野第四小	54年 1月29日(月)		53年 6月12日(月)
5	日野第五小			53年 6月 7日(水)
6	日野第六小	53年11月27日(月)		54年 2月 9日(金)
7	潤徳小			53年10月12日(木)
8	平山小	53年 7月12日(水)		53年10月30日(月)
9	日野第七小			53年11月29日(水)
10	日野第八小	53年12月 8日(金)		53年11月15日(水)
11	百草台小			54年 2月 7日(水)
12	滝合小	53年 7月 6日(木)		53年12月 1日(金)
13	高幡台小	53年 6月 8日(木)		53年 9月20日(水)
14	南平小	53年11月 2日(木)		54年 1月26日(金)
15	程久保小			53年11月22日(水)
16	旭が丘小			53年10月 9日(月)
17	平山台小	53年 7月17日(月)		54年 2月20日(火)

中学校	訪問別	市教委訪問 A	市教委訪問 B
1 日野第一中			53年 9月11日(月)
2 日野第二中		53年11月13日(月)	54年 2月26日(月)
3 七生中			54年 1月24日(水)
4 日野第三中		53年 7月 7日(金)	54年 2月21日(水)
5 日野第四中		53年11月10 (金)	53年 6月21日(水)
6 三沢中			53年11月 1日(水)

幼稚園	市教委訪問 A	市教委訪問 B
1 日野第一		53年 5月31日(水)
2 日野第二	54年 2月 1日(木)	53年10月 4日(水)
3 日野第三		53年 6月30日(金)
4 日野第四	53年 5月22日(月)	53年 9月22日(金)
5 日野第五		53年 5月10日(水)
6 日野第六	53年 5月23日(火)	54年 2月28日(水)

昭和 5 3 年度
学校教育課の年間行事計画

A 一般研修

名称	ねらい・方針	期日	内 容・方 法	会 場	対 策
学校経営研修会 (5回)	市立小中学校・幼稚園の運営にあたる教職員を対象として、教育課程の基準の改善の趣旨に即した適正な学校・園の管理・運営のあり方を求めて、学校経営や学習指導の知識や技能の充実をはかる講演を主に研修をする。 (井沢、渡辺)	5 / 25 (木)	マスコミから見た現代教育	市 役 所	等校 は長 か・ 一園 般長 教・ 諭教 頭・ 主任
		7 / 18 (火)	学校教育に期待するもの		
		8 / 15 (火)	学校経営と諸法規		
		10 / 17 (火)	東京都における教育上の課題		
		12 / 14 (木)	創意ある学校経営		
教育課程研修会 (5回)	新教育課程の基準の改善、学習指導要領の改訂について研修し「学校教育の人間化」をみざした教育課程の編成について研修する (井沢、渡辺)	6 / 26 (月)	小中道徳 教育課程の編成と指導		中 小 一 般 教 諭
		10 / 13 (金)	小中学校 総則・一般編		
		11 / 6 (月)	小学校 特別活動		
		1 / 23 (火)	中学校 特別活動		
幼児教育研修会 (3回)	幼稚園と保育園の交流を進めながら、幼児教育の充実をはかるために教育課程の編成と実施を中心に研修する。 (井沢、渡辺)	3 / 8 (木)	研究発表 小中学校 総則・一般編、道徳特活		公私立 立 幼 保 育 園 教 諭
		5 / 9 (火)	幼児教育における諸問題 －幼保の関連をおさえて－	市 役 所	
		9 / 19 (火)	幼児の発達とことばの指導 －言語の領域－		
		3 / 2 (金)	絵画製作の指導 －絵画製作の領域－		
同和教育研修会	同和教育を現場で具体的に推進するときに基本的な事項の理解を深める。 (井沢、渡辺)	5 / 25 (木)	学校経営と同和教育(小) (10:00～12:00)	立川 中央公民館	園 長 校 長
		6 / 1 (木)	学校経営と同和教育(中) (10:00～12:00)	立川 合同庁舎	中 校 長
		6 / 13 (火)	学校経営と同和教育		幼主任 小教頭

名称	ねらい・方針	期 日	内 容・方 法	会 場	対 象
同 和 教 育 研 修 会	同和教育を現場で具体的に 推進するときに基本的な事項 の理解を深める。 (井沢、渡辺)	6 / 26 (月)	学校経営と同和教育		中 教 頭
		6 /	教科指導と同和教育	市 役 所	小 教 中 教 諭
		9 / 18 (月)	国語科における同和教育	未	小 教 諭
		10 / 12 (木)	社会科における同和教育		
		10 / 27 (金)	道徳指導と同和教育		小 中 学 校 一 般 教 諭
		11 / 17 (金)	学級指導と同和教育		
		12 /	教科指導と同和教育	市 役 所	
		2 /	教育課程の編成と同和 教育	市 役 所	
新 任 教 諭 兼 学 級 経 営 研 修 会 (10回)	教員の職責の重要性を認識 した上で各学校の教育目標に そって、一人ひとりの児童・ 生徒の能力・特性を十分に伸 ばす学習指導・生徒指導・学 級経営ができるように、講演 ・授業研究を行い教職の専門 性を高める。 (渡辺、井沢)	4 / 3 (月)	・オリエンテーション ・日野市内見学	市 役 所	新 任 教 諭 ・ 経 験 三 年 未 満 の 教 諭
		5 / 2 (火)	学級経営と学級事務	市 役 所	
		6 / 23 (金)	人権尊重教育の推進と 学級経営		
		7 / 11 (火)	教育相談 児童・生徒の理解の方法		
		9 / 26 (火)	学習指導法 (国語・体育・理科)		
		11 / 21 (火)	心障教育 障害学級見学		
		12 / 5 (火)	良い授業の条件		
		1 / 16 (火)	授業研究	学 校	
		2 / 8 (木)	授業研究	学 校	
		3 / 9 (木)	・一年の反省 ・プラネタリウム見学	渋谷東急	

名称	ねらい・方法	期 日	内 容・方 法	会 場	対 象
心障教育研修会 (1)	心身に障害をもつ幼児・児童・生徒を担当したときの基本的事項について理解を深める。 (井沢、渡辺)	6 / 2 (金)	普通学級における心障教育	市役所	小中一般教諭
学習指導法研修会 (3)	市立小・中学校で児童・生徒に生氣と気はくを与え、ひとりひとりの可能性を十分に伸ばす良い学習指導が推進されるように各教科領域にわたって授業研究を中心に研修する。 (渡辺、井沢)	9 / 26 (火) 1 / 16 (火) 2 / 8 (木)	体育科指導法 授業研究 国語科指導法 授業研究 社会科指導法 授業研究	未 未 未	小中一般教諭
実技研修会 (4回)	市立小中学校で児童・生徒に学習意欲を起し進んで学習にとり組み、十分な理解の得られる学習指導が推進されるように特に実技を中心に研修を深める。 (渡辺、井沢)	7 / 28 (金) 7 / 29 (土) 8 / 7 (月) 8 / 8 (火)	教育機器実技研修 (午前) 教育機器実技研修 (午前) 幼稚園・保育園・小低学年担当教諭 器楽合奏の指導 同 上		小各中教一般担当の当教諭
学校保健研修会	健康・安全教育を進めるため学校保健のあり方を研修する (渡辺、井沢)	10 / 21 (土)	校内での安全と健康教育を充実する方法について実務上の研修を進める。	市役所	養護保健主諭任
事務職員研修会	学校運営を円滑に進める学校事務の向上をはかる。 (井沢、渡辺)	10 / 6 (金)	学校経営の一環としての学校事務について実務上の研修を高める。	市役所	務学職校員事

名称	ねらい・方法	期 日	内 容・方 法	会 場	対 象
教 育 相 談 研 修 会	市立小中学校で児童・生徒 の実態や悩みを正確にとら え、ひとりひとりに適応し た教育相談を充実させてい く方法を事例を通して研修 する。 (井沢、渡辺)	5 / 9 (火)	学校教育相談のあり方	市 役 所	教育相談員・研修員と学校の教育相談係・その他一般教諭
		6 / 16 (金)	事 例 研 究		
		7 / 11 (火)	教育相談的立場からとらえた児童理解		
		9 / 12 (火)	意欲と動機づけ		
		10 / 3 (火)	事 例 研 究		
		11 / 14 (火)	心をひらかない子へのかかわり方		
		12 / 12 (火)	事 例 研 究		
		1 / 9 (火)	自己実現の態度を育てる		
		2 / 13 (火)	事 例 研 究		
		3 / 13 (火)	研 究 発 表		

B 宿泊研修

名称	ねらい・方針	期 日	内 容・方 法	会 場	対 象
教務主任	地域と児童・生徒の実態に即した教育課程の編成と実施をめざし、他地区を参観したり、情報交換をおこなう。 (井沢)	6 / 28 (水) } 6 / 29 (木)	○ 他校訪問・新教育課程の趣旨を生かし主体的学習を促す学習指導・学級指導を実践している学校を参観し、自校の教育課程編成に生かす。		教務主任
生活指導主任	児童・生徒の実態を把握し生活指導の確立をはかるため他地区を参観したり情報交換をおこない研修を積む (渡辺、井沢)	10 / 23 (月) } 10 / 24 (火)	○ 他校訪問－参観校の生活指導組織とその実践を見学し自校の指導に生かす。 ○ 研究協議		生活指導主任
教育相談	学校および教育相談室でおこなう教育相談の交流と指導技術を高めるための研修をつむ (井沢)	8 / 3 (木) } 8 / 4 (金)	○ 研究協議 「教育相談室の運営について」 ○ 事例研究と講師の指導	御岳山 ()	教育相談員
科学センター	児童・生徒の科学的能力、技術・態度を養うために科学センター指導員の理科の指導技術を実施で高める。 (井沢、渡辺)	7 / 24 (月) } 7 / 25 (火)	○ 自然観察と指導について ○ 科学センターの運営と指導法について		小中指導員
新任教諭	1学期の教職経験を話し合い各自が自覚した問題を協力して解決し教職の専門性を高める。 (渡辺、井沢)	7 / 31 (月) } 8 / 1 (火)	○ 講演「児童・生徒理解の方法と生活指導」 ○ 研究討義「一学期の反省と指導上の問題点」 ○ 自然観察の指導 「動・植物・星・川」	御岳山 (うつぼ屋)	新任教諭

C その他の事業（協議会・委員会等）

名称	ねらい・方針	期 日	内 容・方 法	会 場	対 象
教務主任会 (11回)	日野市の地域・児童・生徒の実態に即した教育課程の編成と実施に関する研修と各学校の情報を交換し自校の改善に役立てる。 (井沢、渡辺)	4 / 27 (木) 5 / 18 (木) 6 / 15 (木) 7 / 13 (木) 9 / 21 (木) 10 / 19 (木) 11 / 9 (木) 12 / 21 (木) 1 / 18 (木) 2 / 15 (木) 3 / 15 (木)	人間性豊かな児童・生徒の育成と基礎学力の充実をめざし、新指導要領の主旨を生かした教育課程の編成と改善並びに教務に関する業務について情報交換を進めながら研修する。	市役所 二平山台小 三四五小 六小 市役所 市役所 市役所 八小	教務主任・教務担当者
生活指導連絡協議会 (11回)	小中学校の生活指導態勢を推進し、児童・生徒の心身の健康を向上させるため、各校の情報交換と研修を進める。 (渡辺、井沢)	4 / 18 (火) 5 / 11 (木) 6 / 5 (月) 7 / 3 (月) 9 / 4 (月) 10 / 2 (月) 11 / 6 (月) 12 / 4 (月) 1 / 11 (木) 2 / 5 (月) 3 / 5 (月)	生活指導上の臨床的対策にとどまらず学校生活に喜びを感じ、自身の能力を十分に伸ばせるような生活指導のあり方をめざして、研究を進める。	市役所 旭が丘小 平山台小 七生中 一中小 二中小 四中小 三中小 四中小 五中小	生活指導主任・部員
中学校生活指導連絡協議会	中学校の生活指導を推進し心豊かな中学生の育成のため各校の協力態勢の推進 (渡辺、井沢)	5 / 15 (月) 6 / 19 (月) 7 / 17 (月) 9 / 18 (月) 10 / 16 (月) 11 / 20 (月) 12 / 18 (月) 1 / 22 (月) 2 / 19 (月) 3 / 12 (月)	先生と生徒、生徒間の人間関係のあり方を研究し学校生活に生きがいを感じずるような生活指導の確立をはかる。		中・生活指導主任・部員
小室中運営音楽鑑賞会	小中学校児童・生徒の音楽鑑賞能力を高め、音楽性の向上をはかる。 (渡辺、井沢)	4 / 28 (金) 7 / 18 (火) 9 / 1 (金)	音楽鑑賞教室の実施計画の作成と運営打合せ 小音楽鑑賞教室 9 / 8 (金) 中音楽鑑賞教室 9 / 29 (金)	市役所 八王子市 市民会館 〃	運営委員

名称	ねらい・方針	期 日	内 容・方 法	会 場	対 象
まどべ編集委	教職員研修雑誌「まどべ」の発行により市内小学校の教育水準の向上を図る。 (井沢、渡辺)	未 定	年3回、教職員の研修雑誌「まどべ」の編集と発行を行う。	未 定	編 集 委 員
社訂 会研究 科副読 読本改 委員会	小中学校社会科指導資料「わたしたちの日野」「伸びゆく日野」の改訂を進める。 (渡辺、井沢)	6 / 5 (月)	社会科副読本の内容を検討し改訂と利用法の研究をする。 ①小学校部会 ②中学校部会	市 役 所	小中改訂委員
小中 科学運 営委員 会	小中学校の児童・生徒の科学的能力、技術、態度の向上と教員の理科指導の技術の充実をはかる (井沢、渡辺)	5 / 13 (土) 5 / 20 (土) 6 月上旬	小学校南北科学センターの運営 6 年生対象 中学生科学センターの運営 1 ～ 3 年生対象	南部 程久保小 北部 一 小 中学校 七 生 中	指導委員・運営委員
授業 研究	児童・生徒に生氣と気はくを与え、ひとりひとりの可能性を伸ばす指導法をめざす。 (井沢、渡辺)	6 / 1 (木)	市立幼小中学校(園)の授業研究・保育研究を進める。	市 役 所	幼小中教職員
教職員 研究委 託	日野市の学校教育目標の達成と教職員の自主的な研修の推進をめざし、指導目標の実現を研究する。 (渡辺、井沢)	5 / 26 (金)	研究委託者総会 その後は5つのグループに分かれて研究 ①人権尊重の教育 ②生活指導 ③幼児教育 ④健康教育 ⑤安全教育	市 役 所	幼小中教職員

名称	ねらい・方針	期 日	内 容・方 法	会 場	対 象
教育課程研究委員会	教育課程の基準の改善及び学習指導要領の全面改訂にともない、実施に向けて新教育課程の編成と実践的研究を行う。	5 / 29 (月)	○教育課程研究委託総会 ○新学習指導要領の主旨を生かし、総則・道徳・特別活動について研究し、年間指導計画を作成する。	市 役 所	研究委員
人権尊重教育担当者連絡会	人権尊重教育の視点に立つて学校教育を推進するため、同和教育の本質を正しく認識し児童・生徒の可能性を最大限に伸ばし、自己実現の達成が図られるよう各学校間の連絡協議にあたる。 (井沢、渡辺)	5 / 19 (金) 6 / () 12 / () 2 / ()	○各校内研究組織の立案 ○同和教育研修会の立案運営 ○各校研究会の計画立案 ○人権尊重教育研究委託の研究推進	市 役 所	各校担当教諭
心障教育推進協議会	日野市における心障児教育のあり方を追求するとともに具体的展開の方策について協議し、その推進をはかる。 (井沢、渡辺)	5 / 26 (金)	○研究委託者総会 心障教育を推進するための研究・研修・教育相談等のあり方について (協議と見学)	市 役 所	心障教育推進担当者

指導関係行事予定表

4月 (△午前 ○午後 □全日)

5月

日	曜	市	都	日	曜	市	都
1	土			1	月		○指導主事2地区会(稲城)
2	日			2	火	○新任教諭研修会 △定例校(園)長会 ○心障学級設置校連絡会	
3	月	△新任教諭研修会 ○校長会(市教委1時)		3	水		
4	火			4	木		
5	水			5	金		
6	木	始業式		6	土		
7	金			7	日		
8	土			8	月		△都市指導主事会(分室)
9	日			9	火	○幼児教育研修会 ○教育相談研修会	△心障教育担当指導主事・協
10	月			10	水	□市教委B訪問(五幼)	□都一般訪問
11	火	○定例園長会	□都市指導主事会(小平)	11	木	○生活指導連絡協議会	□区市指導主事宿泊研
12	水		○指導主事2地区会(八王子)	12	金		□
13	木	□学校訪問		13	土		□
14	金	○校医・養護教諭懇談会 ○学校保健理事會		14	日		
15	土			15	月	○中学校生活指導連絡協議会	
16	日			16	火		
17	月	○辞令伝達式		17	水	○市教研総会	□都一般訪問
18	火	○生活指導連絡協議会		18	木	○教務主任会	△給食指導担当指導主事・協
19	水	○市教研	△指導主事連絡協議会 ○多摩指導主事会	19	金	△定例教頭会	
20	木	□日光移動教室実踏	△生活指導担当指導主事・協	20	土	△学校保健連絡協議会 ○教育相談ケース会議(1)	
21	金	□日光移動教室実踏 △定例教頭会		21	日		
22	土	△学校保健連絡協議会 △学校訪問		22	月	△市教委A訪問(四幼) ○教育委員会	
23	日			23	火	□市教委A訪問(六幼)	□道德教育指導助言者研究協議会
24	月	○中学校生活指導連絡協議会 ○教育委員会	□新任指導主事研修会	24	水	○地区協総会	□都一般訪問
25	火		□新任指導主事研修会	25	木	○学校経営研修会	△都市指導主事会
26	水	○南教組定期総会 ○地区協南多摩支部大会	△学校訪問協議会	26	金	○心障教育研究推進協(委託) ・教職員研究会協総会	○多摩地区生活指導世話人協議会
27	木	○教務主任会	△同和教育指導推進委	27	土		
28	金	○音楽鑑賞教室運営委員会	△都市指導主事会	28	日		
29	日			29	月	○教育課程研究委託総会	
30	日			30	火		△幼稚園担当指導主事・協
31	水			31	水	□市教委B訪問(一幼)	□都一般訪問

移一移動教室

6 月

7 月

日 曜	市	都	日 曜	市	都
1 木	○授業研究委託総会 ☐ 潤徳 ☐ 七小移 ☐ 小移	△指導主事2地区会(町田) ○道徳教育指導助言者 研究協議会(小学校)	1 土	① ☐ 日光移教室	△指導主事2地区会(多摩)
2 金	○心障教育研修会		2 日	☐ 日光移教室	
3 土			3 月	○生活指導連 絡協議会 ② ☐ 日光移教室	
4 日			4 火	☐ 日光移教室	
5 月	○生活指導連絡協議会 ○社会科副読本改訂委託委員会(小中)		5 水	○市教研 ③ ☐ 日光移教室	☐ 都一般訪問
6 火	△定例校(園)長会 ☐ 旭小移 ☐ 八小移	○道徳教育指導助言者 研究協議会(中学校)	6 木	☐ 市教委A訪問 (滝合小)	
7 水	☐ 市教委B訪問 (五小) ☐ 三沢中移 ☐ 八小移	☐ 都一般訪問	7 金	☐ 市教委A訪問 (三中)	
8 木	☐ 市教委A訪問 (高幡台小)		8 土		△都市指導主事会(分室)
9 金	☐ 市教委A訪問 (二小)	△生活指導担当指導主事 連絡協議会	9 日		
10 土	☐ 市教委A訪問 (二小) ☐ 一中移	△都市指導主事会 (分室)(2地区)	10 月	☐ 市教委A訪問 (平山台小)	
11 日			11 火	△定例校(園)長会 ○新任研兼教育相談研修会	
12 月	☐ 市教委B訪問(四小)		12 水	☐ 市教委A訪問 (平山小) ☐ 七生中移	
13 火	○教育相談研修会	○道徳教育指導助言者 研究協議会	13 木	○教務主任会 ☐ 二小移	
14 水	○市教研	☐ 都一般訪問	14 金	△定例教頭会	
15 木	○教務主任会 ☐ 三中修		15 土	△学校保健連絡協 ○教育相談ケース会議(2) ☐ 二小移	
16 金	△定例教頭会		16 日		
17 土	△学校保健連絡協 ☐		17 月	○中学校生活指導連絡協議会	
18 日			18 火	○学校経営研修会 ○音楽鑑賞教室運営委員会	
19 月	○中学校生活指導連絡協	☐ 体育担当指導主事協	19 水		△指導主事連絡協議会
20 火	☐ 市教委B訪問(一小)		20 木		
21 水	☐ 市教委B訪問(四中)	☐ 都一般訪問	21 金	夏 季 休 業	
22 木	○教育委員会	△同和教育指導推進委 ○多摩地区生活指導研	22 土		
23 金	○新任教頭研修会	△都市指導主事会 (2地区)	23 日		
24 土			24 月	☐ 小中科学センター宿泊研	
25 日			25 火	☐ " " "	
26 月	○教育課程研修会 ☐ 三七生 ☐ 四中生修		26 水		
27 火	☐		27 木	○教育委員会	△都市指導主事会
28 水	☐ 教務主任宿泊研修会	☐ 都一般訪問	28 金	△実技研修会	
29 木	☐ " "		29 土	△実技研修会	
30 金	☐ 市教委B訪問(三幼)		30 日		
			31 月	☐ 新任研宿泊研修会	

8 月

9 月

日 曜	市	都	日 曜	市	都
1 火	☐ 新任宿泊研修会		1 金	第二学期始業 ○音楽鑑賞教室運営委員会	
2 水			2 土		
3 木	☐ 教育相談宿泊研修会		3 日		
4 金	☐ " " "		4 月	○生活指導連絡協議会 ○水泳記録会小雨6日	△学校訪問協議会
5 土			5 火	○水泳記録会中雨7日 △定例校長会・定例園長会	
6 日			6 水		△指導主事連絡協議会 ○多摩指導主事連絡協議会
7 月	△実技研修会		7 木		△指導主事2地区会 (日野)
8 火	△実技研修会		8 金	☐ 音楽鑑賞教室 (小学校)	
9 水			9 土		△都市指導主事会(分室)
10 木			10 日		
11 金			11 月	☐ 市教委B訪問 (一中)	
12 土		△都市指導主事会	12 火	○教育相談研修会 ☐ 四中移	
13 日			13 水	○市教研	
14 月			14 木	△定例教頭会 ☐	△同和教育指導推進・委 ○多摩地区生活指導・研
15 火	○学校経営研修会		15 金		
16 水			16 土	△学校保健連・協 ○教育相談ケース会議(3)	
17 木			17 日		
18 金			18 月	○中学校生活指導連絡協	
19 土			19 火	○幼児教育研修会	
20 日			20 水	☐ 市教委B訪問 (高幡台小)	☐ 都一般訪問
21 月		☐ 研究員御	21 木	○教務主任会	△生活指導担当指導主事 ・協
22 火			22 金	☐ 市教委B訪問 (四幼)	
23 水			23 土		
24 木	○教育委員会	△都市指導主事会	24 日		
25 金		岳宿泊研	25 月		
26 土			26 火	○新任研兼 ○学習指導法研修会	
27 日		☐	27 水		☐ 都一般訪問
28 月			28 木	○教育委員会	△都市指導主事会
29 火			29 金	☐ 音楽鑑賞教室(中学校) (未定)	
30 水			30 土		
31 木					

10月

11月

日	曜	市	都	日	曜	市	都
1	㊥			1	水	☐ 市教委B訪問 (三沢中)	☐ 都一般訪問
2	月	○生活指導連絡協議会 ○教育相談研修会 △定例校(園)長会	☐ 三小移	2	木	☐ 市教委A訪問 (南平小)	
3	火			3	金		
4	水	☐ 市教委B訪問(二幼)	☐ 都一般訪問	4	土		
5	木		☐ 新任指導主事研修会	5	㊥		
6	金	○事務主事研修会	☐ 新任指導主事研修会	6	月	○生活指導連絡協議会 ○教育課程研修会	
7	土		△指導主事2地区会 (稲城)	7	火	△定例校(園)長会	☐ 三中移
8	㊥			8	水	○市教研	☐ 都一般訪問
9	月	☐ 市教委B訪問 (旭が丘小)		9	木	○教務主任会	△指導主事2地区会 (八王子)
10	㊦			10	金	☐ 市教委A訪問(四中)	
11	水	○市教研	☐ 都一般訪問	11	土		△都市指導主事会(分室)
12	木	☐ 市教委B訪問 (溝徳小)	☐ 四小移	12	㊥		
13	金	○教育課程研修会 ○新任教諭研修会	△心障教育担当指導 主事・協	13	月	☐ 市教委A訪問(二中)	
14	土	○第一次就学相談 (障害児)	△都市指導主事会 (分室)	14	火	○教育相談研修会	
15	㊥	☐ 就学相談(障害児)		15	水	☐ 市教委B訪問(八小)	☐ 都一般訪問
16	月	○中学校生活指導連絡協		16	木	○教育委員会	
17	火	○学校経営研修会		17	金	△定例教頭会	
18	水	○市教研総会体育実技研 (雨天19日)	☐ 都一般訪問	18	土	△学校保健連絡協 ○教育相談ケース会議(4)	
19	木	○教務主任会 (18日雨-20日)		19	㊥		
20	金	△定例教頭会		20	月	○中学校生活指導連絡協	
21	土	△学校保健連絡協・ 兼学校保健研修会		21	火	○新任教諭研修会	
22	㊥			22	水	☐ 市教委B訪問 (程久保小)	☐ 都一般訪問
23	月	☐ 生活指導宿白研修会		23	㊦		
24	火	☐ " " "		24	金		△都市指導主事会 ○生活指導世話人協議会
25	水	○地区協研修会	☐ 都一般訪問	25	土		
26	木	○教育委員会	△司和教育指導推進・委	26	㊥		
27	金		☐ △都市指導主事会	27	月	☐ 市教委A訪問(六小)	
28	土			28	火		△生活指導担当指導主事・協
29	㊥			29	水	☐ 市教委B訪問(七小)	☐ 都一般訪問
30	月	☐ 市教委B訪問 (平山小)		30	木		△給食・保健指導担当 ○指導主事・協
31	火		△幼稚園担当指導主 事・協				

1 2 月

1 月

日	曜	市	都	日	曜	市	都
1	金	☐ 市教委B訪問 (滝合小)		1	月		
2	土		△指導主事 2 地区会 (町田)	2	火		
3	日			3	水		
4	月	○生活指導連絡協議会		4	木		
5	火	○新任教諭研修会 △定例校(園)長会		5	金		
6	水	☐ 市教委B訪問(二小)	☐ 都一般訪問	6	土		
7	木	☐ 市教委B訪問(三小)		7	日		
8	金	☐ 市教委A訪問(八小)		8	月	第三学期始業	△心障教育担当指導主事・協
9	土		△都市指導主事会 (2地区)(国分勤福)	9	火	△定例校(園)長会 ○教育相談研修会	
10	日			10	水		△指導主事 2 地区会 (日野)
11	月			11	木	○生活指導連絡協	
12	火	○教育相談研修会		12	金		
13	水	○市教研		13	土		△都市指導主事会 (国分寺勤福)
14	木	○学校経営研修会	△同和指導推進・協	14	日		
15	金	△定例教頭会		15	日		
16	土	△学校保健連絡協		16	火	○新任研兼学習指導法 研修会	
17	日			17	水	○市教研	△生活指導担当指導主事・協
18	月	○中学校生活指導連絡協		18	木	○教務主任会	
19	火			19	金	△定例教頭会	
20	水		△指導主事連絡協議会	20	土	○学校保健連絡協 ○教育相談ケース会議(5)	
21	木	○教務主任会	△都市指導主事会(2地区)	21	日		
22	金			22	月	○中学校生活指導連絡協	
23	土			23	火	○教育課程研修会	
24	日			24	水	☐ 市教委B訪問 (七生中)	☐ 都一般訪問
25	月			25	木	○教育委員会	△都市指導主事会 ○多摩地区生活指導・研
26	火	冬季休業		26	金	☐ 市教委B訪問 (南平小)	
27	水			27	土		
28	木	○教育委員会		28	日		
29	金			29	月	☐ 市教委A訪問(四小)	
30	土			30	火		
31	日			31	水	○市教研(卓球大会)	☐ 都一般訪問

2 月

3 月

日	曜	市	都	日	曜	市	都
1	木	☐ 市教委A訪問(二幼)		1	木		△生活指導担当指導主事・協
2	金	○幼児教育研修会		2	金	○幼児教育研修会	△指導主事 2 地区会(稲城)
3	土	○第二次就学相談(障害児)		3	土		
4	㊥	☐ 第二次就学相談(障害児)		4	㊥		
5	月	○生活指導連絡協議会		5	月	○生活指導連絡協議会	
6	火	△定例校長会 ○定例園長会		6	火	△定例校(園)長会	
7	水	☐ 市教委B訪問(百草台小)	☐ 都一般訪問	7	水	○市教研	△学校訪問協議会
8	木	○新任教諭研修会兼 学習指導法研修会	△指導主事 2 地区会(多摩)	8	木	○教育課程研修会	
9	金	☐ 市教委訪問B(六小)		9	金	○新任教諭研修会	
10	土		△都市指導主事会(国分寺勤福)	10	土	○学校保健連絡協議会	△都市指導主事会(分室)
11	㊥			11	㊥		
12	㊥			12	月	○中学校生活指導連絡協	
13	火	○教育相談研修会	△指導主事連絡協議会	13	火	○教育相談研修会	△指導主事連絡協議会 ○多摩指導主事連絡協議会
14	水	○市教研(研究発表)	☐ 都一般訪問	14	水		
15	木	○教務主任会		15	木	○教務主任会	△同和教育指導推進・委
16	金	△定例教頭会		16	金	△定例教頭会	
17	土	△学校保健連絡協		17	土		
18	㊥			18	㊥		
19	月	○中学校生活指導連絡協		19	月	中学校卒業式 幼稚園卒園式	
20	火	☐ 市教委B訪問(平山台小)		20	火		
21	水	☐ 市教委B訪問(三中)		21	水		
22	木	○教育委員会	△都市指導主事会	22	木	○教育委員会	△都市指導主事会
23	金		☐ 体育担当指導主事・協	23	金		
24	土			24	土	小学校卒業式	
25	㊥			25	㊥		
26	月	☐ 市教委B訪問(二中)		26	月		
27	火			27	火		
28	水	☐ 市教委B訪問(六幼)		28	水		
				29	木		
				30	金		
				31	土		

日野市教育相談室

☆ 設置の趣旨

日野市内における幼児・児童・生徒（高校生も含む）を対象に、学校および家庭において主として学習意欲・能力・生活態度につき、保護者又は担任教諭が教育上望ましくない事実を見出した場合、相談に応ずることを設置の趣旨としている。

☆ 構 成

相 談 室 長 長 沢 三 郎 （日野市教育委員会学校教育課長）
教 育 相 談 員

（一般教育相談）

（障害教育相談）

井尻 武子（日野一小 教諭） 鈴木 良身（日野四中教諭） 西山 伸（日野三小教諭）
橋本美千代（〃 三小 〃） 鈴木 清司（三 沢 中 〃） 御子柴昭治（七 生 中 〃）
小笠原本江（滝 合 小 〃） 平向 邦江（日野一幼 〃） 金子 ふみ（教育委員会）
石原八重子（旭が丘小 〃） 石川 和子（〃 三幼 〃）
中沢美美子（平山台小 〃） 小柳津芳子（教育委員会）
古厩 清夫（〃 一中 〃）

教育相談研修員

清水 妙子（日野一小教諭）	倉林 紀子（旭が丘小教諭）	菅野 基子（三幼教諭）
和田 淑子（三小教諭）	中根 勉（二 中 〃）	沖山 英代（四幼 〃）
番場 春枝（五小 〃）	山辺 文男（七生中 〃）	田中 洋子（四幼 〃）
白勢 玲子（滝合小 〃）	国信 武司（四 中 〃）	斉藤美津子（五幼 〃）
宮田 敦子（滝合小 〃）	樽川 和恵（三沢中 〃）	
田中 健（滝合小 〃）	松田 健司（三沢中 〃）	
中村 笙子（高幡台小 〃）	磯岡 邦雄（三沢中 〃）	
勝俣 友子（高幡台小 〃）	近間 典子（一 幼 〃）	
山田 洋士（高幡台小 〃）	樋山 欣子（二 幼 〃）	
川原田和子（程久保小 〃）	土屋 菊代（二 幼 〃）	
浜野 育子（程久保小 〃）	永瀬 町子（三 幼 〃）	

担当指導主事 井 沢 祐 一

担当指導係長 平 敏 男

顧 問 佐 藤 正 （東京女子体育大学教授）

石 島 徳太郎 （東京都心身障害者福祉センター幼児科長）精神医

☆ 運 営

保護者の直接又は、保護者及び担任教諭による各校（幼・小・中）の学校教育相談係を通じての申込みにより毎週火、木（８月を除く）の２回・教育相談員が２名１組となって相談に応じている。
（午後１時３０分より４時まで）申込みは無料で受付けている。

- 場 所 教育委員会内教育相談室
- 申込み先 日野市教育委員会学校教育課内日野市教育相談室
（TEL 85-1111 内線 420）
- 教育相談事務担当 高 橋 喜代子（月～土 9:00～16:00）
- 一般教育相談担当 小柳津 芳 子（火・木・金）（13:30～16:00）
- 心身障害教育相談担当 金 子 ふ み（月・金）（9:00～16:00）
- 教育相談概況（昭52.4.1～53.3.31）

問題別相談件数（一般教育相談）

種 別	対 象 分類	幼 児	児 童	生 徒	計
1. 性格・行動 に関するもの	登園・登校拒否	0	6	8	14
	友 だ ち 関 係	5	3	1	9
	落ちつきがない	1	0	0	1
	わがまま・泣き虫	2	0	0	2
	いたずら・らんぼう	0	3	0	3
	ぬすみ・うそ	0	4	2	6
	やる気がない・のろま	0	3	0	3
2. 精神・身体 に関するもの	つめかみ・指しゃぶり	0	3	0	3
	神 経 症	0	0	2	2
	言 語 障 害	4	1	0	5
	自 閉 的 傾 向	0	2	0	2
	情 緒 障 害	2	0	0	2
3. 知能・学業 （進路・適性） に関するもの	就 学 ・ 進 学	3	5	3	11
	知 恵 お く れ	0	1	0	1
	学 業 不 振	0	1	0	1
	知 能 検 査	1	5	0	6
	学 習 の こ と	0	8	2	10
	指 導 上 の こ と	1	5	3	9
4. そ の 他	家 庭 環 境 問 題	0	1	1	2
	そ の 他	0	3	4	7
計		19	54	26	99

心身障害教育相談件数

・就学相談

相談件数		35
措置	都立養護	10
	障害学級	6
	一般学級	13
	猶予	6

・措置がえ相談

相談件数		25
措置	一般学級	19
	障害学級	4
	訪問学級	2

・転学相談

相談件数		10
措置	障害学級→一般学級	2
	障害学級→都立養護	2
	都立養護→障害学級	2
	保留	4

・その他

相談件数		8
内訳	入園相談	2
	言語障害	2
	身体障害	2
	生活指導	2

☆ 教育相談員の研修

教育相談員の資質と相談技術の向上のため、毎月第二火曜に研修会、事例研究会を交互に、第三土曜に事例協議会（顧問の先生が指導）を開いている。研修会には、日野市公立学校教職員なら誰でも参加してさしつかえないことになっている。

日野市心身障害教育推進協議会

☆ 目 的

すべての心身障害児に適切な教育を保障するために必要な教育措置のあり方、教育条件の整備、指導の内容、方法について検討し、日野市の心身障害教育の伸展充実に資する。

☆ 事業の内容

この会の目的を達成するため、次の事業を行なう。事務局を協議会会長校におく。

- 1) 心身障害教育を適正に行なうための事業計画と実施方法の策定
- 2) 心身障害教育の実施成果の検討
- 3) そ の 他

☆ 組 織

- 1) この会は次に掲げる者を委員とする。

日野市教育委員会 教育長・学校教育課長・担当指導主事・指導係長

日野市立心障学級設置校長・心障学級担任

日野市立幼小中学校（園） 各校 1名の教員

日野市教育相談室専任相談員・顧問医

- 2) この会に次の専門部をおき、下記の活動をおこなう。

ア) 研 究 部……………日野市立幼小中学校の実態に即した心身障害教育のあり方を研究する。

イ) 研 修 部……………心身障害教育に関する教職員の研修と、市民への啓蒙

ウ) 相 談 部……………心身障害児童・生徒の就学相談、指導のあり方を研究する。

エ) 担 任 部……………心障学級担任相互の交流を通して心身障害教育の質的向上をめざす。

昭和 53 年度 組織表

教 委	教育長 倉又 秀作	学校教育課長 長沢 三郎	同係長 平 敏男
会 長	多 昌 直 之	副会長 松 延 耕 作	
会 計	鶴 田 幸 夫	庶 務 佐 藤 正 身	
事務局	石川 保徳 小林 節夫 野口 昭平 吉川 力 御子柴 昭治		
研 究 部	部長	石 川 保 徳	
	部員	古 川 明 子	岡 野 三 郎 信 夫 頼 子 佐 藤 正 身
		鶴 田 幸 夫	吉 岡 孝 二 郎 永 井 一 郎 小 山 富 子
		小笠原 本 江	齊 藤 弥 生 藤 原 和 代

研 修 部	部長	小 林 節 夫									
	部員	溝呂木 桂 次	小 村 満紀子	足 立 光 江	古 川 明 子						
		齊 藤 八重子	信 夫 頼 子	古 谷 孝 太	古久保 蝶 子						
		小 川 格	植 木 雅 子	森 田 寿 子	榎 沢 日出子						
相 談 部	部長	野 口 昭 平									
	部員	御子柴 昭 治	中 村 由美子	西 山 伸 平	松 健太郎						
		大 島 ルミ子	安 齊 満理子	山 田 洋 士	中 沢 芙美子						
		八 木 文 夫	土 田 きよみ	広 瀬 昭	原 沢 和 江						

顧 問 東京女子体育大学教授 佐藤 正 東京都心身障害者福祉センター幼児科長 石島徳太郎
 日野市教育委員会指導主事 井沢 祐一 渡辺 勝
 日野市教育相談室 小柳津芳子
 " 金子 ふみ

日野市立小学校科学教育センター

1 名称・所在

日野市小学校科学教育センターと称し、昭和53年度は、北部センターを日野第一小学校に、南部センターを程久保小学校の校内に設置する。

2 設立の趣旨

日野市公立小学校における科学教育の振興をはかるために設置し、日野市の教員の理科指導の充実に向うための研修と児童の科学的態度・能力・技術の向上に役立つ諸事業を行う。

3 センター長・センター次長・指導員

	南部センター(程久保小)	北部センター(日野一小)
センター長	渋谷 義一(程久保小)	溝呂木 桂次(一小)
センター次長	村松 徹二(〃)	大島 昭子(〃)
センター主任	川上 卓一(〃)	小幡 建(〃)
指導員 1	後藤 楚子(潤徳小)	古屋 光男(〃)
2	加藤 タイ(〃)	小笠原 久雄(〃)
3	坂本 守(平山小)	増田 実(〃)
4	西尾 信博(八小)	倉石 桂(二小)
5	大倉 利一(〃)	梅原 すみ子(〃)
6	干台 健治(百草台小)	福地 保(三小)
7	永井 一郎(〃)	梅原 秀明(〃)
8	村越 正(滝合小)	佐野 静江(四小)
9	北脇 春樹(〃)	岡田 充生(五小)
10	佐久間 久美子(高幡台小)	佐藤 正身(〃)
11	長沼 正幸(〃)	林 克己(六小)
12	森 清晃(南平小)	弥延 潤太(〃)
13	古久保 蝶子(〃)	秋山 憲一(七小)
14	糸井 則子(程久保小)	渡辺 健一(旭ヶ丘小)
15	吉川 郁子(平山台小)	
16	太田 喜久子(〃)	
17	川井 矩子(程久保小)	
18	井浦 弘(〃)	
19	土方 邦男(〃)	
20	松田 英明(〃)	
21	間瀬 悦子(〃)	

4 センター員

校名	北 部 セ ン タ ー									南 部 セ ン タ ー									合 計	
	一 小	二 小	三 小	四 小	五 小	六 小	七 小	旭が丘小	小 計	潤徳小	平山小	八 小	百草台小	滝合小	高幡台小	南平小	程久保小	平山台小		小 計
男	5	4	5	4	4	3	5	3	33	3	2	4	1	4	4	5	4	2	29	62
女	2	0	2	0	0	2	0	2	8	2	2	2	2	0	1	0	2	1	12	20
計	7	4	7	4	4	5	5	5	41	5	4	6	3	4	5	5	6	3	41	82

5 年間指導計画

北部センター（日野一小）

南部センター（程久保小）

回数	月日	指導内容	指導者	回数	月日	指導内容	指導者
1	5・20	開講式	全員	1	5・13	開講式	全員
2	5・27	オリエンテーション	福地、林、秋山、小幡	2	5・20	植物の分類	川上、古久保、川井
3	6・3	細かく見る	林、弥延、古屋	3	5・27	食用色素の毛糸染め実験	西尾、大倉、間瀬
4	6・10		林、弥延、古屋	4	6・3	スンプセット	永井、千台、糸井
5	6・17	測定	秋山、佐野、小幡	5	6・10	を使って	永井、千台、糸井
6	6・24		秋山、佐野、小幡	6	6・17	RHの測定	佐久間、糸井、松田
7	7・8	自由研究	福地、林、梅原、岡田 佐藤、弥延、小笠原	7	6・24	ふりこ	吉川、太田、松田
8	7・15		秋山、渡辺、佐野、梅原(女) 小幡、増田	8	7・8	自由研究	川上、千台、古久保
9	9・9	分類	福地、林、梅原、岡田 佐藤、弥延、小笠原	9	7・15		永井、千台、佐久間 川上、吉川
10	9・16		秋山、渡辺、佐野、梅原(女) 小幡、増田、倉石	10	9・9	自由研究	長沼、永井、千台、川上 佐久間
11	10・7	条件統一	岡田、佐藤、古屋	11	9・16		長沼、永井、千台、川上
12	10・14		岡田、佐藤、古屋	12	10・7	プラスチック標本をつくる	西尾、大倉、土方
13	10・21	推論	渡辺、梅原(女)、増田	13	10・14	土を調べる	西尾、大倉、土方
14	10・28		渡辺、梅原(女) 増田	14	10・21		村越、北脇、井浦
15	11・4	標本づくり	秋山、小幡、小笠原	15	10・28	滑車	村越、北脇、井浦
16	11・11		秋山、小幡、小笠原	16	11・4	電熱の発熱	森、坂本、松田
17	11・18	自由研究のまとめ	福地、梅原、小幡	17	11・11	植物の蒸散作用	後藤、加藤、間瀬
18	11・25		福地、梅原、小幡	18	11・18	自由研究のまとめ	森、村越、坂本、川上、糸井
19	12・2	閉講式	全員	19	11・25	自由研究	森、村越、吉川、川上、糸井
20	2・1		全員	20	2・10	閉講式	全員

6 連絡協議会

委員長 日野市教育委員会教育長 倉 又 秀 作

委 員 南部センター長 渋谷 義 一 日野市立程久保小学校長 TEL 0425-91-5014

次長 村 松 徹 二 " 教頭 "

主任 川 上 卓 一 " 教諭 "

北部センター長 溝呂木 桂 二 日野市立日野第一小学校長 TEL 0425-81-0073

次長 大 島 昭 子 " 教頭 "

主任 小 幡 建 " 教諭 "

顧問 日野市教育委員会学校教育課長 長 沢 三 郎

指導主事 井 沢 祐 一

日野市中学校科学センター

1. 名称、所在、日野市中学校科学教育センターと称し、昭和53年度はセンターを七生中学校の校内に設置する。

2. 設立の趣旨

小学校科学センター設立の主旨に準ずる。

3. センター長、センター次長、指導員

センター長 吉 岡 孝二郎 センター次長 川 崎 昭 三

センター主任 久 村 敏 男

指 導 員 長島 寿平(三 中) 橋本 貴幸(三沢中) 渡辺 欣哉(二 中)

原沢 和江(三沢中) 富士 堯(四 中) 成舞 京子(七生中)

福島 良樹(一 中) 加藤 和則(三 中)

4. センター生 各中学校1～3年から40名を募集する。

5. 指導計画 年間10回とし、6月より10月までの隔週土曜日の午後指導する。

	月 日	内 容		月 日	内 容
1	6・3	開講式、講演	6	8月中旬	野外観察
2	6・17	生物・化学	7	9・16	自由研究指導(2)
3	7・8	物理・地学	8	9・30	自由研究指導(3)
4	7・15	自由研究指導(1)	9	10・14	自由研究まとめ
5	8月中旬	野外観察	10	10・28	閉講式、研究発表

6. 中学校科学センター運営委員会

(センター長、次長、運営委員各校1名、市教委をもって構成する)

運営委員

長島 寿平(三 中) 久村 敏男(七生中) 福島 良樹(一 中)

橋本 貴幸(三沢中) 富士 堯(四 中) 渡辺 欣哉(二 中)

顧問 学校教育課長 長沢 三郎 指導主事 井沢 祐一

日野市立小・中学校使用教科書

1. 小 学 校

国 語 科	「小学校国語」(学校図書) 「小学校書きかた」(学校図書)
社 会 科	「新編新しい社会」(東京書籍) 「新編新しい社会科地図」(東京書籍)
算 数 科	「新版算数」(教育出版)
理 科	「新編新しい理科」(東京書籍)
音 楽 科	「精選小学生の音楽」(音楽の友社)
図画工作科	「図画工作」(開隆堂)
家 庭 科	「新編新しい家庭」(東京書籍)

2. 中 学 校

国 語 科	「新版中学国語 一, 二, 三」(教育出版) 「新版中学習字」(教育出版)
社 会 科	「新編新しい社会 地理的分野」(東京書籍) 「中学社会」(日本書籍) 「新編新しい社会 公民的分野」(東京書籍) 「中学校社会科地図」(帝国書院)
数 学 科	「中学校数学」(学校図書)
理 科	「新訂理科」(啓林館)
音 楽 科	「新版中学音楽」(教育出版) 「精選中学生の器楽 1~3」(音楽の友社)
美 術 科	「美術」(光村図書)
保健体育科	「新訂中学保健体育」(学研)
技術家庭科	「技術・家庭 男子向き」(開隆堂) 「技術・家庭 女子向き」(開隆堂)
外国語科	「NEW EVERYDAY ENGLISH」(中教)

昭和53年度 指導主事分担表

日野市教育委員会

指導主事 井 沢 祐 一

指導主事 渡 辺 勝

1 校種別分担

○幼稚園教育……井沢 ○小学校教育……井沢 ○中学校教育……渡辺

2 教科・領域別分担

○国語（含書写）……渡辺	○社 会……………渡辺	○算 数・数 学……井沢
○理 科……………井沢	○音 楽……………渡辺	○図 工・美 術……井沢
○体育・保健体育……渡辺	○家庭・技術家庭……井沢	○外 国 語（英）……渡辺
○道 徳……………渡辺	○生 活 指 導……渡辺	○特 別 活 動……渡辺
○学 校 行 事 等……渡辺	○学 校 経 営……井沢	○教 育 相 談……井沢
○心 障 教 育……井沢	○視 聴 覚 教 育……井沢	○図 書 館 教 育……渡辺
○学 校 給 食……井沢	○保 健 教 育……渡辺	○安 全 教 育……渡辺
○同 和 教 育……井沢	○公 害 教 育……渡辺	○進 路 指 導……渡辺
○幼 児 教 育……井沢	○学 校 事 務……井沢	

3 施設・行事等分担

○教育相談室……井沢	○心障学級……井沢	○科学センター……井沢
○教科書センター……渡辺	○文化行事……渡辺	○体育行事……渡辺
○修学旅行……渡辺	○移動教室……井沢	

4 指導事務分担

○指導部・都研……井沢	○研究員・現代化委…井沢	○教育課程届出……井沢
○研究集録……渡辺	○学 校 訪 問……井沢	○教材届出承認……渡辺
○遠足修学旅行届出…渡辺	○調査資料収集……渡辺	○指導要領……井沢・渡辺
○まどべ編集発行……井沢・渡辺	○月行事予定……渡辺	○教育実習……井沢

- 授業研究校……井沢・渡辺
- 教職員研究委託……渡辺
- 都・研究奨励……井沢
- 社会科副読本改訂委……渡辺・井沢

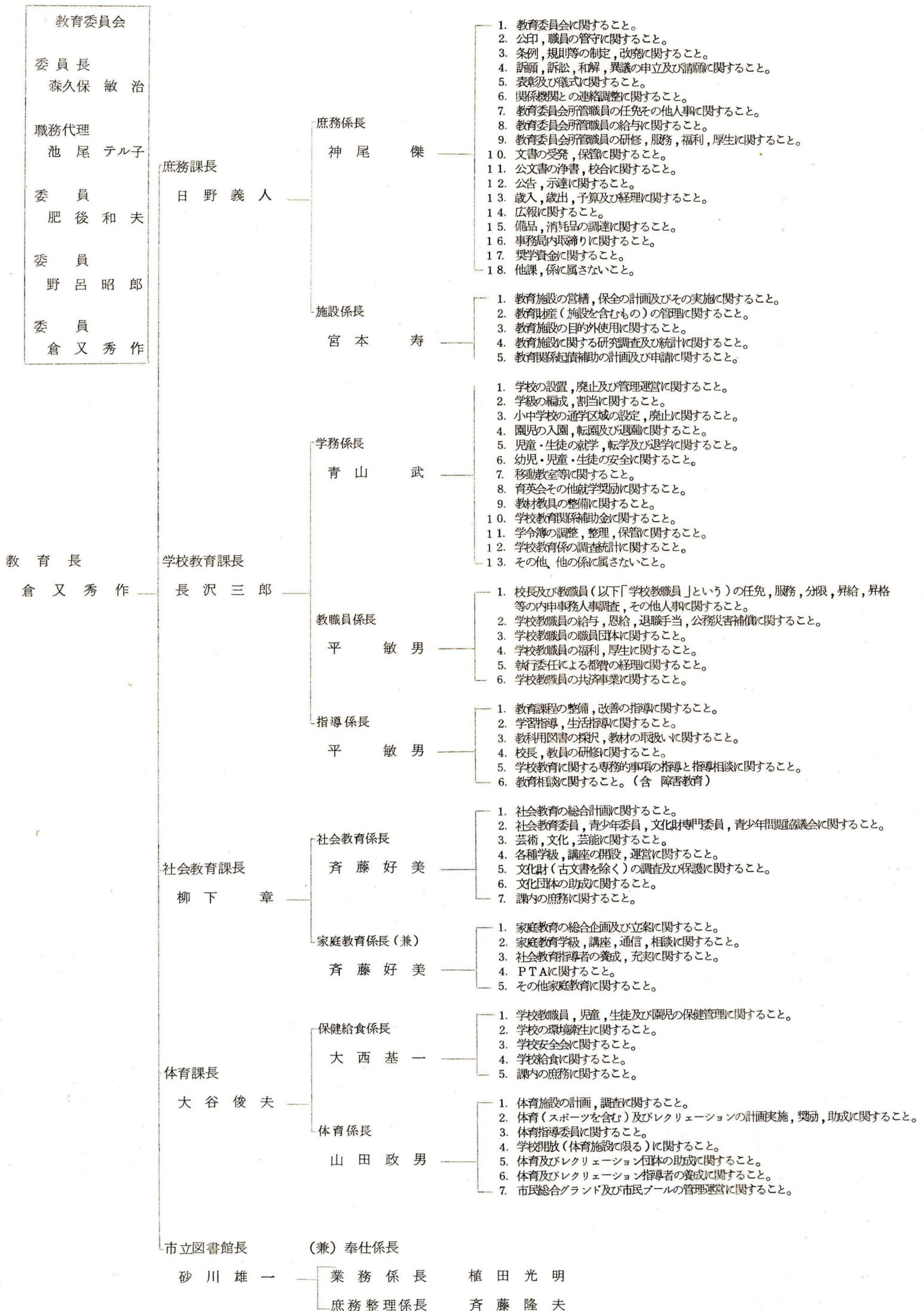
5 渉外分担

- 校長会……井沢・渡辺
- 教頭会……井沢・渡辺
- 教務主任会……井沢・渡辺
- 生活指導連絡協議会……渡辺・井沢
- 日野市教研……井沢・渡辺
- 都市指導主事会……井沢・渡辺
- 第2地区指導主事会……渡辺・井沢

6 研修等分担

- 学校経営研……井沢・渡辺
- 新任教諭兼学級経営研……渡辺・井沢
- 学習指導研……渡辺・井沢
- 実技研……渡辺・井沢
- 教育相談研……井沢・渡辺
- 幼児教育研……井沢・渡辺
- 同和教育研……井沢・渡辺
- 心障教育研……井沢・渡辺
- 教育課程研……井沢・渡辺
- 学校保健研……渡辺・井沢
- 事務職員研……井沢・渡辺

日野市教育委員会事務局組織



（指導主事の事務分担は本文中に示す）

日野市公立学校・幼稚園一覧表

学校名	第一幼稚園	第二幼稚園	第三幼稚園	第四幼稚園	第五幼稚園	第六幼稚園	第一小学校	第二小学校	第三小学校	第四小学校	第五小学校	第六小学校	潤徳小学校	平山小学校
校(園)長名	江角 正子	深沢 真人	溝呂木 桂次	釜池 博	古谷 洋太	手代木 和夫	溝呂木 桂次	鈴木 英夫	平松 健太郎	釜池 博	多昌 直之	光 永久夫	村田 安正	深沢 真人
学級数	七	三	三	二	三	三	特普 一五	二三	特普 三一	二〇	特普 一五	二三	二二	二二
児童数 (生徒)	二四七	一一二	九九	五一	九九	八九	九八二	九〇八	一三〇六	八二六	一〇一九	八八三	八〇七	八〇六
教職員数	九	六	五	四	五	五	三七	三一	四四	二七	三五	三一	三〇	二九
電話	81 4124	91 4125	81 7127	83 3903	92 0423	92 6330	81 0073 0061	81 0070 0851	81 0101 0850	81 0038 3076	81 0407 0445	81 0366 4686	91 0409 0410	91 4123 0512
所在地	多摩平四一三	平山四一八一六	日野二八〇〇	石田四三一六	三沢一七五	程久保八七六一二	日野二八〇〇	東豊田 二一四一	日野台二一一一	石田四三〇	多摩平 六一二一一	多摩平三一二一	高幡四〇二	平山四一八一六
交通機関	徒歩十分 中央線豊田駅下車	徒歩十分 京王線平山城址公園駅下車	徒歩七分 中央線日野駅下車	徒歩七分 日野駅より都バス 日野橋南詰下車	徒歩十三分 京王線高幡不動駅下車	徒歩十三分 高幡不動駅下車 百草団地行バス	徒歩六分 中央線日野駅下車	徒歩十分 京王線南平駅下車 中央線豊田駅下車	徒歩十分 京王線日野駅下車 中央線日野駅下車	徒歩十分 日野駅より都バス 日野橋南詰下車	徒歩十分 中央線日野駅下車 中央線日野駅下車	徒歩十分 中央線日野駅下車 中央線日野駅下車	徒歩十分 京王線日野駅下車 京王線日野駅下車	徒歩八分 京王線平山城址公園駅下車

学校名	第七小学校	第八小学校	百草台小学校	滝合小学校	高幡台小学校	南平小学校	程久保小学校	旭が丘小学校	平山台小学校	第一中学校	第二中学校	七生中学校	第三中学校	第四中学校	三沢中学校
校(園)長名	上部正彦	古谷洋太	田中春男	梅田茂	手代木和夫	黒沢保雄	渋谷義一	小野寺東雄	小川格	松延耕作	小林政之助	吉岡孝二郎	田中弘明	山口幸雄	古川豊
学級数	一四	三三	二〇	二七	二三	一九	一九	二〇	特普 二五	特普 二六	二六	特普 一〇	二二	二三	一四
児童数 (生徒)	五一五	一三六一	七七九	一〇三四	九三二	七六五	六九三	七五七	五五〇	一一三七	一一一四	八七九	九三九	一〇〇四	五三五
教職員数	二一	四四	二七	三五	三二	二八	二七	二八	二六	四六	四三	三七	三八	四〇	二四
電話	83 3907 3908	91 2411 2412	91 0997 0998	83 5172 5173	91 7011 7012	92 2021 2022	92 5014 5015	83 3733 3748	92 6381 6382	81 0009 0261	81 0056 0262	91 0174 0175	91 2228 2229	83 3905 3906	92 5017 5018
所在地	整理地域内一〇六 日野市神明上区画	三沢二〇〇	百草九九九	西平山二一三一	程久保五五〇	南平四一八一一	程久保五〇四一一	旭が丘五一二一一	平山二一一一一	日野二六一四	多摩平四一五一二	南平六一七一	程久保六五〇	旭が丘二一四二	三沢二五
交通機関	徒歩十五分 中央線日野駅下車	徒歩十五分 京王線高幡不動駅下車	高幡不動駅より百草団地行バス	京王線平山城址公園、長沼駅下車	徒歩五分 京王線高幡不動駅から高幡台団地地下車	徒歩十二分 京王線南平駅下車	ス中程久保下車徒歩二分 高幡不動駅より多摩動物公園行バス	徒歩二十五分 中央線豊田駅下車	徒歩十五分 京王線平山城址公園下車	徒歩十分 中央線日野駅下車立川方面	徒歩十分 中央線豊田駅北口下車	徒歩七分 京王線南平駅下車	高幡台団地地下車徒歩七分 高幡不動駅より百草団地行バス	徒歩十五分 中央線豊田駅下車	徒歩十二分 京王線高幡不動、百草園駅下車

日野市立小・中学校主任（代表）一覧表

53年4月

担当	学校	一 小	二 小	三 小	四 小	五 小	六 小	潤 徳 小	平 山 小	七 小	八 小	百草台小	滝 合 小
教 務 主 任		古 屋 光 男	松 井 慶 吾	藤 本 憲 康	高 倉 敬 行	生 田 彰	曾 我 哲 夫	小 竹 章	関 恒 夫	小坂橋 五佐男	内 藤 康	秋 永 悦 郎	伊 藤 恵 造
生 活 指 導 主 任		佐々木 玄 吾	田 村 利 樹		板 谷 敏	白 石 俊 二	五十嵐 一 郎	小 口 清 一	大 上 琢 磨	秋 山 憲 一	西 田 陽	萩 沢 モト子	岩 尾 照 夫
研 究 研 修 主 任		有 泉 徹 郎	紺 屋 富 夫	森 甫	色 川 和 代	長 沢 佳 都 子	山 添 邦 男	中 村 大	岩 井 豊 子	市 川 忝 子	石 川 耀 子	永 井 一 郎	村 越 正
人権尊重の教育担当		田 中 降 夫	中 川 金 作	福 地 保	飯 田 竹	大 竹 三 郎	五十嵐 一 郎	古 谷 孝 太	関 恒 夫	市 川 忝 子	西 田 陽	萩 沢 モト子	橋 本 清
国 語 主 任		馬 場 延 子	紺 屋 富 夫	和 田 淑 子	田 森 脩 詮	西 川 朝 子	来 間 志 信	高 井 くめ子	岩 井 豊 子	堀 内 美 恵 子	西 田 陽	大 羽 かほる	川 上 美穂子
社 会 科 主 任		佐々木 玄 吾	中 川 金 作	清 成 純 子	岡 島 政 吉	大 竹 三 郎	長 田 正 夫	大 森 ツル子	安 達 美 武	嶋 貫 博	波多野 担	石 黒 芳 子	宮 川 征三郎
算 数・数 学 主 任		塩 川 憲 子	石 岡 信 行	篠 原 正 人	小 山 富 子	岩 尾 ふ き	老 沼 義 晴	高 橋 茂 子	高 石 道 子	竹 下 サ エ	和 田 常 雄	油 井 朝 子	大 森 信
理 科 主 任		小 幡 建	倉 石 桂	宇留野 勝 幸	佐 野 静 江	高 田 真 澄	鹿島田 恭 江	後 藤 楚 子	坂 本 守	秋 山 憲 一	間 瀬 静 夫	千 台 健 治	村 越 正
音 楽 主 任		保 坂 たか子	大 場 と み	森 甫	林 いずみ	高 野 紘	嶋 真理子	内 山 美 知 子	立 花 せつ子	池 田 宏 子	北 原 恒 雄	飯 島 睦 子	岡 田 あつ子
図 工 美 術 主 任		酒 井 栄 一	鶴 田 久 美 子	岩 永 ヒ ラ	渡 辺 芳 郎	戸 塚 春 男	岸 本 和 子	小 口 清 一	沢 田 末 吉	河 合 香 子	高 山 晴 子	佐 藤 カズ子	鳥 飼 政 喜
体育保健体育主任		増 田 実	沢 本 年 人	梅 原 秀 明	尾 関 博 文	小 倉 勇	山 添 邦 男	佐 藤 栄久雄	川 上 昇 一	小 野 正 俊	比 企 通 男	草 刈 喜 一	井 上 善 夫
技術・家庭（男）主任													
家庭・技術家庭主任		赤 石 享	茅 野 とめ子	天 野 正 枝	日下部 芳 子	林 茂 子	清 水 しずか	石 川 成 子	月 成 カズ子	市 川 忝 子	長 浜 和 子	山 浦 幸 子	萩 原 章 子
外国語（英）主任													
道 徳 主 任		守 屋 ふ み	小 村 満 紀 子	平 山 毅	杉 本 英 之	内 藤 まつ代	五十嵐 一 郎	古 谷 孝 太	関 恒 夫	市 川 忝 子	末 継 逸 夫	江 口 耕 一	山 口 智 恵 子
特 別 活 動 主 任		小笠原 久 雄	島 田 美 代 子	赤 池 正 人	吉 村 正 二	山 田 恵 子	弥 延 潤 太	小 竹 章	大 上 琢 磨	成 井 朝 雄	渡 辺 和 子	江 口 耕 一	田 中 健
学 校 行 事 主 任		古 屋 光 男	松 井 慶 子	赤 池 正 人		生 田 彰	清 水 しずか	小 竹 章	関 恒 夫	小坂橋 五佐男	内 藤 康	秋 永 悦 郎	伊 藤 恵 造 (井上 善夫)
進 路 指 導 主 任													
視聴覚・教育機器主任		増 田 実	島 田 美 代 子	浜 野 美 広	色 川 和 代	高 野 紘	林 克 己	岡 上 和 子	坂 本 守	小 室 恒	大 倉 利 一	草 刈 喜 一	橋 本 清
学 校 図 書 館 主 任		守 屋 ふ み	高 島 和 子	関 根 敦 子	渡 辺 世 津 子	大 島 美 知 子	立 川 弥 生	植 松 久 美 子	月 成 カズ子	堀 内 美 恵 子	中 川 元 美	鷹 尾 富 貴 江	渡 辺 か ほ
給 食 主 任		赤 石 亨	塚 本 喜 美 子	村 川 敬 子	日下部 芳 子	林 茂 子	鹿島田 恭 江	石 川 成 子	塩 津 孝 子	斉 藤 イ ク	今 野 みち子	石 黒 芳 子	鈴 木 ナ ヲ
安 全 教 育 主 任		井 尻 武 子	茅 野 とめ子	藤 本 憲 康	渡 辺 芳 郎	岡 田 充 生	山 崎 充 子	青 木 良 子	川 上 昇 一	小 林 弘 子	波多野 担	幸 野 嘉 子	岩 尾 照 夫 (井上 善夫)
保 健 主 任		清 雲 よ志子	川 崎 照 子	伊 佐 弘 江	古 越 富 子	武 内 千 尋 子	長 田 正 夫	松 井 玉 江	安 達 美 武	舞 田 章 子	佐 藤 ヒサ子	佐々木 加津子	川 上 美穂子 (内田 陽子)
養 護 主 任		清 水 妙 子	菊 地 直 子	伊 佐 弘 江	古 越 富 子	小 島 典 子	上 山 美 智 子	松 井 玉 江	小 林 さと子	福 島 雪 江	佐 藤 ヒサ子	佐々木 加津子	内 田 陽 子
管 材 主 任		上 田 博 文	倉 石 桂	関 根 敦 子	渡 辺 芳 郎	工 藤 トシコ	伊 東 淳 司	高 井 くめ子	知 花 豊	嶋 貫 博	郷 原 敦	石 川 一 政	横 田 昭 子
事 務		上 田 博 文	小 村 絹 子	下 城 正 二	大 淵 隆 夫	牧 野 誠	伊 東 淳 司	橘 田 晟	知 花 豊	藤 井 悦 子	郷 原 敦	石 川 一 政	横 田 昭 子

53年4月

学校 担当	高幡台小	南平小	程久保小	旭が丘小	平山台小	一中	二中	七生中	三中	四中	三沢中
教 務	勝 俣 友 子	進 真 郎	上 野 森 良	上 山 洋一郎	和 田 文 雄	長谷川 忠 男	渡 辺 勉	小 松 文 木	大 塚 長 栄	高 木 宏 文	明 石 敏 春
生 活 指 導	河原田 桂 子	森 清 晃	河 野 千 秋	渡 辺 馨 鴻	飯 田 幸 次	立 川 泰 司	稲 川 正 義	本 城 裕 彬	志 茂 知 之	鈴 木 良 身	鈴 木 清 司
研 究 ・ 研 修	坂 口 田 鶴子	山 中 義 男	堀 越 満 枝	泉 芳 夫	古 山 郁 夫	福 島 良 樹	飯 島 利 三	大 石 文 秋	加 藤 常 光	赤 木 清 福	大 宅 寛
人権尊重の教育担当	勝 俣 友 子	片 岡 千 寿子	河 野 千 秋	上 山 洋一郎	八 木 文 夫	市 塚 正 央	武 藤 光 哉	山 辺 文 男	志 茂 知 之	久保田 俊 司	田 能 裕
国 語	赤 井 光 子	阿 部 二三子	小 畑 智 恵子	馬 場 富 男	溝 江 恵 美子	能 瀬 典 子	我 妻 要	高 橋 定 吉	羽 生 幸 一	堀 江 富 男	原 宏 江
社 会	村 越 裕 子	越 村 清 治	河 野 千 秋	泉 芳 夫	古 山 郁 夫	天 野 義 雄	森 紀 子	釣 晃 敏	小 林 広	樋 口 恢 武	中 村 勝 郎
算 数 ・ 数 学	山 田 洋 士	藤 井 香 代子	渡 辺 みち子	菅 野 君 江	飯 田 幸 次	古 厩 清 夫	矢 崎 博	山 川 昭 子	高見沢 文 男	鎌 須 賀 正 克	新 井 教 旦
理 科	長 沼 正 幸	森 清 晃	川 上 卓 一	渡 辺 健 一	吉 川 郁 子	宮 田 和 子	渡 辺 欣 哉	久 村 敏 明	長 島 寿 平	工 藤 満 春	原 沢 和 江
音 楽	河原田 桂 子	村 上 悦 子	小 堀 こう子	伊 東 春 子	村 田 那 智子	青 木 保	村 上 敏 雄	天 野 敏 明	新 井 幹	大 野 滯 子	大 宅 寛
図 工 ・ 美 術	副 田 実 枝	関 賀 穂 留	松 本 真 知子	藤 田 富 治郎	北 野 義 昭	逸 見 敏	小 林 初 子	阿 部 晃 一	佐 藤 恒	小 畑 亮	乙 黒 静 子
体 育 ・ 保 健 体 育	森 田 芳 博	進 真 郎	井 浦 弘	渡 辺 馨 鴻	信 夫 清 彦	阿 藤 貞 夫	山 崎 智 子	山 本 和 夫	泉 歌 代	藤 原 和 代	磯 岡 邦 雄
技 術 ・ 家 庭 (男)						松 岡 史 記	飯 島 利 三	三 浦 義 次	加 島 俊 博	鈴 木 良 身	佐 藤 至 正
家 庭 ・ 技 術 家 庭 (女)	安 西 利 江	当 間 糸 子	塚 本 純 子	奈 良 悦 子	橋 本 允 子	蓑 輪 博 美	西 村 敦 子	高 見 登 志子	佐 藤 寿 枝	萩 原 典 子	河 田 公 枝
外 国 語 (英)						吉 田 忠 夫	西 川 良 三	本 田 貞 子	西 山 恒 子	久保田 俊 司	猪 井 詔 子
道 徳	丹 羽 亮 典	山 中 義 男	上 野 森 良	石 原 八 重子	尚 樹 和 子	島 倉 昭 雄	武 藤 光 哉	小 林 敏 朗	加 藤 常 光	柳 沢 美 澄	松 田 健 司
特 別 活 動	中 村 笙 子	丸 茂 洋 子	土 方 邦 男	佐 藤 慎 一	小 島 義 範	天 野 義 雄	我 妻 要	吉 田 太 郎	加 藤 常 光		中 村 勝 郎
学 校 行 事	勝 俣 友 子	進 真 郎	川 上 卓 一	石 井 和 子	和 田 文 雄	長谷川 忠 男	渡 辺 勉	小 松 文 木	大 塚 長 栄	高 木 宏 文	明 石 敏 春
進 路 指 導						岩 村 武	武 藤 光 哉	須 貝 光 一	東 郷 隆 盛	吉 見 光 雄	橋 本 貴 幸
視 聴 覚 ・ 教 育 機 器	丹 羽 亮 典	堀 竹 充	川 井 矩 子	泉 芳 夫	吉 川 郁 子	大 山 正 昭	西 川 良 三	高 野 徐 一	長 島 寿 平	藤 原 和 代	橋 本 貴 幸
学 校 図 書 館	小 口 澄 代	当 間 糸 子	間 瀬 悦 子	中 村 麗 子	古 賀 暉 子	能 瀬 典 子	伊 藤 務	阿 部 晃 一	長 島 寿 平	田 中 栄 一	樽 川 和 恵
給 食	須 藤 貞 雄	片 岡 千 寿子	浜 野 育 子	奈 良 悦 子	長 尾 節 子	安 食 久 子	佐 藤 光 子	安 藤 ゆき江	大 室 郁 夫	門 脇 年 子	河 田 公 枝
安 全 教 育	福 田 令 子	森 清 晃	佐々木 千鶴子	金 畑 昭 正	飯 田 幸 次	森 田 与 一 郎	矢 崎 博	本 城 裕 彬	北 原 景 昭	黒 沢 谷 五 郎	原 宏 江
保 健	高 橋 和 代	藤 田 孝 彦	松 田 英 明	石 原 八 重子	尚 樹 和 子	小 谷 澄 江	須 藤 節 子	箭 田 真 由 美	伊 佐 節 子		富 樫 昭 子
養 護	金 野 峰 子	土 屋 良 子	細 井 聖 子	倉 林 紀 子	田 島 佳 子	小 谷 澄 江	須 藤 節 子	箭 田 真 由 美	伊 佐 節 子	高 橋 恵 子	富 樫 昭 子
管 材	石 田 義 一		横 山 謙 二	伊 藤 功	谷 津 誠 一	古 塚 淳 夫	佐 藤 博 助	吉 岡 興 村	大 室 郁 夫		八 木 守
事 務	石 田 義 一	田 辺 正 志	横 山 謙 二	伊 藤 功	幸 地 通 夫	黒 木 利 武	佐 藤 博 助	吉 岡 興 村	大 室 郁 夫	大 野 馨	八 木 守



園 名 日野市立第一幼稚園
所 在 地 日野市多摩平4-3
電 話 0425-81-4124
順 路 豊田駅より北へ約10分

園長氏名 江 角 正 子

主任氏名 平 向 邦 江

1. 沿革の概要

- 昭40. 4. 1 日野市立第一幼稚園として設置
さる。学級7、定員280名、
職員教諭8名、用務員1名
園敷地2,700㎡、園舎777㎡
プレハブ1棟。
4. 10 開園 園児280名
5. 25 創立記念日とす
5. 30 園章制定
- 昭41. 3. 19 第一回修了児 119名
- 昭42. 12. 20 鳥小屋完成
- 昭43. 9. 6 プール第一次計画完成
(中庭)
12. 20 ホール増築完成
- 昭44. 2. 10 プール第二次計画完成
(プールサイド、シャワー)
- 昭45. 6. 1 プレハブ園舎、ベランダ増設工
事完成
7. 15 運動場拡張完成
7. 15 園塀ブロック金網に改装完成
- 昭48. 2. 5 本館下水工事完成
3. 14 東京都交通安全教育実験学校
研究発表会(第一年次)
10. 23 東京都交通安全教育実験学校
研究発表会(第二年次)
- 昭50. 3. 10 10周年記念研究発表会開催
園歌制定
12. 25 園舎増築完成
保育室3、プレイコーナー、図
書コーナー各1、保健室1、資
料室1、屋上、トイレ、物置1
- 昭52. 8. 31 ホール床改装完成

2. 歴代園長

氏 名 年月 ~ 年月
江 角 正 子 昭40. 4. 1 ~ 現 在

3. 地域の環境

市の一大集団住宅地域である多摩平団地およ
び周辺住宅の中心にある。近くには公園もあり、
比較的閑静な環境にあったが、甲州街道と平行
してそのバイパス的役割をなす道路に面してい
るため近年は交通量も多くなり危険になってき
た。

4. 教育目標

- (1) 明るく元気にがんばることも
- (2) よく見、よく聞き、よく考えることも
- (3) やさしい心をもつことも

5. 本年度指導の重点

教育目標の具現化を図るために学級経営を充
実させる。

- (1) 教育目標の内容分析と具体化をすすめ、目
標達成の場面や方法を明確にする。
- (2) 指導内容の精選、集約を図り、指導方法の
改善に努める。
- (3) 幼児理解を深め、ひとりひとりの幼児の発
達課題をおさえた指導をくふうする。

6. 幼 児 数

5才児	学級数	7
	男 児	136
	女 児	112
	計	248

7. 教 職 員

番号	氏 名	年令	担 任	本園就任年月日	研究教材	そ の 他
1	江 角 正 子	56	園 長	昭40. 4. 1	経 営	
2	平 向 邦 江	35	主 任	昭40. 4. 1	社 会	教務、庶務、会計
3	南 谷 彰 子	28	一年保育	昭53. 4. 1	自 然	視聴覚教材
4	高 橋 悦 子	27	一年保育	昭49. 4. 1	自 然	保育教材
5	佐 藤 宏 江	27	一年保育	昭52. 5. 1	音楽リズム	飼育栽培
6	村 木 順 子	26	一年保育	昭48. 4. 1	言 語	園内研究
7	会 田 美津子	26	一年保育	昭48. 4. 1	社 会	学年会係
8	久 嶋 明 子	26	一年保育	昭51. 4. 1	絵画製作	行 事
9	近 間 典 子	25	一年保育	昭51. 4. 1	絵画製作	園内研究、絵本

8. 本校研究主題の推移

昭和44年度	「意欲的によく遊べる子」 (1) ひとりひとりの幼児の理解を中心に (2) 指導過程における指導の方法を中心に
昭和45年度	44年度研究「意欲的に遊べる子」について継続研究
昭和46年度	教育課程と指導計画の実践にもとづいた再編成
昭和47年度	母と子のための交通安全教育 ～教育機器を活用して～
昭和48年度	母と子のための交通安全教育 ～指導計画の作成～
昭和49年度	幼児と地域の実態を生かした教育課程の編成
昭和50年度	教育課程にもとづいた望ましい経験や活動の選択
昭和51年度	「幼児理解」幼児ひとりひとりの理解とその指導法
昭和52年度	「学級経営の充実」 ～幼児理解を通して～

9. 本校の特色

心身ともに健康な幼児の育成と幼児の幸せを願ひ、教師、父母が協力して内容の充実深化に力を入れ努力している。

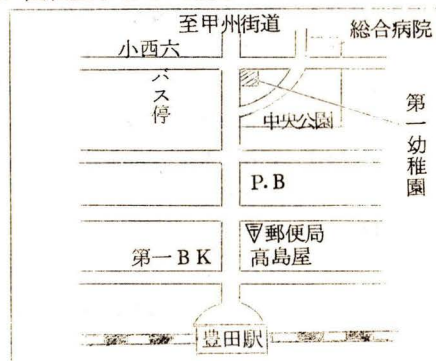
10. 都教育研究員、研究生歴

昭和49年度 研究員 平 向 邦 江

11. 保護者の職員一覧

職 業	家庭実数	%
会 社 員	181人	73%
公 務 員	31	13
団 体 職 員	15	6
医 師	3	1
自 営 業	9	3.5
そ の 他	9	3.5
合 計	248	100

12. 園に至るまでの地図





園 名 日 野 市 立 第 二 幼 稚 園
所 在 地 日 野 市 平 山 4 - 8 - 4
電 話 0 4 2 5 - 9 1 - 4 1 2 5
順 路 京 王 線 平 山 城 址 公 園 下 車 徒 歩 1 0 分

園長氏名 深 澤 真 人

主任氏名 樋 山 欣 子

1. 沿革の概要

- 昭40. 4. 1 日野市立第二幼稚園として平山
小学校内に設置。
園児 131名
- 昭40. 5. 10 開校記念日と定める。
- 昭40. 5. 30 園章制定
- 昭41. 2. 23 放送施設完成
- 昭46. 3. 10 日野市研究協力園として研究発
表を行なう
- 昭46. 3. 10 第二幼稚園の歌制定
- 昭47. 3. 15 雨天時の泥粘土コーナー完成
- 昭47. 6. 15 園舎園塀完成
- 昭48. 2. 21 東京都交通安全教育推進学校研
究発表会(第一年次)
- 昭49. 10. 22 東京都交通安全教育推進学校研
究発表会本発表(第二年次)
- 昭51. 8. 全園舎床木造に張替完成

2. 歴代園長氏名

氏 名	年 月	～	年 月
後 藤 正 太	昭 4 0. 4	～	昭 4 2. 3
安 積 利 治	昭 4 2. 4	～	昭 4 7. 3
小 野 晃	昭 4 7. 4	～	昭 5 0. 3
深 澤 真 人	昭 5 0. 4	～	現在

3. 地域の環境

市の南西部にあり、南に多摩丘陵がつらなり、
自然に恵まれ景観のよい環境である。
近年は宅地や住宅団地造成により住宅地と化し、
都内に勤務する人の子弟が多くなっている。

4. 教育目標

- (1) あそびによろこんで参加し、活発にからだを
動かしてあそべる子ども

- (2) 自分の意見をはっきり言い、友だちの意見
も聞きながらあそべる子ども
- (3) 自分で考えて行動しようとする子ども

5. 本年度の指導の重点

- (1) 野外活動に重点をおき、特に体力づくり、
情操面の育成に力を注ぐ。
- (2) 野外活動をととし、特に一年保育児の遊び
の発展経過を観察記録し、正しい集団生活に
必要な自主性、協調性を養う。
- (3) 交通安全教育と対策
父母の協力のもと活発に行ない、地域の交
通安全の向上につとめたい。

6. 幼 児 数

学 年	5才児
学 級 数	3
男 児	61
女 児	51
計	112

7. 教 職 員

番 号	氏 名	年 令	担 任	本 校 研 究 就 任 教 科 年 月 日
1	深澤 真人	53	園 長	51. 4. 1 経 営
2	樋山 欣子	54	主 任	47. 4. 1 社 会
3	上野美津枝	38	ほ し	48. 4. 1 言 語
4	土屋 菊代	24	つ き	49. 4. 1 自 然
5	加藤八寿子	22	に じ	53. 4. 1 音 楽
6	鶴沼万里子	3	産 代 教 諭	53. 4. 1 5310.31 健 康

8. 本校研究主題の推移

昭和41年度	遊びと施設
昭和42年度	子どもの健康状態と体力の向上について
昭和43年度	粘土あそび どろ粘土コーナーの利用
昭和44年度	遊具を使用した幼児の体育指導
昭和45年度	地域環境に即した野外指導の年間計画と実践
昭和46年度	45年度の研究継続
昭和47年度	自然を生かした野外指導(考える目を養う)
昭和48年度	地域の実態に即した交通安全教育、安全対策の推進-正しい踏切の渡り方
昭和49年度	地域の実態に即した交通安全教育、安全対策の推進-踏切の正しい渡り方
昭和50年度	前年度継続研究
昭和51年度	防災、避難対策の年間計画作成
昭和52年度	ひとりひとりの幼児の経験や活動について

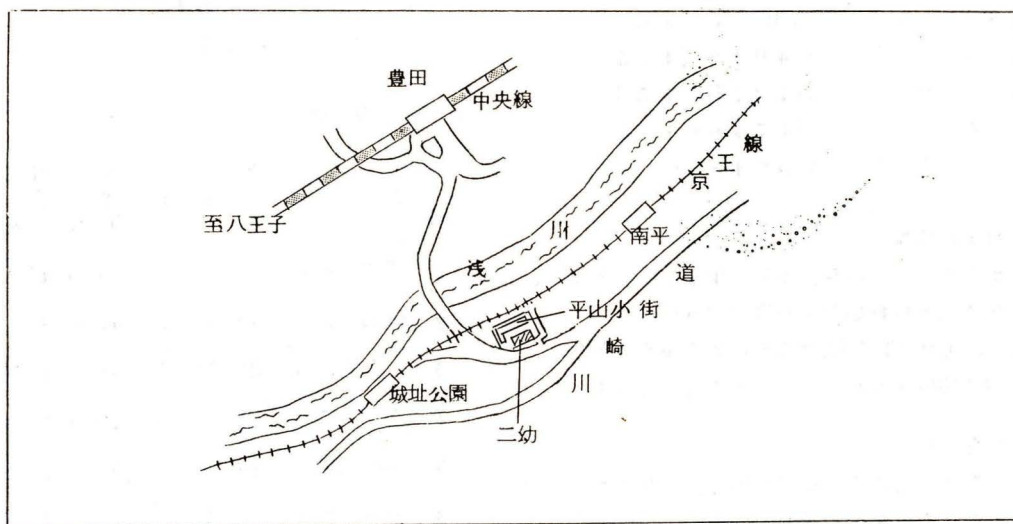
9. 保護者職業一覧

・会社員	73
・公務員	21
・会社	4
・目営業	5
・国鉄職員	3

10. 都教育研究員、研究生歴

年 度	氏 名	教科・領域	研究員、研究生別
昭和50年度	樋山 欣子	自 然	現代化委員
昭和52年度	上野美津枝	自ら遊ぶ経験や活動	"
昭和53年度	上野美津枝	言 語	研 究 員

11. 園に至るまでの地図





園 名 日野市立第三幼稚園
所 在 地 日野市日野 2800
電 話 0425-81-7127
順 路 国電 日野駅下車 徒歩7分
バス 第三幼稚園前

園長氏名 溝呂木 桂 次

主任氏名 鷺 見 照 子

1. 沿革の概要

- 昭41. 4. 11 開 園
(4学級、園児数143名)
- 昭42. 2 園舎東側ブロック塀工事
- 昭42. 5 裏門両袖ブロック塀工事完了
- 昭42. 10 花壇完成
- 昭42. 11 コークス小屋完成
- 昭42. 11 観察池完成
- 昭44. 9 砂場用足洗場(手洗場)新設
- 昭46 市研究協力園
- 昭47. 3 屋外飼育舎新設
- 昭51. 2 区画整理のため正門を東側に移動
10周年記念研究発表

2. 歴代園長

氏 名	年 月	～	年 月
吉 田 辰 次	41. 4	～	41. 5
永 野 林 弘	41. 6	～	42. 3
吉 田 辰 次	42. 4	～	44. 3
下 田 忍	44. 4	～	50. 3
溝呂木 桂 次	50. 4	～	現在

3. 地域の環境 第三幼稚園

国道20号より約200m程はいった住宅街にあり、小学校校庭に隣接する。園近くには小公園、神社などもあるので多少の遊び場は残っている。

多摩川へ幼児で徒歩約20分位である。

4. 教育目標

- (1) 意欲をもって活動できる子
ア じょうぶで元気な子

イ 自分を表現できる子

ウ いろいろなことに興味や関心をもつ子

- (2) 友達と遊べる子
(3) 情操豊かな子

5. 本年度指導の重点

- (1) 自分をありのままに出すようにしむけて、その子どもの実態を把握して能力を伸ばし欠けているものを補う指導を工夫する。
- (2) 日日、教材・遊具等を工夫して準備し、しぜんに幼児が働きかけて考えたり行動をおこしたりするようにしむける。

6. 幼 児 数

5 才 児	学級数	3
	男	45
	女	54
	計	99

7. 教 職 員

番号	氏 名	年 令	担 任	本園就任年月日	研究教科	そ の 他
1	溝呂木 桂 次	58	園 長	昭50. 4. 1	経 営	
2	鷺 見 照 子	52	主 任	昭41. 4. 1	自 然	教務・庶務・会計
3	石 川 和 子	33	一年保育 5才児	昭47. 4. 1	言 語	教育相談
4	永 瀬 町 子	24	一年保育 5才児	昭50. 4. 1	健 康	
5	菅 谷 基 子	20	一年保育 5才児	昭53. 4. 1	健 康	

8. 本園研究主題の推移

昭和45年度	自然の領域における評価の 観点について
昭和46年度	科学的思考力の芽生えをつ ちかう指導法
昭和47年度	野外の自然環境
昭和50年度	子どもの行動をどう理解し ていったらよいか(幼児理 解)
昭和51年度	幼児と小動物とのかかわり

9. 本園の特色

特に自然とのかかわり合いの中での教育を考え、園外へ出て河原や野外で遊ぶことを多くしている。また幼児と教師と一緒に土を運んだり、ほぐしたり、玉石やブロックで花壇を作ることから栽培を始める。子ども達が種まきや種集めなどを自然なかたちでできるような環境作りをしている。比較的大きい飼育舎を用意し、子ウサギが生れて育つ様子を見せ、子ども達が自分で餌をやったり抱いたりしてその生態や習性を知り、かわいいという気持ちが育つようにしている。

10. 都教育研究員、研究生歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員 研究生別
昭和 43年度	鷺見照子	社 会	研究員
昭和 49年度	〃	自 然	現代化委員

11. 保護者の職業一覧

職 業	家庭数	%	職 業	家庭数	%
会社員	66	67	教 員	3	3
自営業	13	13	その他	6	6
公務員	11	11	計	99	100

12. 園に至るまでの地図





園 名 日 野 市 立 第 四 幼 稚 園
所 在 所 日 野 市 石 田 4 3 1 - 6
電 話 0 4 2 5 - 8 3 - 3 9 0 3
順 路 立 川 — 高 幡 不 動 京 王 バ ス
日 野 四 小 前 下 車 徒 歩 5 分

園長名 釜 池 博

主任氏名 沖 山 英 代

1. 沿革の概要

- 昭 47. 8. 11 園舎新築工事起工
昭 48. 1. 31 園舎完成
昭 48. 4. 1 日野市立第四幼稚園として開園
学 級 数 2 級
園 児 数 6 0 名
教 諭 3 名
用 務 員 1 名
平屋園舎 4 9 5 m²
園 敷 地 2 0 0 8 m²
昭 48. 4. 10 入園式挙行
昭 48. 10. 29 落成式挙行
昭 48. 11. 1 開園記念日と定める
昭 48. 11. 7 園庭の植樹完了
昭 48. 12. 1 鉄骨製藤棚工事完了
昭 49. 3. 20 第 1 回修了証書授与式挙行
修了者 4 6 名
昭 50. 1. 13 うさぎ小屋(鉄骨製)工事完了
昭 51. 8. 30 各保育室前、テラス工事完了

2. 歴代園長

内 藤 達 夫 48. 4. 1 ~ 52. 3
釜 池 博 52. 4. 1 ~ 現在

3. 地域の環境

本園は、日野橋から東へ通 1 Km、多摩川の土手近くにあり、小学校に隣接している。農業中心のこの地域は、近年急激に宅地化が進み、園舎前には、中央高速道路が東西に走り、西側の都道も交通がひんぱんである。桑園や梨畑が続く小道には緑が豊富にあり、四季を通じて野外活動の場になっている。園児たちの過半数は四

小学区から通園している。

4. 教育目標

- (1) 丈夫なからだで仲良く遊べる子ども
- (2) 意欲的に活動する子ども
- (3) ゆたかな心を持つ子ども

5. 指導の重点

- ① 健康な生活に必要な習慣や態度を身につけ、明るくのびのびと遊べる子どもにする。
- ② 野外活動に重点をおき、自然に親しませながら、ゆたかな感受性とやさしい心を育てるようにする。
- ③ 望ましい経験や活動を精選し段階を追った活動内容を選択配列化する。

6. 幼 児 数

	5 才 児	計
学 級 数	2	2
男	2 9	2 9
女	2 2	2 2
計	5 1	5 1

7. 教 職 員

番号	氏 名	年令	担 任	本園就任年月日	研究教科	そ の 他
1	釜 池 博	56	園 長	昭52. 4. 1	経 営	
2	沖 山 英 代	39	主 任	昭48. 4. 1	言 語	教務・庶務
3	田 中 洋 子	29	ゆ り 組	昭53. 4. 1	音楽リズム	教育相談
4	長 友 真 弓	24	ば ら 組	昭49. 4. 1	健 康	

8. 研究主題の推移

昭和48年度	野外活動の指導をどのように行なったらよいか～自然環境を利用して～
昭和49年度	上 記 と 同 じ
昭和50年度	上 記 と 同 じ
昭和51年度	上 記 と 同 じ
昭和52年度	上 記 と 同 じ

9. 本園の特色

川原遊び、草摘み、梨もぎなど四季折々の自然に親しむ経験や活動を多くして、幼児の体力づくりや協調性の芽ばえが大切に育つよう指導している。

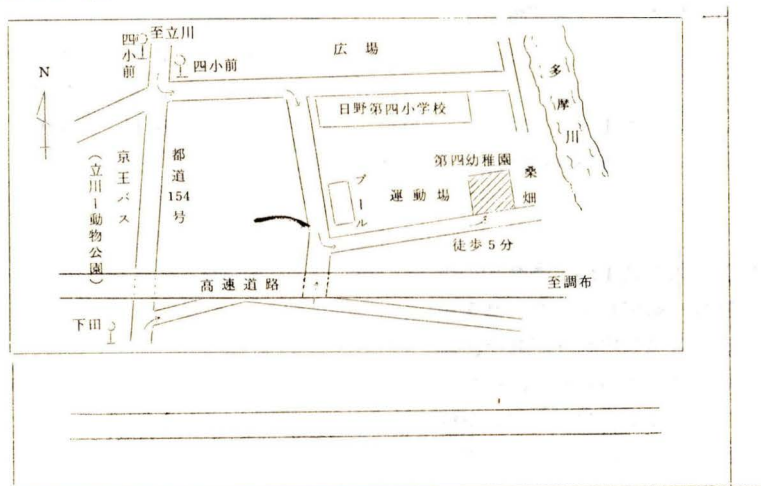
10. 保護者の職業一覧

職 業	家庭実数	%
会 社 員	41	80
公 務 員	4	8
自 営 業	4	8
そ の 他	2	4

11. 都教育研究員、研究生歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和48年度	高橋千鶴子	心身障害	研 究 員
昭和52年度	沖山 英代	社 会	研 究 員

11. 園に至るまでの略図





園 名 日野市立第五幼稚園
所 在 地 日野市三沢175番地
電 話 0425-92-0432
順 路 京王線 高幡不動駅より東へ約13分

園長氏名 古 谷 洋 太

主任氏名 坂 口 嘉津子

1. 沿革の概要

昭49. 4. 1 日野市立第五幼稚園として設置される

学級数 2、定員 80名

教諭 3名、用務員 1名

園敷地面積 3,479㎡

園舎面積 4,288㎡

昭49. 4. 15 開園、園児数62名

昭49. 11. 1 落成式

昭49. 11. 1 開園記念日とする

昭50. 1. 20 園庭拡張される

昭50. 3. 20 第1回修了児 70名

昭51. 3. 31 鳥小屋完成

昭52. 12. 昭和53年度1学級増築決定

昭53. 2. 1 プレハブ教室増築工事開始

昭53. 2. 7 掲示板完成

昭55. 3. 31 プレハブ教室完成

2. 歴代園長

氏 名 年 月 ～ 年 月

岡 本 省 吾 昭49.4.1～53.3.31

古 谷 洋 太 昭53.4.1～現在

3. 地域の環境

○京王線高幡不動駅と百草駅のほぼ中間の位置にあり、周囲には田んぼ、畑が多く自然に恵まれとなり小学校、前には中学校がある。近くには高幡不動、多摩動物公園、百草園がある。

4. 教育目標

○友だちと仲良く元気に遊べる子
○豊かな心を持ち、自分を素直に表現できる子
○望ましい生活習慣を身につけた子

5. 本年度指導の重点

○幼児が自ら選んで行う活動を大切にし、ひとりひとりの幼児が充実した気持がもてる。
○友だちとかかわる中で、1人の人間として必要な社会的生活態度を身につけていくようにする。

6. 幼 児 数

	5才児	計
学 級 数	3	3
男	51	51
女	48	48
計	99	99

7. 教 職 員

番号	氏 名	年令	担 任	本園就任年月日	研究教科	そ の 他
1	古 谷 洋 太	5 1	園 長	昭 5 3. 4. 1	経 営	
2	坂 口 嘉津子	3 7	主 任	昭 5 0. 4. 1	言 語	教務・庶務
3	小 林 茂 子	2 7	1 年 保 育 つ く し 組	昭 4 9. 4. 1	自 然	図 書
4	斎 藤 美津子	3 1	1 年 保 育 す み れ 組	昭 5 0. 4. 1	健 康	教 材
5	小 形 みさ子	2 1	1 年 保 育 た ん ぼ 組	昭 5 3. 4. 1	絵画製作	視 聴 覚

8. 研究主題

昭和 5 0 年度	創造性を高めるための環境設定をどうしたらよいか
昭和 5 1 年度	"
昭和 5 2 年度	幼児の興味や関心を育てる環境構成のあり方
昭和 5 3 年度	"

9. 本園の特色

- 恵まれた自然環境を利用し、思う存分活動する中で動植物に対する思いやり、いたわりが育つよう指導している。
- 広い園庭をいかして、こどもたちの運動能力を高める遊びを多くとりいれている。
- 菜園をつくり、幼児が自らの手で育て、収穫する喜びを味わわせている。

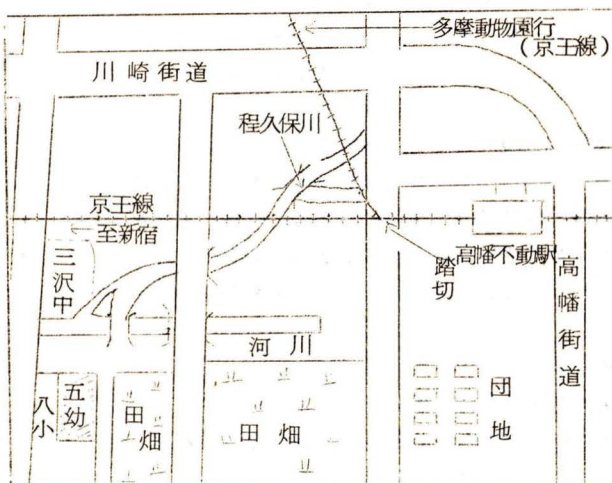
10. 都教育研究員、研究生歴

昭和 4 5 年度	研 究 員	坂 口 嘉津子	教科領域	言 語
昭和 5 1 年度	現代化委員	"	総合的指導とは	

11. 保護者の職業一覧

職 業	家庭実数	%
会 社 員	7 3	7 3.7
公 務 員	8	8.1
教 諭	5	5.1
自 営	7	7.1
団 体 職 員	2	2.0
そ の 他	4	4.0

12. 園に至るまでの地図





園 名 日野市立第六幼稚園
所 在 地 日野市程久保876-2
電 話 0425-92-6330
順 路 京王線高幡不動駅より百草団地行きバスに
て高幡台団地下車、徒歩5分

園長氏名 手代木 和 夫

主任氏名 田 中 澄 子

1. 沿革の概要

- 昭50. 9. 6 園舎新築工事起工
昭51. 3. 19 園舎完成
昭51. 4. 1 日野市立第六幼稚園として開園
鉄筋平家建園舎
学級数 2、 定員80名
教諭 3名、 用務員 1名
敷地面積 1,408.259m²
園舎面積 473.386m²
昭51. 4. 10 入園式挙行
園児数 73名
昭52. 3. 19 第1回修了児 80名
昭53. 3. 20 第2回修了児 75名
昭53. 4. 1 1学級増設

2. 歴代園長

氏 名 年月 ～ 年月
手代木 和 夫 昭51.4.1～ 現在

3. 地域の環境

日野市の南東部にある多摩丘陵に造成された高幡台団地との分岐点に位置し、園舎は緑の森林に囲まれた美しい眺めの場所にある。近くには多摩動物公園、百草園、高幡不動などがあり、野あそびを楽しむ場所も多く、自然を満喫できる。

4. 教育目標

- (1) 明るくはつらつとしたこども
(2) やさしい心で助け合うこども
(3) 最後までがんばるこども

5. 本年度指導の重点

- (1) 学級経営の充実をはかり、ひとりひとりのこどもを大切にし、幼児理解につとめ指導を行う。
(2) 幼児の活動をよく見つめ、日々の積み重ねを大切にし、ひとりひとりの個性をのばす指導につとめる。

6. 幼 児 数

5 才 児	学 級 数	3
	男	50
	女	39
	計	89

7. 教 職 員

番号	氏 名	年令	担 任	本園就任年月日	研究教科	そ の 他
1	手代木 和 夫	59	園 長	昭51. 4. 1	理 科	経 営
2	田 中 澄 子	51	主 任	昭51. 4. 1	社 会	教務・庶務
3	市 川 やす子	29	一年保育 さくら組	昭51. 4. 1	健 康	図 書
4	森久保 裕 子	23	一年保育 すみれ組	昭51. 4. 1	音 楽	行 事
5	窪 田 千恵子	21	一年保育 あやめ組	昭53. 4. 1	絵画製作	教 材

8. 本園研究主題の推移

昭和51年度	環境の整備とその活用
昭和52年度	〃
昭和53年度	〃 —自発的な動きかけの観察—

9. 本園の特色

- (1) 在園する園児の約85%が、高幡台団地、百草団地の公団住宅から通園している団地幼稚園である。
入園前には、そのほとんどが、何らかの施設で保育の経験をして入園しているため、友だちも多く集団に慣れている。
- (2) 園舎内外の、環境の整備と、その効果的な活用法について力を注ぎ、家庭とも協力しながら園づくりに努力している。

10. 都教育研究員、研究生歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和48年度	田中澄子	学校経営	現代化委員

11. 保護者の職業一覧

職 業	家庭数	%	職 業	家庭数	%
会社員	69	77.5	その他	5	5.6
目営業	5	5.6	計	89	100
公務員	10	11.3			

12. 園に至るまでの地図





学 校 名 日野市立日野第一小学校
所 在 地 日野市日野2800番地
電 話 0425-81-0073・0061
順 路 中央線日野駅下車 徒歩6分

校長氏名 溝呂木 桂 次

教頭氏名 大 島 昭 子

1. 沿革の概要

- 明 6. 5. 5 士淵山普門寺の本堂をあて開校
第一大学区第八中学区第五十四
番小学日野学校と称す。(現在
の中央公民館のとなり 当時神
奈川県)
- 明 45. 2. 11 校歌、校章制定、校舎改増築、
校地拡張(現中央公民館の所)
- 昭 11. 4. 29 校旗寄贈(古谷剛次郎氏)
- 昭 15 日野2800番地(現在地)
に土地900余坪、新校舎建築
開始。(戦時中軍徴用)
- 昭 23. 4. 25 新校舎に移転完了
- 昭 25. 4. 1 東京都指定実験学校となり、教
育課程の研究 発足27年3月5
日発表
- 昭 28. 8. 22 80周年記念プール竣工
- 昭 38. 11. 3 日野市制施行により日野市立日
野第一小学校と校名を変更
- 昭 40. 4 防音校舎三期をもって完成
- 昭 43. 4. 1 日野市研究協力校として
「教育環境の整備」を主題とし
て研究発足。
44年2月21日に研究発表
- 昭 43. 8. 1 日野市集会場を屋内運動場兼講
堂として移管
- 昭 44. 2. 21 日野市研究協力校として「教育
環境の整備について」発表
- 昭 44. 5. 1 東京都学校花壇協力校となる
- 昭 46. 4. 1 日野市小学校訪問学級(肢体不
自由学級)設置、5月17日開級
- 昭 47. 2 都市計画神明上区画整理事業開始
校庭南側一部縮少遊具移動

- 昭 47. 5 ビデオ式購入(ビデオコー
ダー、ビデオカメラ、ビデオ
モニター等)
- 昭 48. 4 授業研究校
- 昭 48. 11 創立百周年記念祭
- 昭 49. 4 授業研究校
- 昭 50. 4 授業研究校
- 昭 51. 3 非常階段設置
教室黒板スチール化10教室
- 昭 51. 4 授業研究校
- 昭 51. 8 給食配膳室の塗装、スチール棚
設置、
- 昭 51. 8 理科室の整備(排水、机、床
タイルの固定)
- 昭 52. 1 黒板のスチール化
- 昭 52. 7 体育館屋根塗装
- 昭 53. 2 理科室ガス配管、電気配線、
体育館暗幕とりつけ
- 昭 53. 3 家庭科室改修(教室に変更)

2. 歴代校長

- | 氏 名 | 年月～年月 |
|----------|------------------|
| 1 日野 義順 | 明 6. 5～明 9. 7 |
| 2 国府田 学 | 明 9. 7～明 11. 3 |
| 3 小川 則要 | 明 11. 4～明 15. 3 |
| 4 鈴木 宗也 | 明 15. 4～明 16. 8 |
| 5 上野 謙松 | 明 16. 9～明 18. 3 |
| 6 二見友三郎 | 明 18. 4～明 19. 4 |
| 7 八木岡寛制 | 明 19. 5～明 21. 10 |
| 8 佐野 鶴松 | 明 21. 11～大 5. 3 |
| 9 古谷剛次郎 | 大 5. 4～大 12. 1 |
| 10 河合 平作 | 大 12. 2～大 15. 3 |
| 11 古谷剛次郎 | 大 15. 4～昭 11. 1 |

12 宮川 海三 昭11. 2～昭18. 3
 13 貫井 半蔵 昭18. 4～昭23. 8
 14 小池 嘉一 昭23. 9～昭34. 3
 15 尾崎半次郎 昭34. 4～昭37. 3
 16 五十嵐 光 昭37. 4～昭38. 3

17 木村 清 昭38. 4～昭41. 3
 18 吉田 辰次 昭41. 4～昭44. 3
 19 下田 忍 昭44. 4～昭50. 3
 20 溝呂木桂次 昭50. 4～現在

3. 地域の環境

本校は中央線日野駅の南方に位置し、農地、工場、商店、住宅により構成される地域を校区としている。駅より近く交通の便はよいが、甲州、川崎の両街道をかかえ、交通禍の危険をはらんでいる。校区内は区画、地番の整理も十分でなく、近代都市への脱皮の途上にあるようである。最近田畑は宅地造成、区画整理などにより宅地化しつつある。しかし今のところは公害におそわれることもほとんどなく、自然の緑の美しい心やすまる環境も残されている。

4. 教育目標

本校の教育は、自主的に人格の完成につとめる児童の育成をめざし、つぎのことがらを中心として展開する。

- (1) 科学性を身につける子ども (2) 豊かな心情をもつ子ども
 (3) つよい意志をそだてる子ども (4) じょうぶな体をつくる子ども

年度の重点 「おちつきのある生活をつくり出していく意欲を高める」

ーよく聞き、よく見る力を養うー

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動の指導の重点

ア 各教科 授業研究を通して教材性の吟味と指導の適正に全力を注ぐこと。

指導要領改訂に伴う移行の趣旨、内容を着実に実践、指導すること。

イ 道徳 人格を尊重し、協力し合える集団づくりを実践的活動によって培う。

ウ 特別活動 集団的な実践活動を通して、児童の所属する集団の一員としての役割を自覚し、集団の運営に進んで参加するように指導する。

(2) 生活指導の重点

集団の秩序と安全保持の立場から指導の徹底をはかる、特に次の五つのやくそくを重点とする。

- ①整理整頓 ②時間を守る ③あいさつをする ④正しい歩行 ⑤人の話をよく聞く

6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特殊学級訪問学級	計
学 級 数	5	4	4	5	4	3	1	26
男	94	98	89	100	83	63	5	532
女	91	69	82	89	62	56	1	450
計	185	167	171	189	145	119	6	982

7. 教 職 員

番号	氏 名	年令	担 当	本校就任年月日	研究教科	その他
1	溝呂木 桂 次	58	校 長	50. 4. 1	理 科	
2	大 島 昭 子	51	教 頭	53. 4. 1	国 語	
3	広 沢 ふさ子	39	1 の 1	53. 4. 1	国 語	
4	久保田 由 子	35	1 の 2	50. 4. 1	国 語	
5	野 口 すみ子	37	1 の 3	50. 4. 1	算 数	
6	塩 川 憲 子	28	1 の 4	54. 4. 1	算 数	
7	馬 場 延 子	42	1 の 5	53. 4. 1	国 語	
8	高 木 映 子	43	2 の 1	47. 4. 1	社 会	
9	田 中 隆 夫	26	2 の 2	50. 4. 1	算 数	
10	斎 木 昭 朗	44	2 の 3	41. 10. 1	社 会	
11	吉 成 千津子	28	2 の 4	49. 4. 1	算 数	
12	佐々木 玄 吾	48	3 の 1	51. 4. 1	社 会	
13	広 嶋 とし子	25	3 の 2	53. 4. 1	図 工	
14	西 山 由美子	28	3 の 3	51. 4. 1	音 楽	
15	落 合 茂 子	50	3 の 4	50. 4. 1	社 会	
16	清 雲 よ志子	57	4 の 1	44. 4. 1	理 科	
17	森 秀 伸	28	4 の 2	50. 4. 1	国 語	
18	岡 本 朋 子	25	4 の 3	50. 4. 1	図 工	
19	赤 石 享	53	4 の 4	52. 4. 1	家 庭	
20	増 田 実	29	4 の 5	48. 4. 1	体 育	
21	小笠原 久 雄	36	5 の 1	51. 4. 1	体 育	
22	香 川 善 平	33	5 の 2	53. 4. 1	社 会	
23	井 尻 武 子	48	5 の 3	53. 4. 1	家 庭	
24	武 内 忠 雄	31	5 の 4	53. 4. 1	体 育	
25	守 屋 ふ み	55	6 の 1	46. 4. 1	道 徳	
26	有 泉 徹 郎	44	6 の 2	52. 4. 1	国 語	
27	小 幡 建	42	6 の 3	52. 4. 1	理 科	
28	古 屋 光 男	48	理 科	49. 4. 1	理 科	
29	保 坂 たか子	28	音 楽	52. 4. 1	音 楽	
30	酒 井 栄 一	65	図 工	42. 4. 1	図 工	
31	岡 野 三 郎	56	訪 問	53. 4. 1	算 数	
32	中 村 由美子	26	〃	50. 9. 16	図 工	
33	清 水 妙 子	36	養 護	49. 4. 1	体 育	
34	上 田 博 文	42	事 務	47. 4. 1		
35	山 田 悦 子	22	栄養士	52. 4. 1		
36	井 沢 祐 一	44	指導主事	52. 4. 1		
37	渡 辺 勝	40	〃	53. 4. 1		

8. 本校研究主題の推移

昭和41年度	教材の系統制について
昭和42年度	学校運営の能率化
昭和43年度	学校運営の能率化、教育環境の整備
昭和44年度	教育環境の整備と活用
昭和45年度	ひとりひとりを生かす生活指導
昭和46年度	考える子どもの育成（教科、道徳、特別活動を通して）
昭和47年度	考える子どもの育成（学年経営、学級経営、指導の重点、重点研究の3本柱）
昭和48年度	「考える力をのばす」
昭和49年度	「考える力をのばす」
昭和50年度	「考える力をのばす」
昭和51年度	「考える力をのばす」（特に事実をきちんと見つめること、表現力を高める）
昭和52年度	「おちつきのある生活をつくり出していく意欲を高める」（よく聞き、よく見る）
昭和53年度	積極的に学習する児童の育成とその指導法 ―児童の変容を目指して―

9. 本校の特色

- 全職員で授業研究に取り組む
- 教育環境の整備
学校花壇、教材園、自然園等の充実

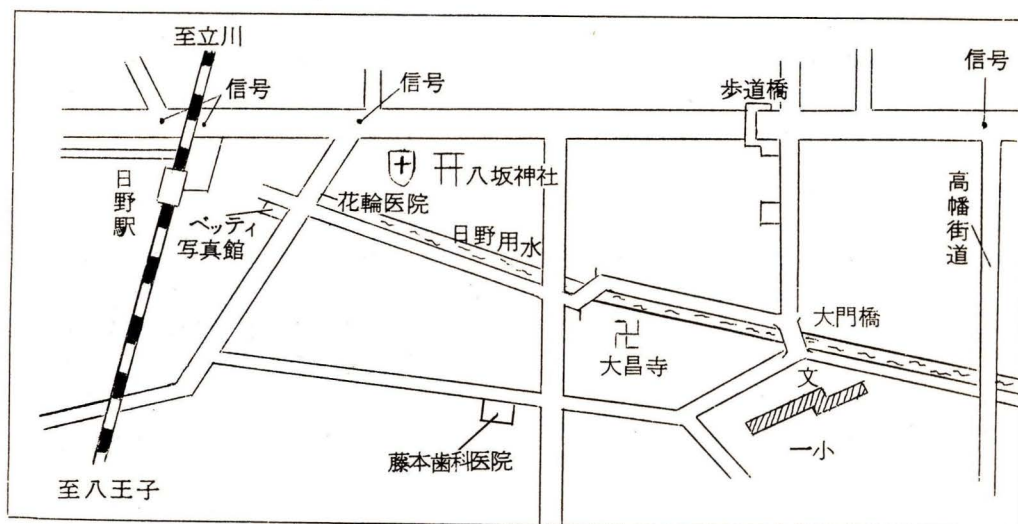
10. 都教育研究員、研究生歴

昭和37年度	古屋 光 男	理 科	研 究 員
昭和40年度	大 島 昭 子	給 食	”
昭和49年度	小笠原 久 雄	特 活	”
昭和50年度	高 木 映 子	教育方法	”
昭和51年度	佐々木 玄 吾	社 会	”
昭和52年度	広 沢 フサ子	教育相談	研 究 生
昭和53年度	小 幡 建	理 科	研 究 員

11. 保護者の職業一覧

職 種	家庭実数	%	職 種	家庭実数	%
会 社 員	4 2 1	5 5.4	運 諭 通 信	2 2	2.9
公 務 員	9 3	1 2.3	農 業	9	1.2
自 宅 商	3 5	4.6	自 営 業	7 5	9.9
自 宅 工	4 3	5.7	そ の 他	2 1	2.8
サービス業	2 2	3.0	無 職	7	0.9
自 由 業	1 0	1.3		7 5 8	1 0 0

12. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立日野第二小学校
所在地 日野市東豊田 2-14-1
電話 0425-81-0070・0851
順路 中央線 豊田駅下車 徒歩10分
京王線 南平駅下車 徒歩17分

校長名 鈴木 英 夫

教頭氏名 大 熊 喜 一

1. 沿革の概要

- 明 7. 3 神奈川県 9 大区小 4 区豊田村尋常小学校として創設、戸長山口平太夫氏長屋を仮校舎にする。
- 年月不詳 善生寺本堂を校舎とし、上下 2 等級に分け、下等小学校は満 6 才より 9 才、上等小学校は満 10 才より 13 才までとする。
- 明 12. 2 豊田 1320 番地善生寺の西隣に新校舎建築
- 明 26. 4 東京府に編入される。
- 明 41. 3 日野小学校豊田分教場となる。
- 昭 17 豊田 218 番地に新校舎建築
- 昭 21. 6 南多摩郡豊田国民学校として再び独立
- 昭 27. 12 第一次増築 2 階建 8 教室
276 坪 拡張校地 366 坪
- 昭 30. 4 日野町日野第二小学校と校名変更
- 昭 31. 4 第 2 次増築 2 階建 6 教室
168 坪 拡張校地 366 坪
- 昭 38. 11 日野市立日野第二小学校と校名変更
- 昭 43. 6 防音改築第 1 期工事完成
- 昭 44. 3 防音改築第 2 期工事完成
- 昭 45. 2 日野市指定研究「教材教具の整備と活用」研究発表をおこなう。
- 昭 46. 2 体育館工事落成
- 昭 46. 4 プレハブ教室 1 教室設置
- 昭 46. 5 全教室テレビ配置
- 昭 46. 12 体育倉庫新設
- 昭 48. 3 安全のために西側に通用門設置
- 昭 49. 3 新校舎増築（8 教室）
- 昭 49. 11 創立 100 周年記念式典
- 昭 51. 8 放送設備大改善、校内テレビ放送開始。
- 昭 52. 7 プールの底上げ工事完了。（0.8～1.2m）

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
小 山 茂 平	昭 21. 6～27. 9
増 島 光 一	昭 27. 10～34. 3
小 池 嘉 一	昭 34. 4～38. 3
森久保 惣 次	昭 38. 4～42. 3
後 藤 正 太	昭 42. 4～47. 3
安 積 利 治	昭 47. 4～50. 3
永 井 雅 夫	昭 50. 4～53. 3
鈴 木 英 夫	昭 53. 4～現在

3. 地域の環境

- (1) 本校の学区は、かつては、「豊田の里」と呼ばれ、静かな農村であった。ところが、近年になって急激に宅地造成が進み、住宅が急増し、農家の割合が 4% にも激減している。
- それでも、浅川を中心として田畑が 散在し、屋上から見る景観はすぐれて美しい。
- (2) また、ローラースケートのできる駒形公園 市民プール、市立中央図書館など、公共施設にも恵まれている。
- (3) さらに、父母は、学校教育に対する関心が深い。登校時の交通指導を積極的に進めるなど、きわめて建設的であり、また、協力的である。
- (4) 一方、学校前の都道をはじめとして、学区内の道路は、どこも道幅がせまく、そのほとんどに歩道がない。しかも、交通量がしだいに増加し、登下校の安全が憂慮される状況に

なっている。

4. 教育目標

- (1) からだも心も強く明るい子
- (2) みんなと仲よく力をあわせられる子(重点目標)
- (3) よく考え進んで行動する子
- (4) 責任をもって最後までやりぬく子

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア 各教科

- (ア) 指導内容を精選し、到達目標を改善し、指導の効果をたかめる。
- (イ) 移行措置の研究、指導法の研究を深める。

イ 道徳

- (ア) 愛情豊かな情操を育てる指導を行う。
- (イ) 教育目標と道徳の関連をはかり、効果的な指導を行う。

ウ 特別活動

- (ア) 集団行動をととして、心身の調和的発達をはかる。
- (イ) 児童会・学級会・委員会活動・クラブ活動をととして、自主的な実践態度を育てる。

(2) 生活指導・進路指導の重点

- ア 集団生活をととして基本的生活習慣の育成をはかる。
- イ 校内・校外生活について、安全教育の徹底をはかる。

(3) その他の配慮事項

- ア 移行措置の研究を深める。
- イ 避難訓練をととして、防災指導の徹底をはかる。
- ウ 教育機器、資料の積極的な活用と整備をはかる。
- エ ゆとりある、しかも、充実した学校生活をめざして研究的にとりくむ。

6. 児童数

学年 学級数 性別	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
	4	4	4	4	4	3	23
男	81	95	96	65	75	67	479
女	81	71	80	75	69	53	429
計	162	166	176	140	144	140	908

7. 教 職 員

番号	氏 名	年齢	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	鈴 木 英 夫	56.7		53・4. 1	経 営	
2	大 熊 喜 一	50.6		51・4. 1	経 営	
3	中 川 金 作	53.11	〇1の1	52・4. 1	〇社 会	人権尊重の教育担当主任、就学対策委員長
4	樋 口 静 江	27.4	1の2	49・4. 1	体 育	
5	宮 本 容 子	29.5	1の3	47・4. 1	算 数	
6	吉 川 都 子	35.5	1の4	53・4. 1	算 数	
7	峰 岸 サ ヨ	51.9	〇2の1	42・4. 1	国 語	
8	伊 藤 洋 子	32.4	2の2	52・4. 1	社 会	
9	宮 坂 恵美子	35.1	2の3	49・4. 1	図 工	
10	小 林 満紀子	41.5	2の4	51・4. 1	〇道 徳	
11	石 岡 信 行	53.1	〇3の1	45・4. 1	〇算 数	
12	沓 沢 利 江	25.0	3の2	51・4. 1	国 語	
13	高 橋 淑 子	26.6	3の3	49・4. 1	図 工	
14	田 村 利 樹	43.7	3の4	44・4. 1	体 育	生活指導主任
15	川 崎 照 子	50.1	〇4の1	47・4. 1	理 科	保健主任
16	紺 屋 富 夫	33.5	4の2	50・4. 1	〇国 語	重点研究委員長
17	吉 沢 佐久子	46.10	4の3	51・4. 1	国 語	学校教育相談係
18	塚 本 喜美子	34.11	4の4	49・4. 1	国 語	給食主任
19	高 島 和 子	51.1	〇5の1	45・4. 1	社 会	図書館・視聴覚主任、評価委員長
20	梅 原 すみ子	26.1	5の2	53・4. 1	理 科	科学センター指導員
21	茅 野 とめ子	33.9	5の3	52・4. 1	〇家 庭	安全教育主任
22	松 井 慶 吾	54.11	5の4	46・4. 1	道 徳	教務主任、学校行事主任
23	高 橋 立 身	52.5	〇6の1	51・4. 1	社 会	教務副主任、卒業対策委員長
24	島 田 美代子	30.2	6の2	46・4. 1	〇特 活	
25	沢 本 年 人	34.1	6の3	50・4. 1	〇体 育	体育委員長
26	倉 石 桂	68.4	〇理科	40・4. 1	〇理 科	科学センター指導員、管財主任
27	大 場 と み	46.4	音楽	48・4. 1	〇音 楽	
28	鶴 田 久美子	42.5	図工	45・4. 1	〇図 工	
29	長 田 よし子	24.3	音・図	52・4.16	図 工	
30	菊 地 直 子	29.2	養護	52・4. 1	養 護	
31	小 林 絹 子	27.7	事務	52・4. 1	事 務	

※担任欄の〇印は、学年主任等、研究教科欄の〇印は教科主任等。

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	生活指導の研究
昭和41年度	道徳の指導計画の作製
昭和42年度	道徳の指導計画の作製
昭和43年度	国語科における読解教材の効果的な指導法
昭和44年度	教材教具の効果的な整備と活用
昭和45年度	学級会活動における児童の自主性の育成
昭和46年度	学級会の話し合いの指導、国語科における読速力の指導
昭和47年度	鉄棒運動の段階的指導、数と計算領域の指導
昭和48年度	数と計算領域の指導、器械運動の段階的指導
昭和49年度	国語科における説明的文章の読解指導の研究
昭和50年度	国語科における説明的文章の読解指導の研究
昭和51年度	主体的に学習し活動する子どもを育てる研究
昭和52年度	各教科の学年別学習到達目標の設定に関する研究
昭和53年度	各教科の学年別学習到達目標の実践と改善

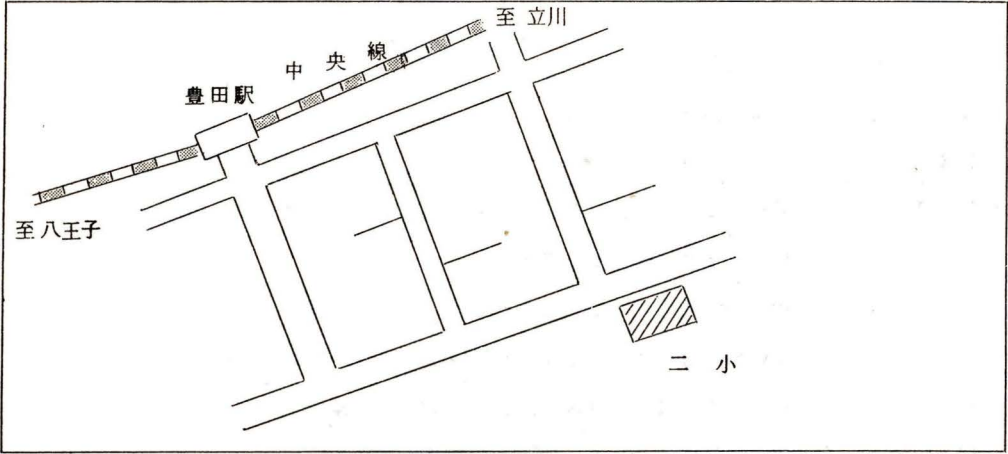
9. 本校の特色

- (1) 本校は、開校百四年の伝統を誇る由緒ある学校である。充実した百年祭も終わり、父母の協力のもと、これまでの歴史をだいじにしながら新たな伝統づくりに励んでいる。
- (2) 児童の体位は標準程度であるが、体力はすぐれている。これは、学区内が自然環境に恵まれていることが大きな要因と考えられる。
- (3) 児童の心情は、すなおであり、態度もまじめである。

10. 都教育研究員、研究生歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和39年度	大 熊 喜 一	生活指導	研究生（東京大学）
昭和48年度	高 橋 立 身	教育方法	研 究 員
昭和51年度	菊 地 直 子	学校保健	研 究 員

1.1.学校に至るまでの地図





学 校 名
所 在 地
電 話
順 路

日野市立日野第三小学校
日野市日野台2丁目1番地1号
0425-81-0101・0850
中央線 日野駅下車徒歩15分

校長氏名 平 松 健太郎

教頭氏名 津野田 昭 二

1. 沿革の概要

- 昭23.4.1 日野小学校日野台分校として設置される。児童1～3年340名、教室4、全学年2部授業
- 昭25.6.10 日野台小学校として独立する。児童数696名、教室9、4年生迄2部授業
- 昭25.7.18 校章制定
- 昭25.9.19 4教室増築、教室数13、3年まで2部授業
- 昭27.4.15 4教室増築、教室数17、2年まで2部授業
- 昭27.6.10 校歌制定
- 昭28.3.10 校地850坪拡張、6教室増築
教室数23、2部授業解消される。
- 昭30.4.1 日野第三小学校と校名を変更
- 昭32.3.4 旧教室4を取除き6教室を増築
教室数25、児童数869名
- 昭33.8.3 給食調理室完成
- 昭33.8.3 大小プール落成
- 昭34.3. 校地1100坪拡張
- 昭34.5.11 34年度東京都小学校理科教育
研究協力学校に指定される。
- 昭35.4.1 日野町特殊学級が併置される。
- 昭35.6.10 開校10周年記念日を迎え記念
式、祝賀会を催す。
- 昭37.4.5 校門完成
- 昭38.11.3 日野市制施行に伴い日野市立日
野第三小学校と校名を変更。
- 昭39.6.2 放送室、用務員室完成
- 昭42.4.7 防音校舎新築起工式

- 昭42.9.1 3年以上新校舎使用開始、
順次に木造旧校舎解体
- 昭43.11.15 校地地番変更、日野市日野
台2丁目1番地1号
- 昭44.12.20 学校北側の外柵落成
- 昭45.6. プレハブ2教室落成
- 昭46.2.16 体育館落成式、校章制定
- 昭46.4.20 プレハブ2教室増設
- 昭47.4.1 プレハブ2教室増設
- 昭48.4.1 鉄筋新校舎9教室増築落成
プレハブ4教室撤去
- 昭50.2.25 鉄筋新校舎(5教室、職員
室、校長室、事務室、放送
室など)竣工
- 昭50.6.1 校旗制定

2. 歴代校長

氏 名	年月 ～ 年月
高 野 忠 正 (事務取扱)	昭25.6.10～26.3.12
高 野 忠 正 (校 長)	昭26.3.13～27.9.30
尾 崎 半次郎	昭27.10.1～34.3.31
五十嵐 光	昭34.4.1～37.3.31
塚 本 正	昭37.4.1～41.3.31
池 田 瑞 男	昭41.4.1～47.3.31
岩 井 庄 三	昭47.4.1～50.3.31
平 松 健太郎	昭50.4.1～現在

3. 地域の環境

東京都の南西多摩川の南岸、甲州街道沿いに位置し、海拔800mの日野台地及び多摩川沿いに平地を含む地域である。

日野自動車工場とともに発展した地域であり、台地のため公害も少ない。

日野台地（学区域）の北部は多摩川をへだて立川市、南は多摩丘陵、西部は八王子が眺望できるすぐれた環境に恵まれている。

4. 教育目標

本校の教育目標は、憲法及び教育基本法に基づいて、民主的社会人としての人間形成の基礎作りにある。

○健康で明るい子ども ○よく考える子ども ○責任を果たす子ども

5. 本年度指導の重点

主体的に学習することの育成をめざし基礎学力の充実をはかる。

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア 各教科

移行措置要領にもとづき、指導内容の精選と指導計画を作成し、研究により、指導法のくふうをし、次の重点を行なう。

◎主体的に学習にとりくむことものの育成

- 友だちと協力して学習をすすめることができる。
- 自分の意見を積極的に述べたり、質問したりすることができる。
- 自分から課題をみつめて解決のため努力することができる。
- 話をよく聞き、自分の考えをもつことができる。

イ 道徳

人間尊重の教育を基本とし、次の重点を実践する。

◎道徳的判断が行動化されることものの育成

- 相手の立場になって考え、行動できる。
- 先生や友だちに対してきちんと挨拶できる。
- 公共物の後始末をきちんとすることができる。
- 心身障害児学級と仲よく協力して学校生活ができる。

ウ 特別活動

◎主体的に活動にとりくむことものの育成

- 係活動や清掃活動に積極的にとりくむことができる。
- 児童活動を主体的にすすめ、特に集会活動の企画や運営ができる。
- 低・中・高学年相互に協力助け合いができる。

(2) 生活指導・進路指導の重点

◎相手の立場を考え、主体的に実践できることものの育成

- 物を大切に扱い、後始末がきちんとできる。
- 廊下や道路での正しい歩行ができる。
- 先生や友だちの話を静かに聞くことができる。

(3) その他の配慮事項

- 心身障害児学級と一般学級との教師相互、児童相互の交流の場を積極的に設け、障害をもつ児童に対して正しい認識と理解を深める。
- 交通安全日、避難訓練を月1回実施し、安全教育の推進をはかるとともに安全対策に万全を期す。
- 校舎内外の環境整備と美化に努める。
- 学校の教育目標を地域、学校及び児童の実態に総合するよう再検討する。

6. 児 童 数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	ひばり	計
学 級 数	7	6	5	5	5	4	2	34
男	127	125	106	102	112	98	9	679
女	140	107	86	102	112	74	6	627
計	267	232	192	204	224	172	15	1306

7. 教 職 員 ※年令は昭和54年3月現在

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	平 松 健太郎	54	校 長	昭50. 4. 1	学校経営	
2	津田野 昭 二	52	教 頭	52. 4. 1	学校経営	
3	浜 野 美 広	29	1 の 1	48. 4. 1	特 活	視聴覚、庶務
4	山 口 和 子	52	1 の 2	50. 4. 1	道 徳	保健、庶務
5	市 川 純 子	29	1 の 3	51. 4. 1	音 楽	児童文化、管理
6	長 沼 良 子	30	1 の 4	48. 4. 1	家 庭	
7	有 馬 由紀子	34	1 の 5	48. 4. 1	国 語	教育相談、管理
8	橋 本 満喜子	30	1 の 6	53. 4. 1	算 数	清掃、管理
9	金 子 直 子	31	2 の 1	53. 4. 1	図 工	図書館、教務
10	村 川 敬 子	27	2 の 2	49. 4. 1	音 楽	給食、教務
11	清 成 純 子	25	2 の 3	52. 4. 1	社 会	保健、管理
12	福 地 保	49	2 の 4	51. 4. 1	理 科	教務
13	渡 辺 静 枝	29	2 の 5	48. 4. 1	図 工	図書館
14	中 原 正 子	34	2 の 6	49. 4. 1	図 工	生活指導、教務
15	藤 本 憲 康	49	3 の 1	47. 4. 1	体 育	生活指導、教務
16	愛 甲 喜恵子	27	3 の 2	53. 4. 1	社 会	保健、教務
17	矢 野 百合子	33	3 の 3	49. 4. 1	国 語	生活指導、教務
18	篠 原 正 人	28	3 の 4	50. 4. 1	算 数	清掃、教務
19	橋 本 美千代	50	3 の 5	42. 4. 1	家 庭	教育相談、庶務
20	高 野 ちひろ	29	4 の 1	49. 4. 1	図 工	児童文化、教務
21	井 上 明 子	29	4 の 2	47. 4. 1	音 楽	保健

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
22	三 村 礼 子	44	4 の 3	昭50. 4. 1	国 語	生活指導、教務
23	金 沢 真 弓	25	4 の 4	52. 4. 1	国 語	給食、管理
24	浅 野 昭 雄	49	4 の 5	53. 4. 1	理 科	教務
25	松 村 静 子	35	5 の 1	53. 4. 1	特 活	生活指導、図書館、教務
26	橋 本 和加子	23	5 の 2	52. 4. 1	道 徳	給食、管理
27	川原田 和 子	35	5 の 3	49. 4. 1	国 語	保健、教務
28	平 山 毅	44	5 の 4	52. 4. 1	道 徳	視聴覚、教務
29	梅 原 秀 明	26	5 の 5	50. 4. 1	体 育	視聴覚、管理
30	山 田 一 夫	30	6 の 1	47. 4. 1	特 活	生活指導、管理
31	和 田 淑 子	46	6 の 2	52. 4. 1	国 語	保健、教務
32	赤 池 正 人	42	6 の 3	51. 4. 1	特 活	清掃、教務
33	関 根 敦 子	45	6 の 4	51. 4. 1	国 語	図書館、管理
34	西 山 伸	32	ひ ば り	48. 4. 1	音 楽	保健、教務
35	足 立 光 江	27	〃	50. 4. 1	音 楽	生活指導、教務
36	吉 川 力	51	〃	53. 4. 1	図 工	庶務
37	宇留野 勝 幸	29	理 科	51. 4. 1	理 科	給食、教務
38	森 甫	51	音 楽	43. 4. 1	音 楽	視聴覚、管理
39	岩 永 ヒ ラ	52	図 工	51. 4. 1	図 工	生活指導、教務
40	天 野 正 枝	28	家 庭	46. 4. 1	家 庭	給食
41	伊 佐 弘 江	43	養 護	51. 4. 1	体 育	保健、教務
42	下 城 正 二	27	事 務	52. 4. 1	事 務	事務
43	和 田 房 子	31	栄 養 士	49. 4. 1		
44	高 田 ふ み	61				生活指導
45	西 川 征 矢	33		48. 4. 1		

8. 本校研究主題の推移

昭和47年度	主体的に勉強や仕事にとりくむこどもの育成をはかる。
昭和48年度	主体的な学習態度や生活態度の育成をはかる。そのための適切な指導内容・指導方法等について研究を深める。
昭和49年度	主体的に考え行動するこどもの育成をめざす授業のすすめ方。
昭和50年度	主体的に考え行動するこどもの育成をめざす授業のすすめ方。
昭和51年度	主体的に学習にとりくむ子どもの育成
昭和52年度	主体的に考え行動するこどもの育成
昭和53年度	主体的に学習するこどもの育成をめざし基礎学力の充実をはかる。

9. 本校の特色

- 児童は明るくすなおで、決まったことや言われたことはよくするが、やや主体性を欠き、ねばり強くやりぬこうとするたくましさがない。
- 校内研修で、市教委の委託研究を受け、児童の主体性を高める授業研究を実施している。また心障学級があり、教育相談の研修に力を入れている。
- 多摩川をのぞみ、たんぼ、はたけ、丘陵などの緑にかこまれた自然環境に恵まれている。
- 父母は、教育に対する関心が深く、PTAは自主的に活発に活動している。住宅は個人住宅が約7割を占め、近年、団地などが建設され、児童数も増加しつつある。

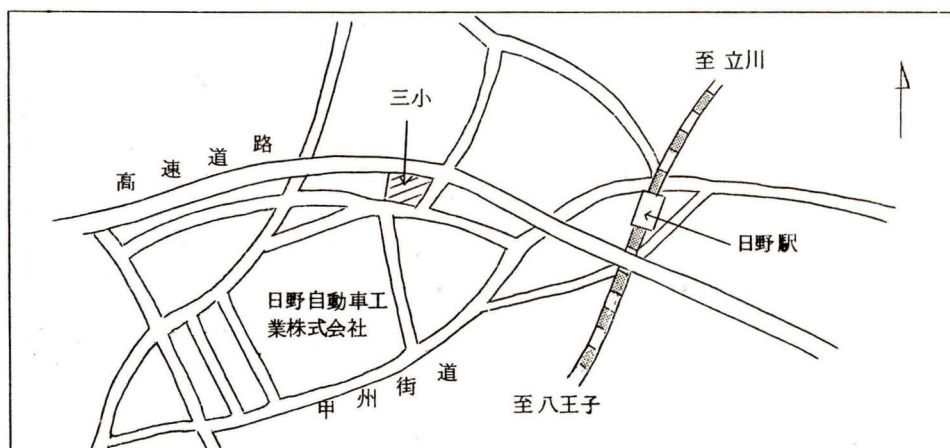
10. 都教育研究員、研究生歴

年	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和52年度	伊 佐 弘 江	保 健	現代化委員

11. 保護者の職業一覧

職 種	家庭実数	%	職 種	家庭実数	%
会 社 員	612	65	教 職 員	23	2
公 務 員	94	10	農 業	12	1
自 宅 商	56	6	建 築 関 係	37	4
自 宅 工	28	3	無 職	10	1
運 輸 交 通 業	24	2	そ の 他	53	6
			計	949	100

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日 野 市 立 日 野 第 四 小 学 校
所 在 地 日 野 市 石 田 4 3 0 番 地
電 話 0 4 2 5 - 8 1 - 0 0 3 8 ・ 3 0 7 6
順 路 日 野 駅 から 立 川 バス 南 詰 下 車 徒 歩 7 分
立 川 駅 北 口 から 多 摩 動 物 公 園 行 バス 四 小
前 下 車 徒 歩 2 分
京 王 線 高 幡 不 動 家 から 立 川 北 口 行 バス 四 小
前 下 車 徒 歩 2 分

校長氏名 釜 池 博

教頭氏名 上 辻 敏 雄

1. 沿革の概要

- 明 6. 5. 5 下田学舎
21. 11. 下田小学校
41. 3 日野小学校下田分校場
昭 29. 8. 18 校地決定 4259.14坪
30. 4. 4 落成式並開校式 この日を開
校記念日とする
30. 12. 22 校章制定
30. 12. 25 第三期校舎竣工
31. 3. 5 校旗完成
32. 11. 20 学校給食開始
35. 7. 20 プール落成式並祝賀会
36. 3. 26 第三期校舎落成式
36. 11. 1 校歌発表会、以後この日を開
校記念日とする
39. 6. 10 校地拡張及防音校舎に改築が
決定
40. 3. 31 防音校舎9教室完成
41. 3. 31 防音校舎第2期工事完了
14教室完成
41. 7. 9 防音校舎落成、独立11周年
下田学舎創立92周年記念式典
43. 11. 27 統計教育研究指定校として研
究発表会をする。(都、市指
定校)
45. 3. 31 体育館落成
防音校舎7教室増築完成
46. 7. 5 遊び開放用物置、便所設置
46. 8. 31 理科室給排水、配電設備設置
47. 6. 30 裏庭花だん新設
47. 9. 30 体育倉庫新設、校長室、保健
室移転、印刷室新設

- 昭 49. 2. 7 事務室設置、飼育舎新設
49. 9. 15 新校舎と体育館の渡り廊下改
修、危険物倉庫新設
50. 7. 20 給食室、用務員室改修

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
浦 上 増太郎	昭 30. 3. 29 ～ 36. 3. 31
田 中 善 次	36. 4. 1 ～ 44. 3. 31
森 巖	44. 4. 1 ～ 47. 3. 31
内 藤 達 夫	47. 4. 1 ～ 52. 3. 31
釜 池 博	52. 4. 1 ～ 現 在

3. 地域の環境

市の東端、多摩川と浅川のおちあう三角地帯
9地区1900戸である。甲州街道から約1km南
にへだたった多摩川あたりに位置し、田畑に
囲まれ、前面に中央高速道路が走っている。米
どころ日野の田園地帯と多摩川梨の産出地域で
ある。

万願荘の集団住宅を始め近年宅地化が進められ
田園地域より住宅地化しつつある。

4. 教育目標

(1) 学校のエ育目標

地域社会の特性を生かし、児童の実態を把握し、個性と能力に即し、児童の日常生活を基盤として次の事項を目標とする。

1. 丈夫な身体で 健康安全エ育
2. いつも元気に 明朗で活動的な人間の育成
3. 何事も自分で考え 真実を求め科学する心の育成

4. 仲よく 人間尊重と協力奉仕する民主的社會人の育成
5. 学びましょう 自主的学習態度の養成と基礎学力の充実
- (2) 学校の教育目標を達成するための基本方針
 - ア 学年会を研究的に進め、教師間の共通理解を深めながら指導性を高め目標の達成を図る。
 - イ あらゆる生活面で、教師と児童との心の交流を図りながら児童の自主的な学習欲を高めると共に計画的な体力作りを推し進める。

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア 各教科

- 自主的学習態度を重視して学力の向上をはかる。
- 個々の児童の学力をのばす指導法をくふうする。

イ 道徳

- (7) 生命を尊重し健康の増進と安全の保持につとめることができるようにする。
- (1) よいと思ったことは進んで実行し、強い意志と責任感をもって最後までやり通すようにする。

ウ 特別活動

- 各種の活動計画と実践のくふうをはかり、連帯感、所属感を育てる。
- 児童活動……児童の自主的実践的な態度を育て、個性の伸長をはかる。
 - 学級指導……統一ある指導計画に基づき、学級の実態に即した指導を徹底させる。
 - 学校行事……行事内容の精選と効果的な運営により集団への連帯感や規律ある集団行動の実践をはかる。特に体育的行事のねらいを明確にし、計画的指導と児童の主体的な参加を伸ばすようにする。

(2) 生活指導の重点

集団生活をととして個々の児童の生活態度の向上を図りながら教育課程が能率的、効果的に実施されるように努める。

〔具体目標〕 学校生活を楽しむために、学級、学校のきまりをたいせつに考え行動する子どもを育てる。

ア 個々の児童の能力、特性に応じた個別指導に力を入れる。

イ 学級、学校集団の質を高めるための集団指導に力を入れる。

(3) その他の配慮事項

- 移行措置に基づく教育計画を立て、新指導要領のねらいを生かす実践を研究的に進める。
- 地域社会の維識と協力して校外生活指導を充実する。

6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学 級 数	3	3	3	4	3	3	19
男	86	64	62	68	70	70	420
女	87	63	67	66	75	48	406
計	173	127	129	134	145	118	826

7. 教 職 員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	釜 池 博	56	校 長	52. 4. 1	学校経営	
2	上 辻 敏 雄	52	教 頭	53. 4. 1	学校経営	
3	小 山 富 子	28	1 の 1	51. 4. 1	算 数	保 健
4	杉 本 瑛 之	51	1 の 2	44. 4. 1	理 科	道 徳
5	菊 地 敬 子 (秋山テツ子)	28	1 の 3	50. 4. 1	国 語	保 健
6	渡 辺 世津子	55	1 の 4	49. 4. 1	体 育	図 書
7	貫 井 春 子	49	2 の 1	52. 4. 1	社 会	生活指導
8	飯 田 竹	34	2 の 2	48. 4. 1	図 工	教育相談
9	佐 藤 操	29	2 の 3	52. 4. 1	社 会	給 食
10	会 田 尚 子	41	3 の 1	53. 4. 1	社 会	生活指導
11	田 森 諦 詮	49	3 の 2	52. 4. 1	国 語	図 書
12	越 村 あや子	29	3 の 3	49. 4. 1	体 育	教育相談
13	速 藤 綾	52	4 の 1	48. 4. 1	算 数	学級経営
14	吉 村 正 三	27	4 の 2	52. 4. 1	体 育	特別活動
15	窪 田 正 子	32	4 の 3	43. 4. 1	算 数	図 書
16	岡 島 政 吉	28	5 の 1	51. 4. 1	社 会	視 聴 覚
17	日下部 芳 子	57	5 の 2	43. 4. 1	家 庭	給食主任
18	板 谷 敏	49	5 の 3	46. 4. 1	図 工	生活指導主任
19	色 川 和 代	31	5 の 4	47. 4. 1	音 楽	研究主任
20	笹 岡 佐和子	41	6 の 1	50. 4. 1	家 庭	給 食
21	尾 関 博 文	39	6 の 2	51. 4. 1	体 育	道 徳
22	高 倉 教 行	49	6 の 3	45. 4. 1	国 語	教務主任
23	林 いづみ	23	音 楽	53. 4. 1	音 楽	
24	渡 辺 芳 郎	55	図 工	39. 4. 1	図 工	管財主任
25	佐 野 静 江	24	理 科	51. 4. 1	理 科	視 聴 覚
26	古 越 富 子	22	養 護	51. 4. 1	保 健	保健主任
27	大 淵 隆 夫	32	事 務	48. 4. 1	事 務	庶務会計主任

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	教育技術の研究（研究授業年8回実施）
昭和41年度	研究授業の励行、指導案作成の研究
昭和42年度	都、市研究協力校、統計教育
昭和43年度	同 上
昭和44年度	国語科を中心とした読解力指導の充実をはかる。
昭和45年度	読み、解く力をつけるための基礎的指導をどのように進めたらよいか
昭和46年度	児童の自主性を生かした学習指導
昭和47年度	子どもが生き生きとした学習をするくふう→算数（計算、文章題）
昭和48年度	子どもが生き生きと学習に参加できる授業の研究→国語（かん字の指導）
昭和49年度	” （国、算、社 指導計画の作成、指導法の工夫）
昭和50年度	” （ ” ” ” ）
昭和51年度	” （国語科 ” ” ）
昭和52年度	” （国語における主体学習をととして）
昭和53年度	子どもが生き生きと学習に参加できる授業の研究（特別活動の学習をととして）

9 本校の特色

本校は過去数年、統計教育に取り組んできた。その成果を更に深化拡充するため、昭和46年より子どもの自主性を生かす授業の研究を進めている。児童の実態についていえば、まじめにこつこつと努力する面はみられるが、自らの力で思考し、自らの力で解決しようとする力が十分育っていないようである。今年度は特に特別活動における児童の自主性を伸ばすことに力を入れると共に、体育的行事や日常生活における体力作りももり上げ、身心両面における児童の主体性の伸長をめざして研究に取り組んでいる。

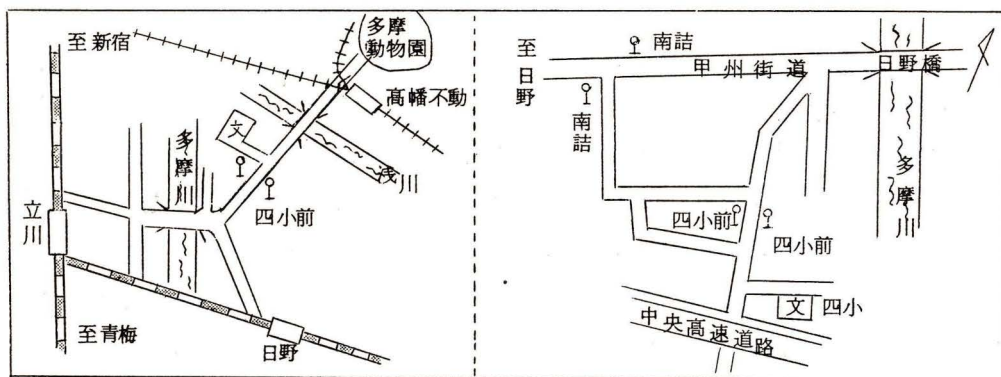
10. 都教育研究員、研究生歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和51年度	高 倉 教 行	特 活	研 究 員
昭和53年度	尾 関 博 文	体 育	”

11. 保護者の職業

種類 年	会 社 員	公 務 員	教 員	交 通 ・ 運 輸	土 建 業	農 業	工 員	自 宅 工	自 宅 商	そ の 他	無 職	合 計
1	63	7	0	3	3	0	4	9	8	2	1	100
2	37	8	2	5	1	0	4	4	11	2	0	74
3	43	5	1	2	10	3	7	7	6	6	0	90
4	65	6	0	5	4	6	5	6	7	6	2	112
5	69	12	4	4	10	1	8	8	11	8	0	135
6	65	14	1	4	9	1	6	8	5	3	1	117
合計	342	52	8	23	37	11	34	42	48	27	4	628
%	54	8	1	4	6	2	5	7	8	4	1	100

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日 野 市 立 日 野 第 五 小 学 校
所 在 地 日 野 市 多 摩 平 6-21-1
電 話 0425-81-0407 (代)・0445
順 路 豊田駅北口より京王バス 日野駅行き
五小前にて下車
甲州街道を通るバス(京王・都)に乗
り日野自動車工場前下車

校長氏名 多 昌 直 之

教頭氏名 近 内 信 輝

1. 沿革の概要

- 昭34. 4. 1 日野市立日野第五小学校開校
昭34. 4. 6 日野第二小学校、日野第三小
学校の校舎を借用し授業開始
昭34. 6. 8 第1期工事完成 新校舎にて
授業開始(現在地)
昭35. 9.13 第2期工事完成 2部授業解消
昭36. 5.31 第3期工事完成
昭36. 8.28 大プール、小プール竣工
昭38. 2.20 校章制定
昭39. 3.11 校歌発表会
昭39. 3.25 校旗制定(卒業記念寄贈品)
昭40. 4. 1 芝山分校日野六小として独立
昭42. 2.23 都、市研究協力校発表会
昭43. 5.20 体育館竣工
昭44. 3. 3 創立10周年記念式典
昭50. 4. 1 訪問学級設置
昭51. 3.31 校舎全面的改修着手
昭51. 3.31 校舎全面的改修継続

2. 歴代校長

氏 名

- 増 島 光 一 昭34. 4. 1~昭36. 3.31
浦 上 増太郎 昭36. 4. 1~昭39. 3.31
福 寿 文 雄 昭39. 4. 1~昭42. 3.31
星 野 正 男 昭42. 4. 1~昭47. 3.31

- 荒 井 一 男 昭47. 4. 1~昭49. 3.31
三 井 知 夫 昭49. 4. 1~昭52. 3.31
多 昌 直 之 昭52. 4. 1~現 在

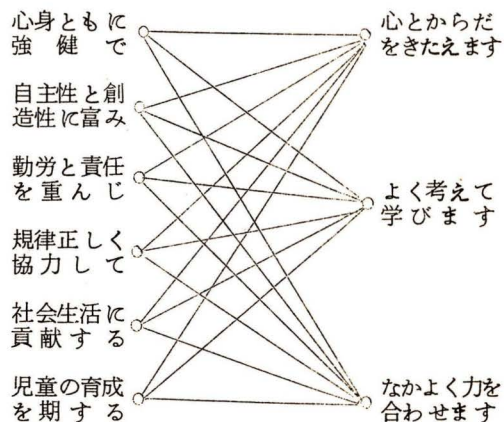
3. 地域の概況

昭和33年日本住宅公団により日野台地が開
発され、多摩平団地が建設された。この一角に
日野第五小学校が設置された。南は中央線、北
は国道20号線(甲州街道)にはさまれ、バス
網が発達し交通は便利である。

団地の住宅以外に住宅街、商店街をかかえ、
付近には日野自動車など4つの大会社があり近
代工業地域に接している。

団地内は公園、緑地、広場などが整備され立
木、芝生に囲まれた空間は静かな住宅地として
よい教育環境となっている。

4. 教育目標



5. 指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア 各教科

児童の思考過程を重視しながら、「学習意欲を高める指導法」の研究を通して、基礎学力の伸長を期する。

イ 道 徳

新学習指導要領の趣旨に沿い計画を改善し指導する。教育目標の具現化を図るため特に本校児童の実態に即して③物の整理、金銭の活用、⑤責任感、⑨思慮節度、⑬信頼友情の4項目を強調し、道徳的心情を深化して、実践力のある児童の育成に努める。

ウ 特別活動

年間指導計画の改善をはかり、集団の一員としての自覚を深め、その実践を通して自主性、協力的態度をもった個性豊かな人間形成に努める。

エ 生活指導

- 学校および社会生活における基本的行動様式や望ましい生活習慣を実践指導を通して身につけさせる。
- 教育目標の具現化を図るため、具体的計画的な目標を設定し、徹底を図る。
- 「五小の子ども的一天」の指導徹底を図る。

6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計	訪問学級
学級数	5	5	4	4	4	3	25	1
男	104	90	85	85	73	74	511	2
女	109	91	85	80	77	61	503	3
計	213	181	170	165	150	135	1,014	5

7. 教 職 員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	多 昌 直 之	51	校 長	昭52. 4. 1	経 営	
2	近 内 信 輝	54	教 頭	昭51. 4. 1	経 営	
3	伊 山 節 雄	48	1 ～ 1	昭51. 4. 1	算 数	視聴覚、一年主任
4	本 保 陽 子	49	1 ～ 2	昭51. 4. 1	道 徳	生活指導
5	吉 村 洋 子	28	1 ～ 3	昭51. 4. 1	家 庭	教育相談
6	武 内 千 尋 子	52	1 ～ 4	昭51. 4. 1	道 徳	保健主任

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
7	番 場 春 枝	29	1 ～ 5	昭51. 4. 1	理 科	教育相談
8	久保田 邦 子	26	2 ～ 1	昭52. 4. 1	国 語	図書館
9	生 田 彰	53	2 ～ 2	昭50. 4. 1	社 会	教務主任
10	逸 見 黎 子	35	2 ～ 3	昭47. 4. 1	図 工	保健、2年主任
11	大 島 美知子	27	2 ～ 4	昭52. 4. 1	音 楽	図書館
12	岡 田 充 生	33	2 ～ 5	昭43. 4. 1	理 科	生活指導
13	山 内 春 美	52	3 ～ 1	昭50. 4. 1	算 数	教育相談
14	針 田 和 子	31	3 ～ 2	昭50. 4. 1	図 工	教育相談
15	大 竹 三 郎	52	3 ～ 3	昭45. 4. 1	社 会	教育環境、3年主任
16	安 達 江 見	26	3 ～ 4	昭53. 4. 1	家 庭	生活指導
17	長 沢 佳都子	43	4 ～ 1	昭49. 4. 1	社 会	研究主任
18	渡 江 美 雪	29	4 ～ 2	昭51. 4. 1	理 科	教育環境
19	西 川 朝 子	32	4 ～ 3	昭46. 4. 1	国 語	給食、4年主任
20	山 田 恵 子	28	4 ～ 4	昭50. 4. 1	国 語	特別活動主任
21	岩 尾 ふ き	50	5 ～ 1	昭51. 4. 1	算 数	生活指導
22	内 藤 まつ代	50	5 ～ 2	昭45. 4. 1	道 徳	特別活動、5年主任
23	高 田 真 澄	27	5 ～ 3	昭49. 4. 1	理 科	視聴覚
24	白 石 俊 二	37	5 ～ 4	昭50. 4. 1	体 育	生活指導主任
25	藤 本 大 策	34	6 ～ 1	昭51. 4. 1	音 楽	特活、6年主任
26	佐々木 律 子	25	6 ～ 2	昭52. 4. 1	体 育	生活指導
27	小 倉 勇	26	6 ～ 3	昭52. 4. 1	体 育	体育主任
28	古 川 明 子	29	訪 問	昭50. 4. 1	算 数	保 健
29	佐 藤 正 身	35	訪 問	昭52. 9. 1	体 育	教育相談、訪問主任
30	高 野 紘	38	音 楽	昭52. 4. 1	音 楽	視聴覚
31	戸 塚 春 男	55	図 工	昭51. 4. 1	図 工	教育環境
32	林 茂 子	33	家 庭	昭43. 4. 1	家 庭	給食主任
33	小 島 典 子	43	養 護	昭50. 4. 1		保 健
34	牧 野 誠	29	事 務	昭52. 4. 1		事 務
35	伊 藤 多摩子	52	栄 養 士	昭44. 4. 1		給 食

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	自主的生活態度の完成と実践化（市）教材教具の収集と活用、基礎学力の充実
昭和41年度	学校と家庭の教育上の協力（都、市）、花壇の整備（都）
昭和42年度	道徳の指導計画の作成、指導内容の精選
昭和43年度	道徳の指導法のくふうと資料整備、基本的行動様式、体力増強のための計画と実践
昭和44年度	生活指導における基本的行動様式の実践指導。（特に特別活動との関連）
昭和45年度	学力の定着をめざした指導法のくふうと指導の実践
昭和47年度	特別活動の年間指導計画に基づき望ましい集団生活を通して実践的態度の育成
昭和48年度	思考力を伸長するための教材教具の活用法の研究
昭和49年度	思考力を伸長するための指導法の研究
昭50～昭51	思考力の伸長と自主協力学習の指導法の研究
昭和52年度	学習意欲を高める指導法の研究
昭和53年度	学習意欲を高める指導法の研究（継続）

9. 本校の特色

住宅公団の進出に伴い、新しい建築様式採用により建設された。当時は少ない児童数と広く静かな校地の中で理想的教育活動をめざしていた。爾来児童数の急増により、8回に亘る増改築を行ない様相は一変した。しかし、校地内には手入れの行届いた樹木が多く、静かな環境の中で学習ができるよう環境の整備ができています。児童は身長が高く胸囲が狭いという都市型の体位のものが多く、肥満児は最近減少している。

学校では地域や児童の実態に即し、創意をもって日々の教育実践をし、成果をあげている。

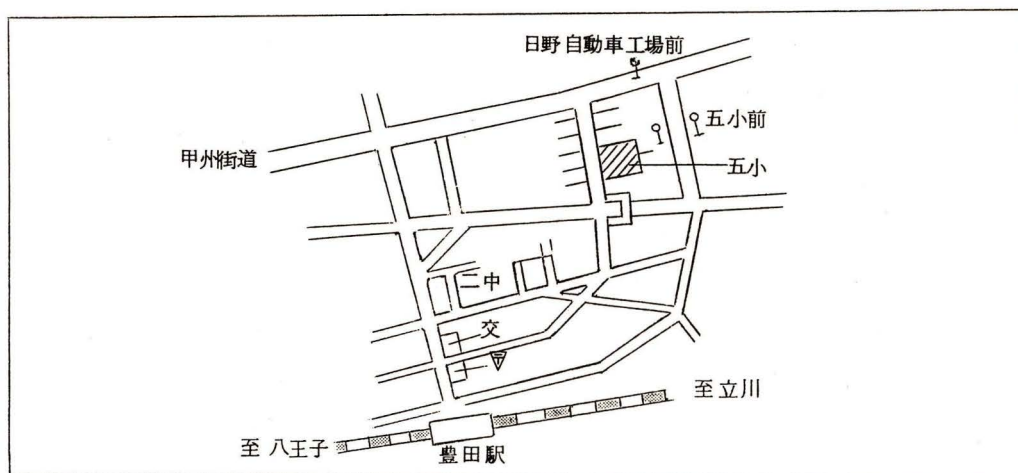
10. 都教育研究員、研究生歴

年 度	氏 名	教 科 領 域	研 究 員 研 究 生 別	年 度	氏 名	教 科 領 域	研 究 員 研 究 生 別
昭和50年度	大竹 三郎	書 写	研 究 員	昭和52年度	戸塚 春男	図 工	研 究 員
昭和51年度	山内 春美	算 数	〃	昭和52年度	内藤まつ代	道 徳	〃
昭和52年度	内藤まつ代	道 徳	〃	昭和52年度	戸塚 春男	図 工	現代化委員

11. 保護者の職業一覧

職 種	家庭数	%	職 種	家庭数	%
会 社 員	531	68.1	交 通 運 輸 業	20	2.6
公 務 員	54	7.0	自 由 業	27	3.4
教 職 員	28	3.6	そ の 他	24	3.1
自 宅 商	76	9.7	無 職	7	1.0
自 宅 工	12	1.5	計	779	100

12. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立日野第六小学校
所在地 日野市多摩平3丁目21番地
電話 0425-81-4686・0366
順路 中央線豊田駅北口下車徒歩12分
京王バス 小西六裏門下車3分

校長氏名 光 永 久 夫

教頭氏名 白 井 岩 吉

1. 沿革の概要

昭39. 1. 1 日野第五小学校芝山分校として
設置 児童1年～3年
7学級263名

昭40. 4. 1 日野第六小学校として開校
14学級 児童数515名
教職員21名

昭40. 9. 6 プール完成(6コース25m)

昭42. 2.21 校歌の発表会

昭43. 2.22 児童の体力づくりの研究発表会

昭43. 6.19 南校舎(普通教室11、職員室、
校長室)完成

昭43.11. 6 第13回学研教育賞を受ける。

昭44. 3. 校地の土どめ工事完成

昭45. 2.28 屋内体育館完成

昭45. 3.16 落成式挙行(学校、PTA共催)

昭46. 4. 1 日野市科学センター校

昭47. 2.28 正門前舗装、北西門取付

昭47. 3. 「児童の社会性育成の実践指導」
発表(市研究協力校)

昭47. 3.25 プレハブ教室増設

昭47. 4. 「考えさせる授業への手だて」
発足

昭47. 5. 6 日野市科学センター校2年目

昭47. 6.10 校庭東隅に自然林造成

昭48. 3.10 小鳥小屋、自転車置場設置

昭48. 4. 1 日野市科学センター校3年目

昭49. 4. 南校舎3階増築(普通教室5、
音楽室・管理室4)

昭49. 4. 日野市科学センター北部センタ
ー校

昭49. 5. 南門完成

昭49. 8.31 北校舎黒板塗替 19教室

昭49.10.26 給食調理室増改築完成

昭50. 3.18 49年度都愛鳥モデル校に指定

昭50. 4. 4 プレハブ教室使用開始 3の4、
第2理科室

昭50. 6.28 開校十周年を祝う会

昭50. 9.22 南校舎花壇のフェンス完成

昭50.12.22 東京都選挙管理委員会より感謝
状を受ける。永年選挙ポスター
コンクールに協力したため。

昭52. 1.10 体育倉庫完成

昭52. 2. 1 小野寺東雄教頭、日野市立旭が
丘小校長として栄進される。

昭52. 3.22 野外学習センター完成

昭52. 4. 1 日野市立旭が丘小学校分離
プレハブ撤去

昭52. 6.15 校庭西側花壇フェンス完成

2. 歴代校長氏名

氏 名	年 月 ～ 年 月
加々美 良 英	昭 4 0. 4. 1 ～ 昭 4 3. 3. 3 1
峰 岸 敬次郎	昭 4 3. 4. 1 ～ 昭 4 6. 3. 3 1
新 海 圭 三	昭 4 6. 4. 1 ～ 昭 5 0. 3. 3 1
安 積 利 治	昭 5 0. 4. 1 ～ 昭 5 3. 3. 3 1
光 永 久 夫	昭 5 3. 4. 1 ～ 現 在

3. 地域の環境

多摩平の台地に位置し、公団住宅と分譲住宅よりなり、近くに小西六、富士電機、帝人、千代田自動車等の工場がある。飛行機の騒音はあるが教育的環境は比較的よい。

4. 学校の教育目標

(1) 学校の教育目標

本校の教育は法規に基づき、地域社会の特性をふまえ、児童の個性と能力に即して次のことを目指して行なう。

- たくましい身体と心をきたえる
- 考えながら学ぶ
- みんなと仲よくする
- がんばりぬく心を養う
- しっかり働く
- 生きものを育てる

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

ア 学級・学年での「こどもが創る学校」のとりくみをさらにすすめ、日常的な学校生活へとそのとりくみを広げて、主体的・実践的な集団づくりをめざす。

イ 「こどもを知る」とりくみをさらに強めて、ひとりひとりに適した指導に心がけ、「やる気のある子」に育てていく。

ウ 「ふれあう授業方式」をさらにすすめ、教育活動全体に広げるなかで集団指導体制をつくりあげていく。

エ 楽しい学校生活・ゆとりある指導をめざして自主・協力・創造を基盤に効果的な学校運営をすすめる。

5. 指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア 各教科

- 「考えさせる授業への手だて」の研究は、これまでの研究成果を日常実践で検証し、“手おし車特集号”として手だて別にまとめ整理する。また、そのさい、こどもの認識過程の追求に力を入れる。
- 自主学習の機会・方法をさらに深め、学年にそくした学習ができるよう指導する。
- つまづきをなくすために学年・教科部会の研究活動を充実させ、さらに学年でのおくれた子に対するとりくみを積極的にすすめる。

イ 道 徳

- 児童の感動を尊重し、心豊かな人間の育成をめざす。
- 進んで働き責任もって最後までやりぬく態度の育成をめざす。

ウ 特別活動

- 「こどもが創る学校」の具体化活動の中核として代表委員会、各委員会活動を軸とし、主体的・実践的な集団づくりをすすめる。
- 自主的・創造的な活動を通して所属感・連帯感を育成する。

(2) 生活指導・進路指導の重点

- 学校生活のきまりをたいせつにし、自ら実践できる子を育てる。
- たくましい身体の発達をはかり、安全生活のできる子を育てる。

そのため、指導の推進機関として機能がはたせる新組織をつくり、実践的な計画、運営による多面的集中指導を行う。

(3) その他の配慮事項

- 新教育課程の学習をすすめ、ゆとりある学校生活づくりにむけて試行する。
- 委員会・学年・係は計画的、有機的なとりくみで運営の合理化をはかる。
- 教師、児童、父母相互の信頼感を高めることにつとめ、地域社会とのむすびつきを一層深める。

6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	4	4	3	4	4	3	22
男	87	94	74	73	87	65	480
女	69	76	59	73	57	69	403
計	156	170	133	146	144	134	883

7. 教職員一覧

(年令は53年度末現在)

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	光 永 久 夫	53	校 長	昭53. 4. 1	国 語	経 営
2	白 井 岩 吉	52	教 頭	昭52. 2. 1	体 育	経 営
3	高 橋 孝 子	35	1の1	昭48. 4. 1	図 工	研究委員
4	広 林 節 子	32	1の2	昭48. 4. 1	算 数	つどい委員
5	来 間 志 信	37	1の3	昭43. 4. 1	国 語	国語主任、くらし委員
6	斉 藤 八重子	49	1の4	昭43. 4. 1	体 育	学年主任、からだ委員長
7	阪 本 緑	39	2の1	昭45. 4. 1	図 工	学年主任、研究委員
8	佐 藤 和 子	29	2の2	昭47. 4. 1	算 数	からだ委員
9	河 原 百合子	24	2の3	昭50. 9. 1	音 楽	くらし委員
10	立 川 弥 生	26	2の4	昭51. 4. 1	音 楽	図書主任、つどい委員
11	清 水 しずか	47	3の1	昭40. 4. 1	家 庭	学年主任、学校行事主任 家庭科主任、つどい委員長
12	山 崎 充 子	37	3の2	昭50. 4. 1	家 庭	安全教育主任、くらし委員
13	上 条 浩 子	33	3の3	昭44. 4. 1	図 工	からだ委員
14	林 克 己	28	4の1	昭49. 4. 1	算 数	視聴覚主任、つどい委員
15	白 井 克 己	29	4の2	昭52. 9. 1	国 語	からだ委員
16	岡 茂 美	28	4の3	昭49. 4. 1	算 数	くらし委員
17	小 野 博 子	51	4の4	昭44. 4. 1	理 科	学年主任、研究委員
18	山 添 邦 男	35	5の1	昭47. 4. 1	体 育	研究主任、体育主任、研究委員長
19	西 条 淑 子	58	5の2	昭42. 4. 1	算 数	学年主任、つどい委員
20	落 合 貴美江	32	5の3	昭49. 4. 1	算 数	くらし委員
21	老 沼 義 晴	29	5の4	昭47. 4. 1	算 数	算数主任、からだ委員
22	長 田 正 夫	38	6の1	昭45. 4. 1	社 会	保健主任、からだ委員、社会科主任
23	弥 延 潤 太	28	6の2	昭51. 4. 1	算 数	特活主任、つどい委員
24	五十嵐 一 郎	51	6の3	昭53. 4. 1	道 徳	学年主任、生活指導主任、くらし 委員長、道徳主任、教育相談
25	曾 我 哲 夫	47	音 楽 理科	昭43. 4. 1	算 数	教務主任、研究委員
26	岸 本 和 子	55	図 工	昭46. 4. 1	図 工	図工主任、くらし委員
27	鹿島田 恭 江	41	理 科	昭50. 4. 1	理 科	理科主任、からだ委員、給食主 任、教科書、使用教材
28	嶋 真 理子	27	音 楽	昭50. 4. 1	音 楽	音楽主任、つどい委員
29	上 山 美智子	42	保 健	昭40. 4. 1	保 健	養護主任、からだ委員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
30	伊 東 淳 司	31	事 務	昭49. 4. 1	事 務	事務主任、管財主任
31	入 沢 悦 子	22	栄養士	昭52. 4. 1	給 食	からだ委員

研 究 …… 研究しあう会 からだ …… 強い身体作り会

くらし …… 正しいくらしの会 つどい …… 楽しい集いの会

8. 本校における研究主題の推移

昭和40年度	児童と父母を対象とした実態調査
昭和41年度	児童の「たくましい身体をきたえる」ための実践について
昭和42年度	児童の「たくましい身体をきたえる」ための指導の具体化と実践について 市指定
昭和43年度	各教科道德の教材配列及び教科内容の充実
昭和44年度	自ら考える意欲を高める思考力を伸す学習指導について
昭和45年度	児童の社会性育成の実践指導 学級指導と関連して
昭和46年度	児童の社会性の育成 学校教育目標の達成をめざして（市研究協力校）
昭和47年度	考えさせる授業への手だて
昭和48年度	” （継続研究）
昭和49年度	” （継続研究）
昭和50年度	” （継続研究）
昭和51年度	” （継続研究）
昭和52年度	” （継続研究）
昭和53年度	” （継続研究）

9. 本校の特色

- (1) 多摩平団地の造成に伴って新設された団地校である。
- (2) 児童は細長型、都会型の体位を示し、ねばり強さに欠け、父母への依頼心が強い。
- (3) 父母の教育的関心は高く、父母会の出席状況はよい。
- (4) 児童、教職員一体となって、花だん、自然林、情操池を作成し、学校緑化と環境整備に効果をあげている。都の愛鳥モデル校となり野鳥の愛護にも努めている。
- (5) 「考えさせる授業への手だて」を主題に、校内研修活動に力を入れている。授業研究を7年間継続

している。

(6) 「ふれあう授業」として、全校で協力授業をしている。

(7) 児童が主体的、自主的に学習するよう学年の発達に応じて計画的に指導している。

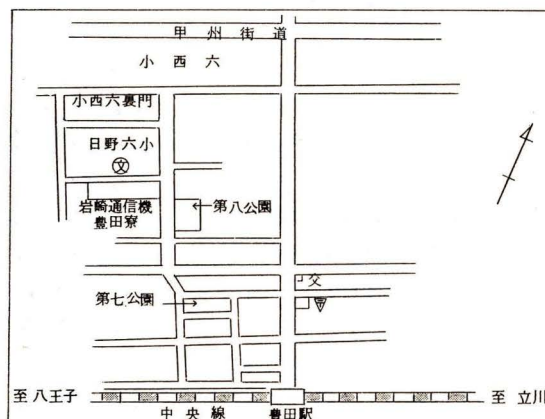
10. 都教育研究員、研究生歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和42年度	白 井 岩 吉	体 育	教 育 研 究 員
昭和43年度	上 山 美智子	養 護	〃
昭和50年度	長 田 正 夫	社 会	〃
昭和50年度	白 井 岩 吉	体 育	教育現代化委員
昭和52年度	長 田 正 夫	社 会	〃

11. 保護者の一覧

職 業	家庭実数	%	職 業	家庭実数	%
工 業	17	2.6	団 体 職 員	36	5.4
商 業	46	6.9	会 社 員	447	66.9
運 輸 交 通 業	13	1.9	医 師	1	0.1
国 家 公 務 員	17	2.6	そ の 他	41	6.1
地 方 公 務 員	50	7.5	計	668	100.0

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日 野 市 立 潤 徳 小 学 校
所 在 地 日 野 市 高 幡 4 0 2 番 地
電 話 0 4 2 5 - 9 1 - 0 4 0 9 - 0 4 1 0
順 路 京 王 線 高 幡 不 動 駅 下 車 北 へ 徒 歩 5 分

校長氏名 村 田 安 正

教頭氏名 鈴 木 敏 郎

1. 沿革の概要

- 明 6. 5 三沢医王寺本堂を仮校舎として開校、潤徳学舎と称す。
- 明11. 11 三沢701番地に移転し、潤徳学校と称し校舎を新築する。
- 明20. 4 校名を潤徳尋常高等小学校と変更。
- 明26. 4 校名を潤徳尋常小学校と変更
- 明34. 4 校名を潤徳尋常高等小学校と変更
- 明42. 5 昭栄尋常小学校を廃止し、落川分校とする。
- 昭16. 4 校名を潤徳国民学校と変更
- 昭22. 4 校名を七生村立潤徳小学校と変更
- 昭27. 5 創立80周年記念として、白鳥省吾作詩、信時潔作曲の校歌を作成す。
- 昭30. 10 学校保健委員会が都教委及び都学校保健会より表彰さる。
- 昭33. 2 校名を日野町立潤徳小学校と変更
- 昭34. 4 給食調理室完成
- 昭37. 10 大・小プールならびに更衣室完成
- 昭38. 11 校名を日野市立潤徳小学校と変更（90周年記念式典挙行、記念事業として水棲動物園、河川模型完成）
- 昭40. 12 安全教育優良校として都教委及び都学校保健会より表彰さる。
- 昭41. 3 現在地に鉄筋コンクリート三階建防音校舎完成、落川分校廃止
- 昭44. 2 屋内体育館落成

- 昭44. 9 日野市立第八小学校分離
- 昭44. 10 百草台分校併設
- 昭45. 4 百草台分校独立日野市立百草台小学校となる。
- 昭46. 2 日野市研究協力校として「学級指導の計画と実践」の主題のもとに研究発表協議会を開催
- 昭46. 4 普通教室9教室、学校図書館（2教室分）増築
- 昭47. 4 プレハブ教室増築
- 昭48. 4 プレハブ教室増築（4教室）
- 昭48. 5 開校百年記念式典挙行記念碑植樹完成
- 昭49. 4 日野市立南平小学校分離
- 昭52. 4 日野市立程久保小学校分離
- 昭52. 4 プレハブ6教室撤去

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
初 大塚四郎右衛門	創 立
2 覚 井 諦 暁	明19.12～明11.11
3 和 田 作太郎	明11.11～明15.11
4 土方 喜久太郎	明15.11～明17.2
5 宮 倉 保五郎	明17.2～明19.10
6 小 宮 太之助	明19.10～明20.10
7 須 崎 和 藏	明20.10～明31.2
8 小 宮 弥一郎	明31.2～明34.4
9 加 藤 菊次郎	明34.4～明36.1
10 佐 藤 良 輔	明36.1～明42.4
11 沖 倉 与 一	明42.4～明43.4
12 荒 木 田大夫	明43.5～明45.3
13 小 宮 弥一郎	明45.4～大12.3
14 平 杉 藏	大12.4～大13.3
15 矢 沢 久 司	大13.3～大14.9

	氏 名	年月～年月
16	小 泉 栄 一	大14.10～昭 3. 3
17	広 井 博	昭 3. 4～昭 7. 9
18	重 松 正 顕	昭 7. 9～昭14. 7
19	鈴 木 慶 蔵	昭14. 7～昭22. 2
20	赤 坂 元 春	昭22. 2～昭27. 9
21	塚 本 正	昭27.10～昭37. 3

	氏 名	年月～年月
22	尾 崎 半次郎	昭37. 4～昭41. 3
23	塚 本 正	昭41. 4～昭43. 3
24	溝呂木 桂 次	昭43. 4～昭47. 3
25	星 野 正 男	昭47. 4～昭51. 3
26	村 田 安 正	昭51. 4～現 在

3. 地域の環境

南に多摩丘陵が連なり、北には浅川が流れ、東西に田園が広がり、自然環境には恵まれていたが、最近急激に団地や住宅がふえ、ベッドタウンとしての様相を呈するにいたった。

東西に走る川崎街道の交通量も激増し、交通事故もふえている。休日には、高幡不動尊、多摩動物公園、多摩テック等に行楽客も多い。

4. 教育目標

- 敬 愛 ・わかるまで考える子
- 自 由 ・すすんで はたらく子
- 勤 労 ・思いやりのある子
- からだをきたえる子

学校の教育目標を達成するための基本方針

- ① 学校教育目標を達成するため、学校の諸活動において目標を具体化し、計画実践する。
- ② 教育目標を具現化するため学年、学級経営の充実をはかり教育活動の各分野において、組織運営をくふうする。
- ③ 学習の効果を高めるため組織的に校内研修を推進し、授業研究をとおして指導法のくふうをする。

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア 各 教 科

児童の思考力を高め、基礎学力の充実をはかる。

- ・新教育課程の移行にともない教材研究を十分にし児童に適した内容を精選する。
- ・指導法をくふうし、教材教具の整備活用につとめる。

イ 道 徳

児童の実態に適した道徳性を高め、情操を豊かにする。

- ・公共心を培い、協力し合う心情を高める。
- ・勤労を尊び進んで物事をやりぬく態度を育成する。

ウ 特別活動

児童の自主的・実践的態度を育てるために集団生活への積極的参加の意欲を高める。

- ・学校生活に関する諸問題に気づき、自ら正しく考え主体的に解決しようとする態度を養う。
- ・児童集会をとおして、個性伸長をはかるとともに連帯意識や所属感を高める。

(2) 生活指導・進路指導の重点

児童の実態を把握し、生活指導の充実と徹底をはかる。

- ・生活の基本的行動様式を身につけさせる。
- ・児童の意欲をほりおこし、進んで働ける子の育成をめざす。
- ・安全指導を計画的に行う。

(3) その他の配慮事項

- ① 40分授業を考慮し児童にゆとりある学校生活をさせるため有効に活用するためのくふうをする。
- ② 視聴覚教材教具や学校図書館を計画的に利用できるようにし、特に生活時程の中にテレビ活用の授業が十分実施できるように配慮する。
- ③ 児童への周知の徹底をはかり、家庭との協力を推進する。

6. 児 童 数 (4月1日現在)

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	4	4	4	3	3	3	21
男	80	68	71	79	63	62	423
女	72	69	74	50	57	62	384
計	152	137	145	129	120	124	807

7. 教 職 員 (4月1日現在)

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	村 田 安 正	55	校 長	昭51. 4. 1	学校経営	
2	鈴 木 敏 郎	51	教 頭	昭52. 4. 1	学校経営	
3	古 谷 孝 太	48	1-1	昭48. 4. 1	道 徳	環境整備主任 道徳主任
4	植 松 久美子	29	1-2	昭53. 4. 1	特 活	図書主任
5	上 村 悦 子	22	1-3	昭53. 4. 1	社 会	教務事務
6	青 木 良 子	56	1-4	昭48. 4. 1	図 工	1学年主任
7	福 島 ちよ子	27	2-1	昭48. 4. 1	算 数	教務事務
8	伊 藤 清 子	48	2-2	昭45. 4. 1	家 庭	2学年主任
9	大 森 ツル子	29	2-3	昭51. 4. 1	社 会	社会科主任
10	高 橋 茂 子	34	2-4	昭49. 4. 1	算 数	算数主任 給食事務

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1 1	古 谷 二三子	5 0	3 - 1	昭 5 1. 4. 1	道 徳	3 学年主任
1 2	高 井 くめ子	3 4	3 - 2	昭 4 8. 4. 1	国 語	国語主任 財務
1 3	渡 辺 トモ子	2 9	3 - 3	昭 5 1. 4. 1	国 語	教務転出事務
1 4	山 崎 淳	2 2	3 - 4	昭 5 3. 4. 1	体 育	生活指導
1 5	中 村 大	4 6	4 - 1	昭 5 2. 4. 1	社 会	研究主任
1 6	中 村 佳 代	3 0	4 - 2	昭 5 2. 4. 1	音 楽	
1 7	三 浦 みのり	4 9	4 - 3	昭 4 9. 4. 1	特 活	4 学年主任
1 8	神 野 勇 次	3 0	5 - 1	昭 5 3. 4. 1	体 育	教務事務
1 9	岡 上 和 子	4 9	5 - 2	昭 5 1. 4. 1	国 語	5 学年主任
2 0	小 竹 章	5 3	5 - 3	昭 4 9. 4. 1	特 活	教務主任
2 1	佐 藤 栄久雄	3 8	6 - 1	昭 5 1. 4. 1	体 育	体育主任
2 2	加 藤 タ イ	3 9	6 - 2	昭 5 1. 4. 1	理 科	生活指導
2 3	小 川 雪 子	5 1	6 - 3	昭 4 7. 4. 1	図 工	6 学年主任
2 4	後 藤 楚 子	4 0	理 科	昭 4 5. 4. 1	理 科	理科主任
2 5	内 山 美知子	4 5	音 楽	昭 5 0. 4. 1	音 楽	音楽主任
2 6	小 口 清 一	4 0	図 工	昭 4 7. 4. 1	図 工	生活指導主任 図工主任
2 7	石 川 成 子	3 8	家 庭	昭 4 5. 9. 1 6	家 庭	給食主任 家庭科主任
2 8	松 井 玉 江	4 9	養 護	昭 4 9. 4. 1	保 健	保健主任
2 9	橘 田 晟	4 1	事 務	昭 4 6. 4. 1	事 務	庶務会計
3 0	佐 藤 典 子	2 6	栄養士	昭 4 7. 4. 1	給 食	給食献立

8. 本校研究主題の推移

昭和 4 0 年度	学校における望ましい習慣形成のあり方
昭和 4 1 年度	基礎学力の充実 授業研究をととしての教材研究
昭和 4 2 年度	徒手体操の系統的指導法の研究
昭和 4 3 年度	体育の効果的な指導法 器械運動について
昭和 4 4 年度	系統性を重視したボール運動 社会的態度の育成をめざした集団行動
昭和 4 5 年度	学校生活における基本的行動様式の実践 学級指導を通して
昭和 4 6 年度	学級指導の計画化に基づく指導実践
昭和 4 7 年度	学習効果をたかめるための教材教具の整備と活用
昭和 4 8 年度	各教科の指導内容を精選し、指導課程をくふうして思考力を伸ばす。

昭和49年度	学年を中心とした授業研究と併せて普通学級における心身障害児の問題解決
昭和50年度	思考力を高める授業研究
昭和51年度	思考力を伸ばすための授業研究
昭和52年度	思考力を伸ばすための指導法の研究 ― 授業分析を中心として ―

9. 本校の特色

本校は開校百年余りの輝かしい伝統と歴史にはぐくまれ今日にいたっているが、近年地域の宅地造成による急激な児童数の増加はプレハブ教室の新增築、そして学校分離の繰返しを余儀なくされ、落ち着くところのない悪条件のなかをよく全職員・父母一体となつて克服してきた。

しかし昨年度は程久保小学校分離とともに以来プレハブ校舎もようやく撤去され大規模校としてのさまざまな困難な条件も解消され理想的な規模のもとに新しく生れ変わろうとしている。

したがって教育目標を達成するため施設設備等教育諸条件の整備と教育内容の充実をめざし努力を傾注している。

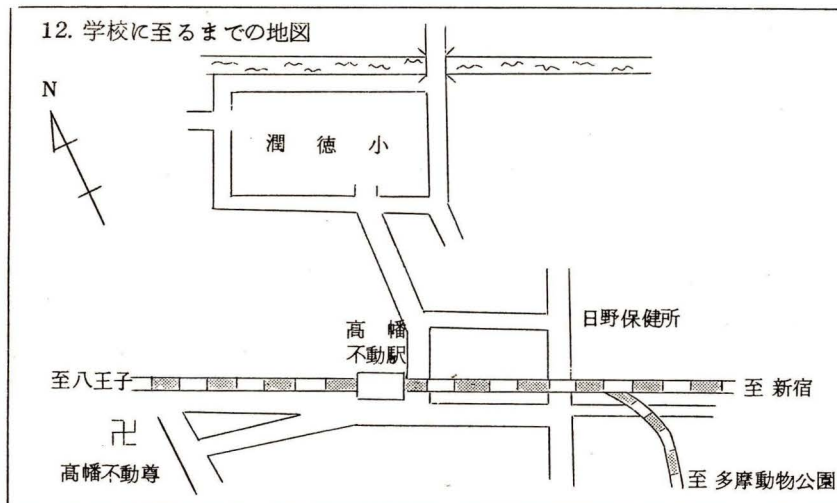
10. 都教育研究員、研究生歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和44年度	古 谷 孝 太	特 活	研 究 員
昭和47年度	小 竹 章	特活(学級会)	〃
昭和49年度	伊 藤 清 子	学 校 給 食	〃

11. 保護者の職業一覧

職 業	家庭実数	%	職 業	家庭実数	%
会 社 員	331	55.7	教 員	13	2.2
自 営 業	86	14.5	医 師	2	0.3
公 務 員	35	5.9	無 職	7	1.2
交 通 運 輸	28	4.7	そ の 他	68	11.5
工 員	24	4.0	計	594	100

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日 野 市 立 平 山 小 学 校
所 在 地 日 野 市 平 山 4 - 8 - 6
電 話 0425-91-4123・0512
順 路 京王線 平山城址公園下車 徒歩10分
▽191

校長氏名 深 沢 真 人

教頭氏名 石 川 保 徳

1. 沿革の概要

- 明 6. 5 宗印寺を仮校舎として開校（真心学舎といひ修業年限は8カ年）
- 明17. 平山598番地に新築移転
校名を平山尋常小学校と改める。
- 明35. 5 校名を平山尋常高等小学校と改める。
- 明41. 尋常科を6カ年、高等科を2カ年とする。
- 昭16. 4 国民学校令の施行により七生村立平山国民学校と改める。
- 昭22. 4 新学校教育制度の実施により七生村立平山小学校と改める。
- 昭32. 2 日野町、七生村合併により日野町立平山小学校と改める。
- 昭37. 2 東京都給食研究協力校として研究発表。
- 昭38. 11 市制施行により日野市立平山小学校と改める。
- 昭42. 5 鉄筋防音校舎および屋内体育館の落成により、平山4-8-6に移転する。
- 昭44. 日野市研究協力校として「児童の体力の向上」について研究発表
- 昭45. 3 防音鉄筋校舎9教室および機械室工事完成
- 昭46. 3 滝合小の新設に伴う学区変更、平山小学区は浅川の南側の地区

となる。

- 昭53. 4 平山台小の新設に伴う学区変更、平山苑と京王住宅地区を分離する。

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
梁 義 伯	明 6. 5～明12. 1
大 沢 教之助	明12. 1～明20. 3
石 井 芳 丸	明20. 4～明30. 5
吉 永 信 丸	明30. 6～明35. 5
小 宮 弥一郎	明35. 6～明45. 3
古 屋 障 司	明45. 4～大 2. 5
勝 又 房太郎	大 2. 5～大 4. 5
平 杉 蔵	大 4. 6～大 9. 3
上 田 富 大	大 9. 4～大15. 3
杉山 喜知太郎	大15. 4～昭 6. 3
石 川 雄 丸	昭 6. 4～昭11. 2
鳥 羽 照 司	昭11. 2～昭13. 3
石 谷 倉太郎	昭13. 4～昭21. 3
飯 塚 節 三	昭21. 3～昭22. 3
田宮五郎右衛門	昭22. 4～昭28. 3
森久保 惣 治	昭28. 4～昭34. 3
高 橋 本 義	昭34. 4～昭37. 3
加々美 良 英	昭37. 4～昭40. 3
後 藤 正 太	昭40. 4～昭42. 3
安 積 利 治	昭42. 4～昭47. 3
小 野 晁	昭47. 4～昭51. 3
深 沢 真 人	昭51. 4～現 在

3. 地域の環境

- (1) 浅川と多摩丘陵に挟まれた西は八王子市に接する平地、田んぼ、畑等の農地も残っており、自然に恵まれた環境である。
- (2) 近年、団地、都営住宅、造成地住宅等市街化されつつあり、他地域からの転入者が多く、児童数も急激に増加している。

4. 教育目標

- | | |
|--------------|--------------------|
| (1) 健康安全教育目標 | ① 健康で 明るい子ども |
| (2) 学力の充実 | ② よく考えて さいごまでやりぬく子 |
| (3) 自主性の育成 | ③ 進んでよいことをする子ども |
| | ④ 力を合わせて働く子ども |

5. 指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア 各 教 科

- 指導の効率を高めるために指導内容の精選はもちろん教材教具のくふう、機器の活用に重点をおき、学年会、校内研修活動を中心にすすめる。

イ 道 徳

- 日常生活ののぞましい行動様式を育成する。
- 教材教具の整備、機器の活用をさらにすすめ、実態に即した徳目を精選して指導する。

ウ 特別活動

- 行事、学級指導をととし、安全教育の指導をすすめていく。
- 児童会活動、委員会活動をととし、自主性や協力のしかたを学ばせる。

(2) 生活指導・進路指導の重点

- 日々の学校生活をととし、教師対児童、児童対児童がひとりひとりを理解し、尊重し合っていくようにつとめる。
- 安全教育には特に留意し、児童ひとりひとりがよく考えて行動するように指導する。

(3) その他の配慮事項

- 児童にゆとりある学校生活を送らせ、教師対児童、児童対児童の心の交流をはかる。
- 放課後の時間をくふうし、教材研究、研修会、学年会にあて、いっそう指導の効率化をはかる。さらに年間3回以上の授業研究を実施し、研究を深める。

6. 児 童 数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	4	4	3	3	4	3	21
男	87	75	68	71	74	59	434
女	69	79	61	51	66	46	372
計	156	154	129	122	140	105	806

7. 教 職 員

(年 令 は 5 4 年 3 月 末 現 在)

番号	氏 名	年 令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	深 沢 真 人	5 4	校 長	昭 5 1. 4. 1	学校経営	
2	石 川 保 徳	4 8	教 頭	昭 5 3. 4. 1	学校経営	
3	藤 岡 和 子	4 4	1 の 1	昭 5 1. 4. 1	理 科	学年主任 教務
4	高 石 道 子	2 9	1 の 2	昭 5 2. 4. 1	算 数	給食指導 教務
5	鈴 木 実 幸	3 1	1 の 3	昭 5 0. 4. 1	理 科	図書館 教務
6	赤 松 紀 子	3 7	1 の 4	昭 4 4. 4. 1	音 楽	図書館
7	安 達 美 武	3 3	2 の 1	昭 4 4. 4. 1	社 会	保健主任 生活指導
8	田 美枝子	3 3	2 の 2	昭 5 0. 4. 1	国 語	生活指導
9	田 中 美知子	2 8	2 の 3	昭 5 2. 4. 1	算 数	給食指導
1 0	大 鳥 ルミ子	4 1	2 の 4	昭 4 8. 4. 1	理 科	学年主任 生活指導
1 1	小 林 和 子	3 5	3 の 1	昭 4 9. 4. 1	算 数	教育相談 生活指導
1 2	岩 井 豊 子	5 8	3 の 2	昭 4 1. 4. 1	国 語	研究主任 学年主任
1 3	綿 貫 清 江	2 7	3 の 3	昭 4 9. 4. 1	家 庭	給食指導
1 4	加 藤 千恵子	2 9	4 の 1	昭 4 9. 4. 1 6	音 楽	教 務
1 5	関 恒 夫	5 0	4 の 2	昭 4 5. 4. 1	図 工	教務主任 学年主任
1 6	渡 部 由紀子	2 7	4 の 3	昭 5 1. 4. 1 6	算 数	生活指導
1 7	大 上 琢 磨	4 7	5 の 1	昭 5 0. 4. 1	体 育	生活指導主任 学年主任
1 8	畑 野 元 一	3 8	5 の 2	昭 5 3. 4. 1	社 会	生活指導
1 9	甘 利 信 子	3 1	5 の 3	昭 4 9. 4. 1	社 会	教 務
2 0	渡 邊 晶 子	2 3	5 の 4	昭 5 3. 4. 1	音 楽	生活指導 教務
2 1	諏 訪 英 樹	3 5	6 の 1	昭 5 3. 4. 1	体 育	学年主任 視聴覚
2 2	塩 津 孝 子	3 1	6 の 2	昭 5 1. 4. 1	図 工	生活指導 給食指導
2 3	月 成 カズ子	2 9	6 の 3	昭 4 7. 4. 1	家 庭	図書館 教務
2 4	立 花 せつ子	3 2	音 楽	昭 5 0. 4. 1	音 楽	視聴覚 教務
2 5	澤 田 末 吉	3 2	図 工	昭 5 2. 4. 1	図 工	教 務
2 6	川 上 昇 一	3 4	理 科	昭 4 5. 4. 1	理 科	生活指導
2 7	坂 本 守	2 9	理 科	昭 5 1. 4. 1	理 科	視聴覚
2 8	小 林 さと子	3 1	養 護	昭 4 9. 4. 1	体 育	保健
2 9	知 花 豊	2 7	事 務	昭 5 2. 4. 1	事 務	

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	理科（すじ道をたてて考える学習）
昭和41年度	同 上
昭和42年度	道徳（道徳指導計画の改訂）
昭和43年度	道徳・体育（道徳・体育を中心に資料の充実と視聴覚教材の活用）
昭和44年度	体育（体育活動を中心に体力の向上をはかる）市研究協力校
昭和45年度	体育（体力の向上をはかる体育学習）
昭和46年度	生活指導（自主性を育てる）
昭和47年度	同 上
昭和48年度	同 上
昭和49年度	交通安全教育・安全対策の推進（地域の実態に即した）
昭和50年度	国語の指導
昭和51年度	国語の指導
昭和52年度	算数の指導
昭和53年度	算数の指導

9. 本校の特色

- 教育目標第一の柱「健康安全教育の充実」に重点をおき、地域の実態に即し交通安全教育の推進をはかっている。環境は約131㎡の大花壇・教材園、約100㎡の芝生園があり、児童の心情を暖める場を形成している。また、職員の手になるタイヤ山・電柱利用の固定平均台等の遊具施設がある。

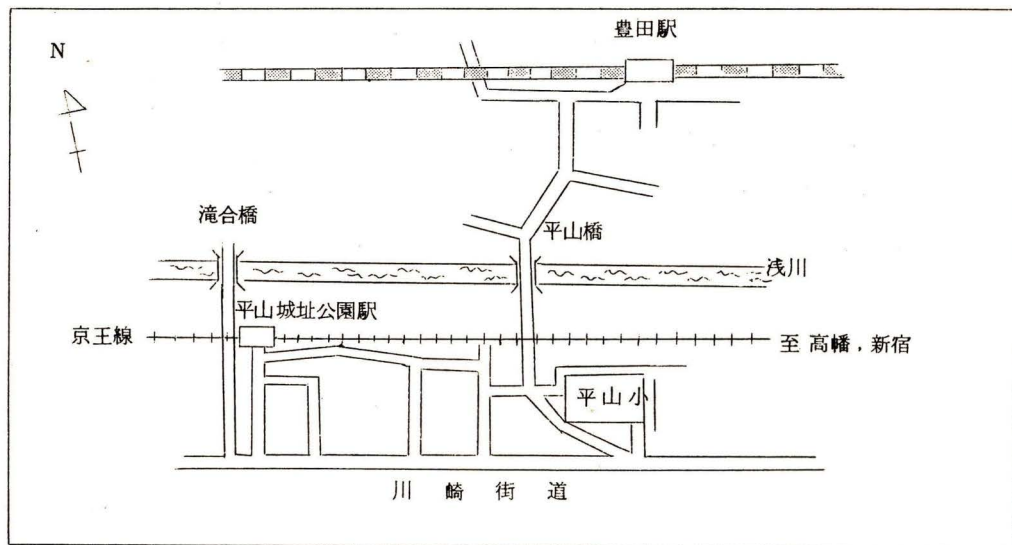
10. 都教育研究員、研究生歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員、研究生別
昭和50年度	大 上 琢 磨	体 育	都教育現代化委員
昭和45年度	石 川 保 徳	教育方法	研 究 員

11. 保護者の職業一覧

職 業	家庭実数	%	職 業	家庭実数	%
企 業 経 営 者	7	1	労 務 従 事 者	72	12
専 門 技 術 的 職 業	64	11	サ ー ビ ス 従 事 者	60	10
管 理 的 職 業	13	2	農 林 漁 業	8	1
小 企 業 者	104	18	そ の 他	43	7
事 務 的 職 業	217	37	無 職	7	1

12. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立日野第七小学校
所在地 日野市神明上区 画整理地域内106街区
電話 0425-83-3907・3908
順路 国電 中央線日野駅下車 徒歩約10分
▽191

校長氏名 上部 正彦

教頭氏名 清水 七郎

1. 沿革の概要

- 昭48. 4 ・日野市立日野第七小学校として開校。日野第一小学校および日野第七小学校の学区域を定め、児童数384名、12学級の規模で開校。
- ・トラックをのぞく運動場全面にティフトワーフ（洋芝）の植付け完了。
- 昭48. 6 ・校章制定『ひの七小』を、いちょうの葉で図案化したもの。
- 昭48. 9 ・校旗制定。
- 昭48. 12 ・校歌制定。作詩、作曲、国立音楽大学教授 岡本敏明先生
- 昭49. 3 ・日野市立日野第七小学校『校舍および体育館の落成記念式』と『校歌発表』
- ・3月1日を開校記念日に制定。
- ・第1回、卒業証書授与式。卒業生 2学級 45名（男24、女21）
- 昭49. 4 ・開校2年目、入学児77名、児童数398名、12学級の規模で始業。
- 昭50. 3 ・第2回卒業証書授与式。卒業生 2学級 65名。男子31名、女子 34名。
- 昭50. 4 ・開校3年目、入学児童76名、児童総数426名、12学級

の規模で始業。

- 昭51. 3 ・第3回、卒業証書授与式。卒業生 2学級58名。男子29名 女子29名。
- 昭51. 4 ・開校4年目、入学児童67名、児童総数455名、12学級の規模で始業。
- 昭52. 3 ・第4回、卒業証書授与式。卒業生 2学級74名。男子38名 女子36名。
- 昭52. 4 ・第5回、入学式。入学児童79名、児童総数476名、13学級の規模で始業。教室不足のためB棟南側にプレハブ2教室増設。
- 昭52. 10 ・校舎の増築工事で竣工 53.5.31
- 昭53. 3 ・第5回、卒業証書授与式。卒業生 3学級92名。男子46名 女子46名。

2. 歴代校長

	氏 名	年月～年月
初代	星 野 武 之	48.4.1～52.3.31
2代	上 部 正 彦	52.4.1～現在

3. 地域の環境

本校は中央線日野駅から線路ぞいに徒歩10

分。二つの坂を登りつめた高台に位置している。坂を登りながら眺められる校舎は、周囲にさえぎられることなく自然と調和して、環境のよさに心をひかれる。

本校所在地の日野市神明上区画整地地域内の呼称が示すように、校舎の周囲に住宅がたちはじめたが、南側には、樹木、雑草、畑作物の緑が広がっている。

屋上に登ると、学区全体をくまなく見渡すことができる。本校児童の90%は、中央線の鉄路でへだてられた西側の台地に居住している。この地域は、こゝ10余年の間に旧甲州街道ぞいに発達した新興住宅地帯である。都営住宅、さらに分譲住宅という順に急速にふくらんできた町である。あちこちに林があり、樹木が散在するこの地域は、児童の成長にとってすこぶる好ましい状況にある。

現在、本校の南側0.5kmのところに日野消防署と日野市の庁舎がある。

4. 教育目標

生命の尊重を基調とし、仲よく健康で豊かな個性と能力をもった子どもを育成する。

- みんなと仲よく がんばります。
- 心とからだを きたえます。
- 深く考えて 学びます。
- いきものを だいにそだてます。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各 教 科

- 児童の活動をととして 思考力を高める。

(学習過程の改善をくふう)

(2) 道 徳

- 指導法にくふうを加えながら、児童の道徳的実践態度の指導を徹底する。
- 特に、本校児童の実態から、自主、自律の心、動植物愛護の心、向上心、努力心の向上に重点をおく。

(3) 特別活動

- 児童の自主的、自発的活動の場を設定し、自主、自発の心を育てる。
- 集団活動に、積極的に参加する態度を育てる。

(4) 生活指導

- 安全指導の徹底をはかる。
- 望ましい生活習慣の育成に努める。
- 望ましい友だち関係の育成に努める。
- 生活指導の年間計画を検討する。

6. 児 童 数 (昭和53年4月10現在)

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	3	2	2	2	3	2	14
男	53	45	37	38	47	44	264
女	43	39	36	49	45	37	251
計	96	84	73	87	92	83	515

7. 教職員一覧

番号	氏 名	年 令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	上 部 正 彦	54	校 長	昭52. 4. 1	経 営	
2	清 水 七 郎	47	教 頭	昭51. 4. 1	経 営	
3	斉 藤 イ ク	68	1-1	昭48. 4. 1	音 楽	給 食
4	信 夫 頼 子	33	1-2	昭51. 4. 1	算 数	給 食
5	成 井 朝 雄	50	1-3	昭48. 4. 1	体 育	特 活
6	舞 田 章 子	49	2-1	昭48. 4. 1	体 育	保 健
7	園 部 久 子	31	2-2	昭48. 4. 1	社 会	給 食
8	小坂橋 五佐男	50	3-1	昭48. 4. 1	算 数	教 務
9	竹 下 サ エ	27	3-2	昭52. 4. 1	算 数	図 書
10	堀 内 美恵子	33	4-1	昭48. 4. 1	国 語	図 書
11	嶋 貫 博	32	4-2	昭48. 4. 1	社 会	環 境
12	小 室 恒	33	5-1	昭48. 4. 1	国 語	視聴覚
13	小 野 正 俊	27	5-2	昭53. 4. 1	社 会	視聴覚
14	小 林 弘 子	44	5-3	昭53. 4. 1	体 育	生 活
15	秋 山 憲 一	36	6-1	昭52. 4. 1	理 科	生 活
16	上 田 美知子	28	6-2	昭48. 4. 1	家 庭	特 活
17	池 田 宏 子	33	音 楽	昭48. 4. 1	音 楽	教 務
18	河 合 香 子	31	図 工	昭51. 4. 1	図 工	教 務
19	市 川 糸 子	49	家 庭	昭52. 4. 1	家 庭	教 務
20	福 島 雪 江	48	養 護	昭52. 4. 1	保 健	保 健
21	藤 井 悦 子	31	事 務	昭53. 4. 1	学校事務	事 務

8. 研究主題の推移

昭和48年度	学習環境の整備 ～学級経営の創意くふう～
昭和49年度	学習環境の整備 ～効率を高めるためのむだのない授業～
昭和50年度	学習環境の整備 ～効率を高めるためのむりむだのない授業～
昭和51年度	学習環境の整備 ～効率を高めるためのむりむだのない授業～
昭和52年度	学習環境の整備 ～効率を高めるためのむりむだのない授業～ 国語、算数
昭和53年度	児童の活動をととして、思考力を高める。“学習過程の改善とくふう”

9. 本校の特色

(1) 小規模校の特性を生かした学校づくりを進めている。

- 調和のある教育過程編成と実施のため全職員の協力体制のもとに組織的に取り組んでいる。

(2) 自然環境に恵まれている

- 学校周辺には、畑地が点在し、灌木も見られ緑が多い。校庭には野鳥が見られる。南には多摩丘陵、西には奥多摩の山並、また、富士山なども眺められる自然環境である。

(3) 校庭緑化の一環として、校庭に芝が植えられている。(ティフトワーク洋芝)

- 。芝でさか立ちする子、寝ころんで天を仰ぐ子、読書する子、ときには緑のマットとなり、緑のじゅうたんとなって、子どもたちの心をはぐくんでくれる。体育面ではもちろんのこと、情操面でのすぐれた環境となっている。

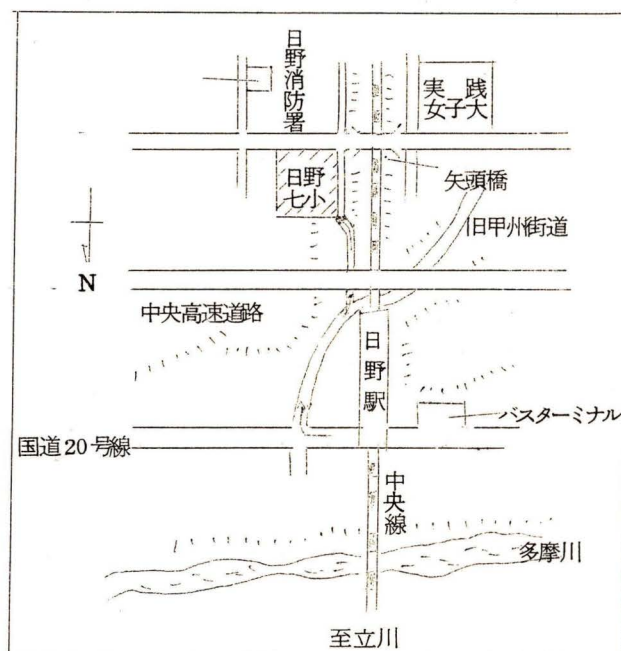
10. 都教育研究員・研究生・中央研歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員・研究生等
昭和38年度	齊 藤 イ ク	学校給食	研 究 員
昭和45年度	小板橋 五佐男	算 数	研 究 員
昭和47年度	清 水 七 郎	特 活	研 究 員
昭和50年度	清 水 七 郎	学校経営	現 代 化 委 員
昭和50年度	清 水 七 郎	国語・特活	文 部 省 中 央 研
昭和51年度	秋 山 憲 一	理 科	研 究 員
昭和51年度	小板橋 五佐男	算 数	研 究 員

11. 保護者の職業一覧(昭和53年4月6日調査)

職 業	%	職 業	%
会 社 員	66.6	サ ー ビ ス 業	2.6
自 営 商 工	12.0	自 由 業	1.5
公 務 員	11.7	農 業	0
公 社 ・ 公 団 職 員	1.9	無 職	0
教 員	3.7	合 計	100%

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日野市立日野第八小学校
所 在 地 日野市三沢200
電 話 0425-91-2411・2412
順 路 京王線 高幡不動駅より東へ徒歩15分

校長氏名 古 谷 洋 太

教頭氏名 和 田 国 平

1. 沿革の概要

昭和44年度

- 44. 1. 2 潤徳小学校の児童激増に伴い第八小学校開設が決定し、工事に着手した。
- 44. 4. 1 第八小学校の開設を9月1日と予定し、潤徳小学校において八小関係の教員並に児童を分離して編成し授業を開始した。
- 44. 8.16 日野第八小学校が開設され金子武夫初代校長と長井新次郎教頭の二名が着任した。
- 44. 8.16 教員16名と事務職員1名が八小教諭ならびに事務主事に補せられた。
- 44. 9. 1 日野第八小学校が開校となり、八小関係児童に入学通知が出され、415名の児童が潤徳小より転入した。しかし校舎未完成のため移転できず、そのまま潤徳小で授業を行う。
- 44.11. 1 開校式挙行11月1日開校記念日と決定。
- 44.11.25 第八小学校落成式祝賀式挙行。
- 45. 1.15 公募により八小の校章決定
- 45. 3.25 第一回卒業式挙行
56名の卒業生を送る。

昭和45年度

- 45. 4. 1 学級増の14学級となりプレハブ2教室増築

- 45. 4. 6 第1回入学式を挙行し、94名の一年生を迎えた。
- 45. 6.15 今年度の校内研究の重点教科を体育と定め、毎月研究授業並びに研究会を行った。
- 45. 7.15 日野第八小学校の校旗ができた。
- 45. 7.16 25m6コースのプールが完成し、落成式並びにプール開きを行う。
- 45. 9. 7 校歌が完成し秋の大運動会で披露した。なお作詩は米津千之、作曲は渡辺浦人によるものである。
- 46. 3.25 第2回卒業式挙行 67名の卒業生を送る。

昭和46年度

- 46. 4. 6 第2回入学式を挙行し、109名の一年生が入学した。
学校全体では1学級増の15学級となり、教師は1名増員となった。教室不足のため校舎東側にプレハブの教室を増築した。
- 46. 4.10 本年度より水、木の2日間を40分授業とし、業間に体育並びに集会を行うことにした。
- 46. 6. 4 本年度中に校舎施設、体育研究等に関する他県より本校参観は7件にのぼった。
市の社会教育のための校庭開放が本年度より実施されることになった。

- 46. 9.15 体育館工事が着手され、47年1月31日に完成した。
- 46.12. 3 日野市教育委員会研究協力校として「授業の効率を高める体育指導」というテーマで練習カードの活用を中心に体育研究発表会を行う。市及び市外の参加者約100名で盛會裡に終了した。
- 47. 2.15 体育館落成式並びに祝賀会を挙行了した。
- 47. 3. 6 来年度の学級増に伴うプレハブ2教室が完成した。
- 47. 3.25 第3回卒業式を新体育館において挙行し、5学年以上が参加した。59名の卒業生を送る。

昭和47年度

- 47. 4. 6 第3回入学式を行い、159名の一年生が入学した。1学級増の4学級となる。全校児童数は681名で、昨年より3学級増の18学級となった。プレハブ5教室使用。
- 47. 5. 9 今年度の研究テーマに「教材教具の活用」と「体育の練習カードの利用」をとりあげ年間15回の研究会をもった。
- 47. 6.20 南側丘陵に600世帯の西武百草園団地ができたため、児童数が急増、年間約250名の転入者があった。
- 47. 9. 1 本校舎8教室の増築工事が開始され48年3月に完成した。
- 47.10.20 本校南側の程久保川(4m)の改修工事が始まり、48年5月に完成した。
(巾13.5m)
- 48. 3.24 第4回卒業式を挙行し、94名の卒業生を送る。

昭和48年度

- 48. 4. 6 第4回入学式を行い146名入学、学級数21
- 48. 6.20 日野市教育委員会の授業研究委託研究校となり、本年度の研究の中心を「授業の記録と分析」におき、研究校参観や校内研究等を実施する。
- 48.11.19 創立後はじめての学芸会を体育館で開催した。
- 49. 3. 1 人、車道をわけたモダンな校門が完成した。
- 49. 3.25 第5回卒業式を挙行し、105名の卒業生を送る。

昭和49年度

- 49. 4. 6 第5回入学式を挙行し191名が入学した。学級数25。昨年度より学級増となりプレハブ5教室を使用する。
- 49. 5.15 市教委の授業研究委託校となり、研究の中心を「授業記録をもとに分析する能力を高め、毎日の授業に生かす」におき研究を進める。
- 49. 6.29 VTR一式を購入し、視聴覚教育の充実を図る。
- 49. 8.15 仮設2教室が増設され、図書室及び会議室兼教材室として使用する。
- 49. 8.31 放送機を取り替える。
- 49. 9.10 さく井より都市水道に切替える。
- 50. 1.20 校地拡張及びさくの移動。西門通学路の整備完了。

50. 2.20 第3期増築工事（普通教室6、教材室2、配膳室3、非常階段）及び付帯工事として職員更衣室、自転車置場、危険物貯蔵庫、投てき板等が設置された。

昭和50年度

50. 4. 7 第六回入学式を挙行し、228名が入学した。学級数27。昨年度より、2学級増となり、プレハブ教室を図書館、第二音楽室、児童会室とする。
50. 4. 9 市教委の授業研究委託校となり、研究の中心を「子どもが主体的に学習する授業のくふう」におき、研究を進めた。
50. 5.14 都立教育研究所三鷹分室より竹の子文庫の図書を前・後期計2000余冊を借用し、図書館教育の充実を図る。
50. 6.24 桜建設より校樹の「たちばな」3本が寄贈され、玄関前に植える。
50. 7.15 プール市水切替工事完了。
- 50.10.25 体育館床、塗装工事をする。
- 50.12.20 砂場（10×8m）完成する。
50. 3.25 第七回卒業式を挙行し、133名の卒業生を送った。

昭和51年度

51. 4. 6 第七回入学式を挙行し、215名が入学。学級数29。
51. 4.30 都立研究所三鷹分室より竹の子文庫の図書、前後期2000余冊を借用し、図書館教育の充実を図る。
52. 2.16 流感のため臨時休校（16～19の4日間）
52. 3.20 プレハブ教室、給食調理室の増改築開始。
52. 3.25 第八回卒業式を挙行。卒業生164名。

昭和52年度

52. 4. 6 第八回入学式を挙行し、259名が入学。学級数31。
52. 4.16 プレハブ及び調理室工事完了。
53. 1.23 流感による学級閉鎖始まる（～2月10日まで）
53. 2.13 プレハブ改築工事着工（普通教室8、図書館1）
5年生4学級を特別教室に収容
53. 3.25 第九回卒業式を挙行。卒業生190名。

昭和53年度

53. 4. 6 第九回入学式を挙行し、244名が入学。学級数33。
53. 4.15 プレハブ改築工事完了。

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
金子 武 夫	昭和4 4.8～昭和4 8.3
岡 本 省 吾	昭和4 8.4～昭和5 3.3
古 谷 洋 太	昭和5 3.4～現 在

3. 地域の環境

- ・本校は京王線の高幡不動駅と百草駅のほぼ中間の北側にある。校舎は田園の真中にあり、大自然の中で子どもたちは自由にはばたいている。通学区の最も遠いところは学校まで40分以上もかかる。
- ・4カ所の京王線踏切、年々交通量の増す川崎街道をかかえ、交通禍の危険にさらされているため、特に交通指導に力を入れ、地域でも事故防止に全力をあげている。
- ・父母の70%がサラリーマンで学校に協力的である。

4. 教育目標

個性が豊かで調和と統一のとれた人間形成をめざして、つぎのような子どもを育成する。

- 健康でたくましい子 ◦美しく、ゆたかな心の子
- 深く考え、やりぬく子 ◦力を合わせ、はげみあう子

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア 各 教 科

1. 児童の発達段階・能力に応じた学習形態を工夫し、一人ひとりに目標をもたせ、意欲的に活動させ、基礎学力の充実を図る。
2. 考えさせるための効果的な発問を工夫する。
3. 教材研究を深め、教具の活用を工夫する。

イ 道 徳

1. 低学年は学校のきまりや礼儀作法を身につけさせる。
2. 中学年は協力や忍耐について内面的に深める。
3. 高学年は責任感を養い親切を実践させる。

ウ 特別活動

学校生活を豊かにするために児童の意欲的な活動をする力を育てる。特に学級指導は月別に指導内容を明確にし、学級における好ましい人間関係と健全な生活態度をつくる。

(2) 生活指導・進路指導の重点

1. 職員が協力して全児童の生活指導に関心をもち、生活目標の徹底を図る。
2. 安全指導を徹底し、無事故を目標として努力する。特に大規模校のかかえる諸問題解決に全力を尽す。

3. 非常災害に備え、児童の安全確保に努力する。

6. 児 童 数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	6	6	6	6	5	4	33
男	126	124	122	126	107	95	700
女	118	140	106	106	107	84	661
計	244	264	228	232	214	179	1,361

7. 教 職 員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	教 科	そ の 他
1	古 谷 洋 太	51	校 長	昭53. 4. 1	経 営	
2	和 田 国 平	50	教 頭	昭50. 4. 1	道 徳	
3	安 斎 満里子	45	1-1	昭50. 4. 1	社 会	学年主任
4	川 田 浩 子	42	1-2	昭51. 4. 1	理 科	
5	松 田 多摩江	39	1-3	昭52. 4. 1	道 徳	
6	渡 辺 和 子	35	1-4	昭48. 4. 1	家 庭	
7	伏 見 琴 江	30	1-5	昭52. 4. 1	音 楽	
8	石 井 典 子	27	1-6	昭53. 4. 1	算 数	
9	長 田 裕 子	41	2-1	昭44. 8.16	理 科	
10	林 啓 子	26	2-2	昭52. 4. 1	音 楽	
11	柴 田 美知子	27	2-3	昭52. 4. 1	社 会	
12	浜 辺 孝 子	23	2-4	昭50. 4. 1	算 数	
13	林 道 子	29	2-5	昭49. 4. 1	国 語	
14	石 川 耀 子	44	2-6	昭49. 4. 1	体 育	学年主任
15	西 田 陽	43	3-1	昭51. 4. 1	国 語	生活指導主任
16	窪 田 弥 生	31	3-2	昭52. 4. 1	理 科	
17	武 政 加代子	23	3-3	昭53. 4. 1	算 数	
18	西 尾 信 博	37	3-4	昭52. 4. 1	図 工	
19	波多野 担	44	3-5	昭53. 4. 1	社 会	
20	今 野 みち子	54	3-6	昭52. 4. 1	国 語	学年主任
21	中 島 寿 子	35	4-1	昭48. 4. 1	社 会	
22	和 田 常 雄	49	4-2	昭53. 4. 1	算 数	学年主任
23	中 川 元 美	35	4-3	昭47. 4. 1	国 語	

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	教 科	そ の 他
24	大 倉 利 一	27	4-4	昭52. 4. 1	社 会	
25	馬 場 令 子	27	4-5	昭51. 4. 1	国 語	
26	井 尻 真理子	22	4-6	昭53. 4. 1	図 工	
27	末 継 逸 夫	53	5-1	昭53. 4. 1	道 徳	学年主任
28	原 島 光	25	5-2	昭52. 9. 1	体 育	
29	比 企 通 男	32	5-3	昭50. 4. 1	体 育	
30	秋 山 照 子	35	5-4	昭46. 4. 1	図 工	
31	名 輪 登美子	26	5-5	昭52. 6.16	算 数	
32	水 谷 辰 夫	26	6-1	昭49. 4. 1	国 語	
33	安 室 清 治	29	6-2	昭46. 4. 1	体 育	
34	内 藤 康	43	6-3	昭44. 8.16	体 育	教務主任
35	柳 沼 敏 男	52	6-4	昭44. 8.16	理 科	学年主任
36	間 瀬 静 夫	30	理 科	昭48. 4. 1	理 科	
37	北 原 恒 雄	28	音 楽	昭49. 9. 1	音 楽	
38	桜 川 順 子	25	音 楽	昭52. 4. 1	音 楽	
39	高 山 晴 子	51	図 工	昭51. 4. 1	図 工	専科主任
40	長 浜 和 子	35	家 庭	昭44. 8.16	家 庭	
41	佐 藤 ヒサ子	35	養 護	昭50. 4. 1	保 健	
42	郷 原 敦	33	事務主事	昭44. 8.16	事 務	事務主任
43	高 橋 和 男	22	事務主事	昭53. 4. 1	事 務	
44	溝 口 美 枝	27	主 事	昭51. 1. 1	給 食	

8. 本校研究主題の推移

昭和44年度 体育科の効果的指導法の研究

昭和45年度 授業の効率を高める体育指導

日野市研究協力校をうけ、45年度の研究のまとめを行う。

昭和46年度 研究テーマ「授業の効率を高める体育指導」

“機械運動を中心にカードの作成と活用”

- 教材教具の効果的な活用

昭和47年度 授業の効率を高める体育指導

練習カードの作成と活用

昭和48年度 教材教具を効果的に活用する授業研究

昭和49年度 〇 こどもがよろこんで楽しく学習するように指導するにはどうしたらよいか
(授業分析)

昭和50年度 〇 こどもが主体的に学習できる授業のくふう

昭和 5 1 年度 ◦ こどもが主体的に学ぶ学習指導

昭和 5 2 年度 ◦ こどもが主体的に学ぶ学習指導

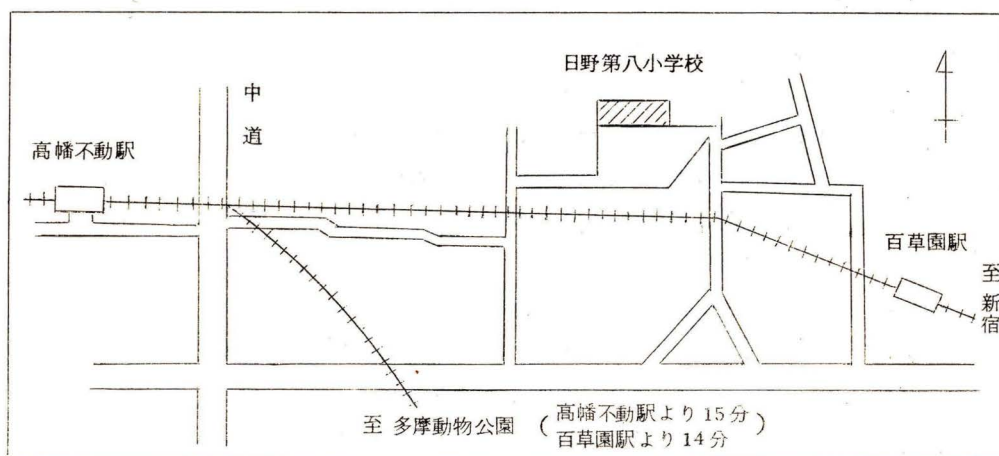
9. 本校の特色

- (1) 「きれいな学校」これが本校の努力目標である。「環境は人をつくる」といわれるが、特に環境づくりに力をいれている。校章をかたどった花壇、顔が写るくらい磨きあげられた床など自慢できる特色である。
- (2) みどりに包まれたすばらしい環境の中にありながら、体位体力は全国平均より劣っている。そこで創立以来、「たくましいからだづくり」をめざしてきた。業間に業間体育をすすめてきたが、現在はその幅を広げ、業間活動としている。これは、体力づくりだけでなく、遊びを通してこどもの創造性を併わせて伸ばすねらいである。
- (3) 宅地化が進み、児童数は増加の一途である。したがって、普通教室 6、図書館、第二音楽室をプレハブで過ごしている。5 5 年度には、学校分離の予定である。

10. 都教育研究員・研究生歴

年 度	氏 名	教 科 領 域	研究員、研究生別
昭和 4 5 年度	古 谷 洋 太	図 工	研 究 員
"	内 藤 康	「授業の効率を高める体育指導」	"
昭和 4 9 年度	内 藤 康	「体育」	研 究 派 遣 生
昭和 5 2 年度	石 川 耀 子	「幼児体育」	"
"	西 田 陽	「国語」	研 究 員

11. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日野市立百草台小学校
所 在 地 日野市百草 9 9 9
電 話 0425-91-0998
順 路 京王線高幡不動駅より百草団地行きバス
にて5分 百草センター下車

校長氏名 田 中 春 男

教頭氏名 松日楽 敬 治

1. 沿革の概要

昭44. 校舎新築 起工

44.12. 1 日野市立潤徳小学校百草台分校
として潤徳小学校内で授業開始

45. 4. 1 日野市立百草台小学校として新
校舎に移転開校する。

学級数8、児童数118、教職
員16、市職員3

45. 6. 1 開校式挙行、6月1日を開校記
念日とする。

45. 9. 1 高幡台団地の入居により児童数
増加296名となり、学級数
11、教職員17となる。

46. 3. 8 校旗、校歌発表会を開き3月8
日を制定記念日とする。

46. 3.25 第一回卒業式挙行
卒業生 34名

46. 4. 1 社会増による教室不足のためブ
レハブ6教室増設

46. 4. 6 児童数604、学級数16、教
職員23、市職員3となる。

46. 4.30 校地北側の埋立工事完了

46. 7.31 プール工事完了、大プール、小
プール、シャワー、更衣室、機
械室等竣工

46.12.15 体育館新築工事着工

47. 1.31 給食調理室および周辺の舗装工
事竣工

47. 2.12 調理室火入れ式挙行、調理開始

昭47. 3.25 第二回卒業式挙行

卒業生 44名

47. 3.31 高幡台小学校の新設にともなう
学区変更により高幡台団地およ
び周辺の児童は高幡台小学校へ
転校

47. 4. 1 高幡台小学校の新設により、児
童数416、学級数12、教職
員18となる。

47. 6.17 体育館落成式挙行

48. 1.31 図工室南側と北側に花だん竣工

48. 2. 1 投てき板が完成

48. 3.17 校庭南の土手につつじ園が完成

48. 3.24 第三回卒業式挙行
卒業生 43名

48. 4. 6 児童数463、学級数13

48. 9.26 校舎造築工事開始

49. 3.25 第四回卒業式挙行 卒業生
39名

49. 3.31 増築7教室竣工

49. 4. 6 児童数541、学級数16、
教職員数24名

50. 3.25 第五回卒業式挙行
卒業生 48名

50. 4. 7 児童数613名 学級数17
職員数25名

51. 3.25 第六回卒業式挙行
卒業生 56名

51. 4. 1 増築校舎完成(普通教室7、図

書室 1)

昭51. 4. 6 児童数700、学級数17

52. 3.25 第七回卒業式挙行 卒業生 77名

52. 4. 6 児童数738名、18学級(新入生177名)、教職員26名

53. 3.25 第八回卒業式挙行 卒業生 79名

53. 4. 6 児童数779名 20学級(新入生153名)、教職員28名

2. 歴代校長

	氏 名	年月～年月
初代	岡 村 省 吾	45.4.1～48.3.31
2代	村 田 安 正	48.4.1～51.3.31
3代	田 中 春 男	51.4.1～現 在

3. 地域の環境

日野市の南東部にあって、多摩丘陵に造成された百草団地がおもな学区域である。団地の内外とも起伏が多く、まわりにはまだ緑も多く、静かで変化に富んだ高台である。

眼下には浅川がゆつくりと流れ、その向うには日野市街に続いて立川まで一望に見渡すことができる。近くには多摩動物公園や百草園等があり、日曜日などは都塵をさけたリクリーションの人々でにぎわう。自然にいだかれたよい環境といえよう。

4. 教育目標

- 元気で じょうぶなこども
- 進んで 働くこども
- よく考え 正しいことをやりぬくこども
- 思いやりがあり 助け合っていくこども

5. 指導の重点

◦ 各 教 科

体験や行動を通じ、児童が主体的にとりくむ学習をめざして

- 創意ある発問や課題の提示をはかる
- 教材、教具や資料を活用する。
- 授業研究の充実をはかる。

◦ 道 徳

身近な生活の中から問題をほりおこし、ひとりひとりの心情にはたらきかけ、実践化につながる指導をすすめる

◦ 特別活動

- ・児童が自発的に参加する学校行事をめざして創意工夫をもった活動の展開をはかる
- ・代表委員会、学級会活動、各種委員会のつながりを深めることによって全校に浸透した活動をめざす
- 生活指導
 - ・集団生活のきまりを身につけさせ、秩序ある生活と協力の心を育てる
 - ・学校美化、清掃活動への積極的参加を通じて公共物愛護と勤労の精神を養う。

6. 児 童 数 (5 3 . 4 . 1 0 現在)

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	4	4	4	3	3	2	20
男	80	88	78	59	65	35	405
女	73	79	73	64	51	34	374
計	153	167	151	123	116	69	779

7. 教 職 員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	田 中 春 男	55	校 長	昭51. 4. 1	経 営	
2	松日楽 敬 治	52	教 頭	昭50. 4. 1	経 営	
3	土 方 淳 子	32	1の1	昭52. 4. 1	理 科	給食指導担当
4	大 羽 かほる	30	1の2	昭49. 4. 1	国 語	国語主任
5	秋 永 悦 郎	48	1の3	昭52. 4. 1	国 語	教務主任
6	松 井 伸 子	23	1の4	昭53. 4. 1	体 育	庶務担当
7	荻 沢 モト子	51	2の1	昭45. 4. 1	図 書	生活指導主任
8	後 藤 容 子	23	2の2	昭53. 4. 1	図 工	庶務担当
9	油 井 朝 子	26	2の3	昭50. 7.16	社 会	算数主任
10	椿 坂 俊 夫	37	2の4	昭53. 4. 1	社 会	環境部責任者
11	石 黒 芳 子	43	3の1	昭51. 4. 1	社 会	給食主任
12	草 刈 喜 一	44	3の2	昭52. 4. 1	体 育	体育主任
13	田 中 鈴 子 (興村 秀子)	30	3の3	昭48. 4. 1	国 語	庶務担当
14	若 月 美登里	27	3の4	昭49. 4. 1	理 科	各種委員会担当
15	幸 野 嘉 子	52	4の1	昭46. 4. 1	算 数	教務事務
16	鷹 尾 富貴江	37	4の2	昭51. 4. 1	算 数	図書館主任
17	寺 井 尚 一	31	4の3	昭53. 4. 1	社 会	広報担当
18	永 井 一 郎	42	5の1	昭49. 4. 1	理 科	研究主任
19	中 川 和 代	29	5の2	昭48. 4. 1	社 会	庶務担当
20	藤 井 泰 蔵	28	5の3	昭50. 4. 1	国 語	体育委責任者

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
21	山 浦 幸 子	41	6の1	昭50. 4. 1	算 数	P T A担当
22	江 口 耕 一	45	6の2	昭52. 4. 1	特 活	特活主任
23	千 台 健 治	27	理 科	昭49. 4. 1	理 科	理科主任
24	飯 島 睦 子	37	音 楽	昭49. 4. 1	音 楽	音楽主任
25	佐 藤 カズ子	32	図 工	昭45. 4. 1	図 工	図工主任
26	佐々木 加津子	46	養 護	昭45. 4. 1	保 健	保健主任
27	石 川 一 政	26	事 務	昭51. 4. 1		管 財
28	斉 藤 茂	47	専 従	昭45. 4. 1		

8. 本校研究主題の推移

昭和46年度	作文指導の系統
昭和47年度	作文の力をのばす指導
昭和48年度	考える力をつけるための授業
昭和49年度	授業を通して思考力を高める
昭和50年度	思考力を養うための教材の精選と授業のあり方
昭和51年度	思考力を養うための教材の精選と授業のあり方
昭和52年度	発問、課題のあたえ方や教材教具の創意ある活用を通じて思考力を高める授業のあり方
昭和53年度	思考力を高めるための授業のあり方（国語）

9. 本校の特色

在学児童のおよそ95パーセントが住宅公団百草団地から通学する児童であり、いわゆる団地学校である。そのため通学路は整備され、専用の遊歩道が通学路となり、安全性は極めて高い。しかし反面学区がせまく、変化をもとめ、土のにおいに無限の魅力を感じているのが本校児童の実態である。

開校以来8年を経過したが、児童数の増加がはげしく、すでに高幡台小を分離し、さらに毎年2学級増の見込みで、数年先には、22学級からの規模となる見通しである。激変する本校では教育上の内容環境ともに数年先を見こした教育計画（長期計画とよんでいる）の充実が急務となっている。

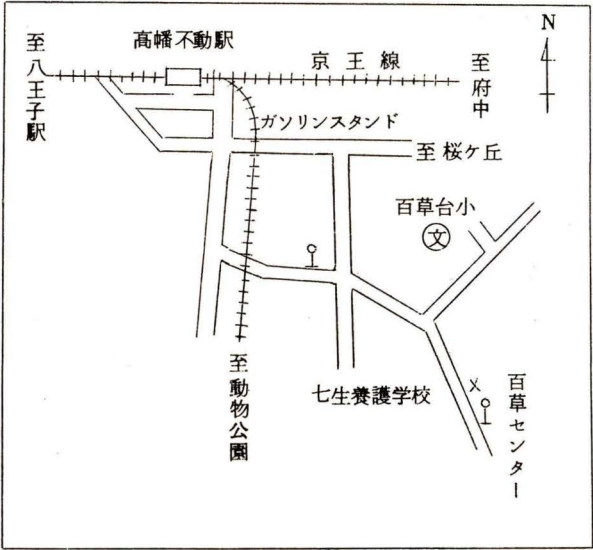
10. 都教育研究員・研究生歴

区 分	年 度	教科・領域	氏 名	場 所
派 遣 生	37年度	理 科	永 井 一 郎	学 大
研 究 員	49年度	保 健	佐々木 加津子	都 教 委
現 代 化 委 員	49年度	理 科	松日楽 敬 治	〃
研 究 員	52年度	図 工	佐 藤 カズ子	〃
研 究 員	53年度	特 活	江 口 耕 一	〃

11. 保護者の職業一覧

職 業	自 由 業				勤 め 人				無 職
	商 業	工 業	自由業	その他	会社員	公務員	各種法人	その他	
%	1.2	0.6	3.3	0.9	67.7	15.4	6.0	4.7	0.3

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日野市立滝合小学校
所 在 地 日野市西平山2の3の1
電 話 0425-83-5172・5173
順 路 京王線 平山城址公園駅下車徒歩10分

校長氏名 梅 田 茂

教頭氏名 深 尾 真

1. 沿革の概要

- 昭46. 4. 1 平山2720番地に開校
(学校長 峰岸敬次郎
児童728人 20学級)
46. 6. 1 開校記念日
- 46.12. 1 校章、校歌制定
47. 2.25 落成式挙行
50. 4. 校地緑化用植樹(桜・柳・梅等)
52. 3. 旭が丘小に201人分離

2. 歴代の校長

1. 峰岸敬次郎 昭46.4～昭50.3
2. 鈴木 英夫 昭50.4～昭53.3
3. 梅田 茂 昭53.4～現在

3. 地域の環境

農地の間に点在する屋敷森をはさんで、浅川より平山団地、中央線より鉄道宿舍がならび、それ等の間に近代風の住宅が建ちはじめて、新旧入りまじった景観の中にも、緑が多く、野鳥のさえずりの聞える自然環境には恵まれた地域である。

4. 教育目標

- (1) 健康でたくましい子ども
- (2) 勉強に努力する子ども
- (3) 進んで協力し実行する子ども
- (4) 生きものをたいせつにする子ども

5. 本年度指導の重点

(1) 各 教 科

- ア 各種の教育機器の活用をはじめ、教材教具を効果的に使用して指導法の研究をする。
- イ 「子どもの主体性をのばす」指導法の研究を重点的にとりあげ、児童ひとりひとりに理解と愛情のゆきとどいた質の高い授業をめざす。

(2) 道 徳

- ア 人命はもちろん、動植物の生命を尊重し、それに基づく健康の増進と安全教育に努力する。
- イ たがいに信頼し、協力し合い、実践活動を重視する。
- ウ やさしい心をもって、動物や植物を愛護する。

(3) 特別活動

- ア 生活指導、保健、給食指導と密接な連絡のもと、職員共通理解の上に立つて活動を進める。
- イ 教育目標を達成するために、個々の児童の自主性、創造性を尊重しながら連帯意識の昂揚をはかる。
- ウ 学級指導の充実をはかる。

(4) 生活指導の重点

- ア 「学級のきまり」を日々の教育活動に結びつけたり、家庭との密接な連絡をとったりして日常生活における基本的な行動様式の育成をはかる。

イ 交通、避難の訓練行事や、学校の全教育活動をととして、安全に対する意識や理解を深め、自他の生命を尊重する実践的な態度を養う。

6. 児 童 数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	5	5	5	4	4	4	27
男	99	101	89	85	80	82	536
女	93	93	93	77	69	73	498
計	192	194	182	162	149	155	1,034

7. 教職員一覧

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	梅 田 茂	52	校 長	昭53. 4. 1	学校経営	
2	深 尾 真	53	教 頭	昭50. 4. 1	学校経営	
3	木 村 貴 子	33	1-1	昭50. 4. 1	家 庭	給 食
4	井 上 善 夫	31	1-2	昭51. 4. 1	体 育	学校行事
5	秋 野 美津子	31	1-3	昭46. 4. 1	音 楽	給 食
6	田 辺 友 子	30	1-4	昭50. 4. 1	理 科	児童厚生
7	川 上 美穂子	41	1-5	昭46. 4. 1	国 語	視聴覚
8	白 勢 玲 子	24	2-1	昭52. 4. 1	図 工	図書館
9	岩 尾 照 夫	49	2-2	昭48. 4. 1	算 数	生活指導
10	槇 圭 子	31	2-3	昭48. 4. 1	音 楽	教育調査
11	内 藤 洋 子	34	2-4	昭48. 4. 1	図 工	転出入事務
12	柿 沢 鎮 子	48	2-5	昭46. 4. 1	社 会	視聴覚
13	志 村 道 子	34	3-1	昭49. 4. 1	理 科	図書館
14	知 花 久 子	27	3-2	昭53. 4. 1	音 楽	視聴覚
15	鈴 木 ナ ラ	57	3-3	昭47. 4. 1	家 庭	給 食
16	大 森 信	29	3-4	昭52. 4. 1	算 数	児童活動
17	山 口 智恵子	25	3-5	昭51. 4. 1	社 会	児童厚生
18	小笠原 本 江	37	4-1	昭46. 4. 1	図 工	生活指導
19	宮 田 敦 子	23	4-2	昭52. 4. 1	国 語	図書館
20	西 田 敦 子	39	4-3	昭46. 4. 1	国 語	職員研修
21	田 中 健	26	4-4	昭50. 4. 1	体 育	児童活動
22	橋 本 清	52	5-1	昭46. 4. 1	体 育	視聴覚
23	小川原 とも子	27	5-2	昭53. 4. 1	算 数	児童活動
24	野 崎 賛	32	5-3	昭49. 9. 1	算 数	保 健

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
25	北 脇 春 樹	31	5-4	昭53. 4. 1	理 科	保 健
26	小 林 桂 子	27	6-1	昭47. 4. 1	家 庭	教育調査
27	宮 川 征三郎	40	6-2	昭51. 4. 1	社 会	補 教
28	渡 辺 か ほ	42	6-3	昭46. 4. 1	国 語	図書館
29	伊 藤 恵 造	52	6-4	昭46. 4. 1	社 会	教務主任
30	鳥 飼 政 喜	54	専 科	昭46. 4. 1	図 工	職員研修
31	村 越 正	42	〃	昭46. 4. 1	理 科	教 務
32	萩 原 章 子	32	〃	昭50. 4. 1	家 庭	補 教
33	岡 田 あつ子	28	〃	昭47. 4. 1	音 楽	図書館
34	内 田 陽 子	23	養 護	昭53. 4. 1	保 健	日々出欠
35	横 田 昭 子	35	事 務	昭53. 4. 1	事 務	事 務

8. 研究主題の推移

昭和46年度

教材教具を授業にもっとも有効適切に生かすには、その整備及び活用をどうしたらよいか。

昭和47年度

特別教室、資料室等の利用を有効に、教材教具を有効的に使用するよう指導法の研究をする。

昭和48年度

授業研究を自主的におし進め、児童ひとりひとりに理解と愛情のゆきとどいた質の高い授業をめざす。

昭和49年度

授業研究を自主的におし進め、特に体育の授業を重点的にとりあげ、児童ひとりひとりに理解と愛情のゆきとどいた質の高い授業をめざす。

昭和50年度

児童の創造性、思考力の発展をめざし、各教科における系統的、効果的な指導法の研究を深め、授業研究をとおして児童ひとりひとりが主体的に学習を進められるような授業をめざす。

昭和51年度

児童の創造性、思考力の発展をめざし、前年度に引き続き国語・社会・算数を中心に、児童の実態を基に授業研究を深め、質の高い授業をめざす。

昭和52年度

前年度に引き続き国語、社会、算数を中心により質の高い授業をめざす。

昭和53年度

「児童の主体性をのばす指導法の研究」を生活指導、体力向上、教科指導（移行措置のねらいと指導法）の三つの分野から指導法について、実践指導も行ないながら研究を深めていく。

9. 本校の特色

校地面積21391㎡という中学校なみの広さの中に、二の字型にA棟、B棟と並んだ校舎は、市のモ

デル校的存在になっている。校庭に作られた、児童教職員の労作になる古材利用の遊具は本校を象徴するものであり、児童が体力向上には不可欠のものである。

児童は全般的に素朴、純情、素直等の美点を持ち活発に行動する元気のみなぎった者が多い。

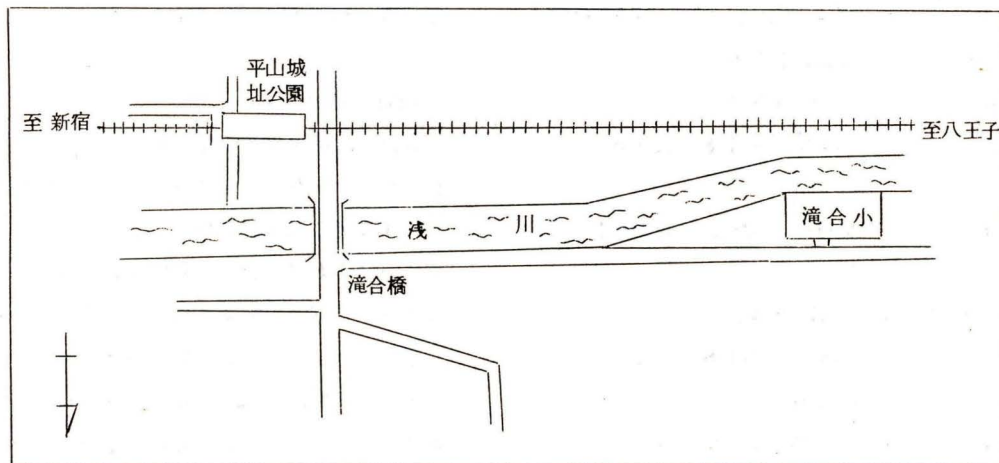
10. 都教育研究員・研究生歴

昭和48年度	岩尾照夫	算数	都研究生(学芸大)
--------	------	----	-----------

11. 保護者の職業一覧

職業	家庭数	%	職業	家庭数	%	職業	家庭数	%
商業(自営)	34	4.2	国家公務員	9	1.1	サービス業	8	1.0
工業(自営)	10	1.2	地方公務員	16	2.0	無職	5	0.6
会社員	449	56.4	教員	21	2.6	その他	15	1.8
農業	2	0.2	その他	35	4.4			
国鉄職員	139	17.4	土木建設	18	2.2			
運輸通信	31	3.8	自由業	4	0.5	計	796	99.4

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日野市立高幡台小学校
所 在 地 日野市程久保550
電 話 0425-91-7011・7012
順 路 京王線高幡不動駅より百草団地行きバス
にて5分 高幡台団地下車

校長氏名 手代木 和 夫

教頭氏名 古 田 耿 介

1. 沿革の概要

昭46. 8. 7 校舎新築工事起工

47. 3.10 校舎完成

47. 4. 1 日野市立高幡台小学校として開校

鉄筋三階建校舎 普通教室12、
特別教室4、特別室9、学級数
12、児童数402名、教職員
18名、市職員2名

47. 5.27 高幡台小学校PTA設立総会

47. 6.24 開校式

本日を開校記念日とする

47. 8. 1 プール完成、プール開き挙行

48. 2.24 校旗、校歌制定

48. 3.24 第一回卒業式

卒業生 男18、女15

計33

48.10. 6 体育館落成式、体育選手模範演技

49. 3.25 第二回卒業式

卒業生 男18、女28

計46

49. 4. 1 第一期増築工事完成

普通教室9、図書室1、職員室
改造工事

50. 3.25 第三回卒業式

卒業生 男29、女26

計55

51. 3.25 第四回卒業式

卒業生 男32、女31

計63

昭52. 3.25 第五回卒業式

卒業生 男51、女46

計97

昭53. 3.25 第六回卒業式

卒業生 男40、女38

計78

2. 歴代校長

氏 名 年月～年月

平 松 健太郎 昭47.4.1～50.3.31

手代木 和 夫 50.4.1～現在

3. 地域の環境

日野市の南東部の多摩丘陵に造成された高幡台団地がおもな学区である。高幡台団地は5階～11階の高層鉄筋住宅で、歩行者通路と車道が分けられていたり、郵便局、ショッピングセンターが住宅内にあるなど住み良く作られている。団地のまわりには緑の森林をめぐらし、西方には丹沢、関東山地の山々を越えて富士が望まれ、北西方には日野市街、日野台、八王子市街から遠く秩父の山々が連っている。学校から眺める景観はまことに美しくかつ壮大である。

近くには、多摩動物園、百草園、高幡不動があり、都民に親しまれている。住宅街の近くには田畑も残っていて、農耕にそしむ農家の人々もあり、静かなよい環境である。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

個生豊かで調和と統一のとれた人間形成をめざしてつぎのような子どもを育成する。

- ・あたたかい心で 助け合うことも
- ・よく考え、自分からやりぬくことも
- ・働くことも
- ・明るく健康なことも

① すけあう子

② んがえる子

③ たらく子

④ くましい子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

学校教育目標の具体化を図る。学年、学期始めに計画をたて、学期、学年末に反省を行ない、つぎに生かす。

教科指導の重点を国語におき、授業研究を通し、教育目標を徹底する。

教員研修を充実し、教材、指導法の研究をし、指導力を高める。

5. 指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア 各教科

朗読、文意の読みとりがしっかりできる子どもを育てる。

主体的な学習によって創造性を伸ばす。

イ 道徳

規則の尊重……廊下の歩行、集合時の態度など、きまりは学校生活を楽しくするためにあることを知り、実践化を図り身につけさせる。

自主、自立……学級、学校生活、学習の中から進んで仕事を見つけ、もっている能力を伸ばし、学習をより深め、学級、学校の生活をより楽しくする心構えを育てる。

ウ 特別活動

運動会、音楽会等の学校行事や学校生活の中に児童の考えを生かし、より楽しい学校生活を築く。

学校の学級指導の年間計画に再検討を加え、安全、保健、給食、図書の指導の充実を図る。また学級指導の時間設定に工夫をする。

学校行事の中に、子ども達を参加させ、児童活動の活発化をはかる。

(2) 生活指導、進路指導の重点

自他の区別をしっかり身につけ、節度ある生活を身につけさせる。

校舎内外の環境を、より清潔で、より楽しいものとするために、掲示物を工夫し、清掃を徹底する。そして情操豊かな子どもを育てる一環とする。

校内外の生活の中で、たがいに助け合う。

(3) その他の配慮事項

月行事予定の中で、学級担任、専科担任の研修、事務処理の時間確保に努める。

校務分掌の適正配置、配分を心がけ、仕事の内容を成文化する。

児童、父母、教員が、たがいに信頼し、協力を高める工夫をする。

6. 児 童 数 （4月10日現）

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	5	4	4	4	3	3	23
男	108	90	81	76	63	57	475
女	95	79	90	75	65	53	457
計	203	169	171	151	128	110	932

7. 教 職 員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	手代木 和 夫	59	校 長	昭50. 4. 1	経 営	
2	古 田 耿 介	52	教 頭	昭52. 2. 1	経 営	
3	山 田 洋 士	39	1-1	昭53. 4. 1	算 数	生活指導
4	勝 俣 友 子	41	1-2	昭51. 4. 1	算 数	教 務
5	福 田 信 子	49	1-3	昭53. 4. 1	理 科	生活指導
6	小 口 澄 代	32	1-4	昭51. 4. 1	国 語	図 書
7	児 玉 令 子	31	1-5	昭53. 4. 1	図 工	教 務
8	玉 置 順 子	32	2-1	昭50. 4. 1	家 庭	生活指導
9	本 間 幸 子	29	2-2	昭48. 4. 1	図 工	図 書
10	山 口 重 雄	29	2-3	昭50. 4. 1	体 育	環 境
11	坂 口 田鶴子	56	2-4	昭50. 4. 1	算 数	教 務
12	村 越 裕 子	42	3-1	昭47. 4. 1	社 会	庶 務
13	須 藤 貞 雄	53	3-2	昭49. 4. 1	体 育	給 食
14	中 村 笙 子	36	3-3	昭47. 4. 1	音 楽	生活指導
15	青 柳 佳 子	32	3-4	昭47. 4. 1	社 会	庶 務
16	渋谷 範 子	31	4-1	昭47. 4. 1	社 会	生活指導
17	高 橋 和 代	44	4-2	昭53. 4. 1	体 育	保 健
18	岡 江 フミ子	29	4-3	昭47. 4. 1	算 数	教 務
19	丹 羽 亮 典	44	4-4	昭52. 4. 1	道 徳	視聴覚
20	斉 藤 正 子	36	5-1	昭52. 4. 1	音 楽	生活指導
21	岩 崎 英 夫	26	5-2	昭50. 4. 1	体 育	環 境

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
22	佐久間 久美子	47	5-3	昭49. 4. 1	理 科	教 務
23	赤 井 光 子	32	6-1	昭47. 4. 1	国 語	視聴覚
24	安 西 利 江	35	6-2	昭47. 4. 1	家 庭	給 食
25	増 田 静 香	29	6-3	昭47. 4. 1	国 語	生活指導
26	長 沼 正 幸	33	理 科	昭52. 4. 1	理 科	教 務
27	河原田 桂 子	46	音 楽	昭47. 4. 1	音 楽	生活指導
28	副 田 実 枝	31	図 工	昭52. 4. 1	図 工	給 食
29	森 田 芳 博	30	体 育	昭52. 4. 1	体 育	環 境
30	金 野 峰 子	33	養 護	昭52. 4. 1	養 護	保 健
31	石 田 義 一	44	事 務	昭47. 4. 1	事 務	事 務
32	小山田 直 己	33	給 食	昭47. 4. 1	特 活	給 食

8. 研究主題の推移

49.5.0.51年度研究委託校として授業研究にとり組み、夫々文書発表を行った。

53年度は、52年度に引き続き「読解力を高める指導法の研究」をすすめる。

9. 本校の特色

団地校であることから、家庭の生活程度が平均している。児童の知能程度も比較的高い。反面に閉鎖的に協力的な面が欠けるので「あたたかい心で助け合う子ども」の育成を目ざして研究を進めようとしている。

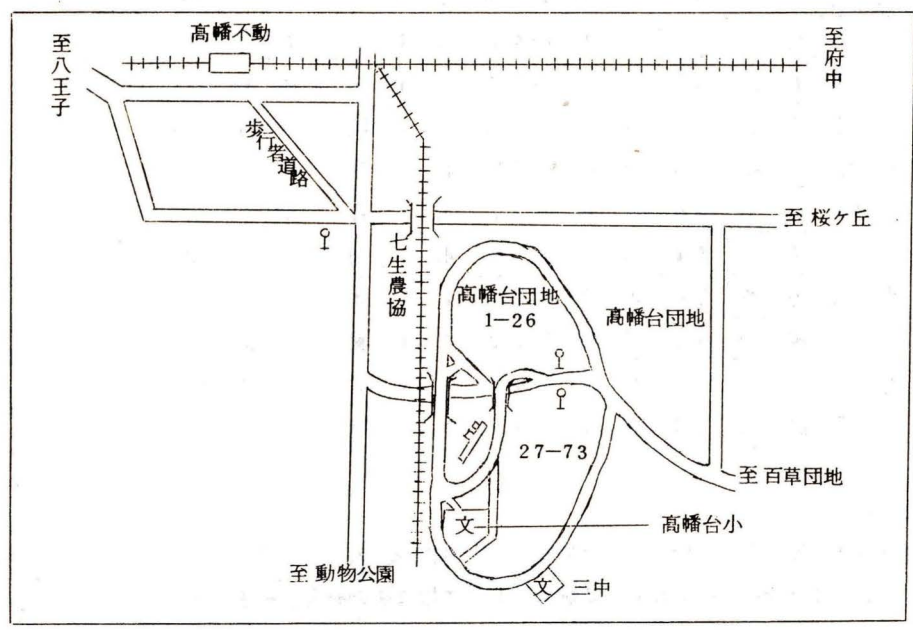
10. 都教育研究員・研究生歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員・研究生別
昭和46年度	勝 俣 友 子	給 食	研 究 員
昭和50年度	古 田 耿 介	教育経営	”

11. 保護者の職業一覧

職 業	家 庭 数	%	職 業	家 庭 数	%
会 社 員	634	68%	報 道 関 係	19	2%
公 務 員	65	7%	各 種 技 師	28	3%
運 輸	47	5%	会 社 役 員	19	2%
教 員	28	3%	団 体 職 員	19	2%
工 員	9	1%	そ の 他	36	4%
自宅商・自宅工	28	3%	計	932	100%

12. 学校に至るまでの地図





学校名 日野市立南平小学校
所在地 日野市南平4-18-1
電話 0425-92-2021・2022
順路 京王線南平駅より徒歩12分

校長氏名 黒沢保雄

教頭氏名 野口昭平

1. 沿革の概要

- 昭48.12.17 日野市教育委員会において南平小学校設置を決定
- 48.12.26 日野市議会において、南平小学校設置を可決
49. 3.25 仮設校舎完成。プレハブ教室11職員室1、校長・事務室1、職員室1、教材室1。他に潤徳小新館に4教室。更に保健室、用務員室をクラブハウスに設置
49. 4. 1 日野市立南平小学校開校
学級数15、児童数535名、教職員22名、市職4名
49. 4. 5 仮設校舎校地整理完了
49. 4. 6 第1学期始業式、第1回入学式挙行。新1年122名
49. 5. 4 本校舎工事着工。総工費220,166万円、敷地面積26535㎡、鉄筋コンクリート四階建 防音校舎4,456㎡
49. 5.22 南平小学校PTA設立総会開催
49. 7.10 校樹として「スズカケの木」を決定。校旗・校章図案のもととする。
- 49.11.15 本校舎完成 普通教室20、特別教室5（理、音、家、図、図書）、その他保健室、給食室、校長室、職員室、事務室、用務員室等

- 昭49.11.22 校歌、校旗、校章の制定および発表会を潤徳小体育館にて挙行。当日を本校開校記念日として制定
- 49.11.29 本校舎へ移転
- 49.11.30 校庭（運動場）整備完了、進入路舗装完了、正門・フェンス取付完了。全児童登校授業開始
- 49.12.31 体育館完成
50. 2.14 校舎、体育館落成式挙行
同記念行事、同祝賀会挙行
50. 3.25 第1回卒業式挙行。
卒業生67名
50. 3.31 校庭 花だんへ植樹
50. 4. 7 第2回入学式挙行。
入学児童118名
50. 4.30 大小プール完成
51. 3.25 第2回卒業式挙行。
卒業生68名
52. 3.25 第3回卒業式挙行。
卒業生101名
53. 3.25 第4回卒業式挙行。
卒業生106名

2. 歴代校長

黒沢保雄 昭49.4.1～現在

3. 地域の環境

本校の学区域は、日野市の南部に位置し、前

面に多摩丘陵をきりひらいた南平台（なんべいだい）、みなみが丘、鹿島台、川崎街道をはさんだ南平中（なか）、下（しも）（昔からの唯一の集落）、京王線と浅川ぞいにはさまれた向島の六地区で構成され、比較的まとまった学区域であり地区の把握がしやすい。南平中、下をのぞき何れも新興の分譲住宅地であり、父母の社会的、経済的地位は比較的安定している。従って学校教育によせる関心も高く、学校に協力的である。

学区域には、自然林あり、田畑、果樹園等自然条件にめぐまれ、西方に丹沢連峰から秀麗富士を仰ぎ見、施設、設備、校庭等の完備と合まって、教育的環境としては最高の条件を具備している。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

本校の教育は、憲法、教育基本法の精神に基づき、地域の特性をふまえ、児童の個性、能力の伸長と自発性・創造性を重視し、調和と統一のある教育をめざして行う。

- 心身ともにたくましい子ども
- 考えながら学ぶ子ども
- 最後までやりぬく子ども
- おもいやりのある仲よい子ども

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- 教職員の学校経営への積極的参加をととして、行事、会議等のむり、むだをはぶき、日々の授業を充実させ、明るく豊かな学校とよい校風づくりにはげむ。
- 新学習指導要領の趣旨をふまえ、移行措置を円滑に行うため、各教科領域の研究をととして、教育内容の精選と充実、指導法の改善をはかる。
- 体力づくりを行うため環境を整備し、体育、特別活動をととして計画的な指導を行う。

5. 指導の重点

(1) 各教科

- 「考えさせる授業」の指導法をくふうし、目標、内容、方法の一貫化と教材教具の整備活用をはかる。
- 児童の自発的学習意欲を高めるくふうをする。

(2) 道徳

- 人間尊重の精神を根本におき、おもいやりの心をたいせつにする指導を計画的にすすめる。
- 各教科、領域との連けいを深め、内面化、実践化をはかる。
- 効率的な指導と実装をはかるために、指導計画の立案をすすめる。

(3) 特別活動

- 集団活動をととして、児童の自発的、自治的な実践活動を促す指導をすすめ、自主性、創造性と豊かな社会性を培い、実践的な態度を身につけさせる。
- 児童が積極的に楽しく参加できる特別活動の全体計画を樹立する。

(4) 生活指導

- 。ひとりひとりを大事にし、互に尊重し合う生活態度を培う。
- 。「学校のきまり」を主体的にとり組ませ、充実した学校生活をさせる。
- 。健康で安全な生活に心がけ、けがのない日、事故のない日をめざし、くふうする。
- 。協力して明るく清潔で活気ある学校をつくるようにさせる。

(5) その他の配慮事項

- 。教師間の教育に対する共通理解を深め、児童、教師、父母との、心の交流をはかり、信頼を高め、思いやりがあり、最後までやりぬく子どもの育成をはかる。
- 。校舎内外の環境の美化につとめ、勤労をよこび、公共性をもった、情操豊かな子どもの育成をはかる。

6. 児 童 数 (5 3 . 4 . 1 0 現在)

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	4	3	4	3	3	2	19
男	69	71	76	70	66	55	407
女	77	63	68	54	62	34	358
計	146	134	144	124	128	89	765

7. 教 職 員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	黒 沢 保 雄	53	校 長	昭49. 4. 1	学校経営	
2	野 口 昭 平	52	教 頭	昭53. 4. 1	学校経営	
3	河 村 令 子	30	1-1	昭49. 4. 1	算 数	図書館
4	船 橋 美奈子	25	1-2	昭51. 4. 1	国 語	財 務
5	古久保 蝶 子	25	1-3	昭51. 4. 1	理 科	視聴覚
6	山 中 義 男	42	1-4	昭53. 4. 1	道 徳	教 務
7	藤 井 香代子	27	2-1	昭53. 4. 1	算 数	特 活
8	進 真 郎	51	2-2	昭49. 4. 1	体 育	教務主任
9	坂 井 和 子	54	2-3	昭49. 4. 1	社 会	教 務
10	片 岡 千寿子	43	3-1	昭53. 4. 1	道 徳	給食主任
11	杉 本 順 一	26	3-2	昭50. 4. 1	体 育	生活指導
12	阿 部 二三子	29	3-3	昭53. 4. 1	国 語	図書館
13	清 水 三津恵	28	3-4	昭53. 4. 1	音 楽	視聴覚
14	前 川 花 子	51	4-1	昭51. 4. 1	国 語	教 務
15	中 西 快 枝	25	4-2	昭52. 4. 1	社 会	生活指導
16	佐々木 正 典	28	4-3	昭52. 4. 1	体 育	特 活
17	当 間 糸 子	48	5-1	昭50. 4. 1	家 庭	図書館主任

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
18	越 村 清 治	33	5-2	昭53. 4. 1	社 会	特 活
19	丸 茂 洋 子	36	5-3	昭53. 4. 1	家 庭	特活主任
20	藤 田 孝 彦	46	6-1	昭50. 4. 1	図 工	保健主任
21	堀 竹 充	24	6-2	昭52. 4. 1	体 育	視聴覚主任
22	森 清 晃	52	理 科	昭51. 4. 1	理 科	生活指導主任
23	村 上 悦 子	41	音 楽	昭49. 4. 1	音 楽	視聴覚
24	関 賀穂留	28	図 工	昭53. 4. 1	図 工	生活指導
25	土 屋 良 子	25	養 護	昭49. 4. 1	保健体育	保 健
26	田 辺 正 志	31	事 務	昭49. 4. 1	事 務	財 務
27	野 崎 幸 子	25	栄養士	昭49. 4. 1	給 食	給 食

8. 研究主題の推移

昭和50年度分研究委託校として授業研究にとり組み、昭51.3第1回発表を行う。

51, 52年度も引続き「児童の思考力を高める指導法の研究」をすすめている。

52年度都研金松所長を迎え市内各校に授業を公開する。

53年度も引続き研究をすすめている。

9. 本校の特色

(1) 児童、父母ともに学校を信頼し、協力的である。

(2) 児童、父母の経済的、社会的地位が比較的安定しており、要・準保護家庭がすくない。

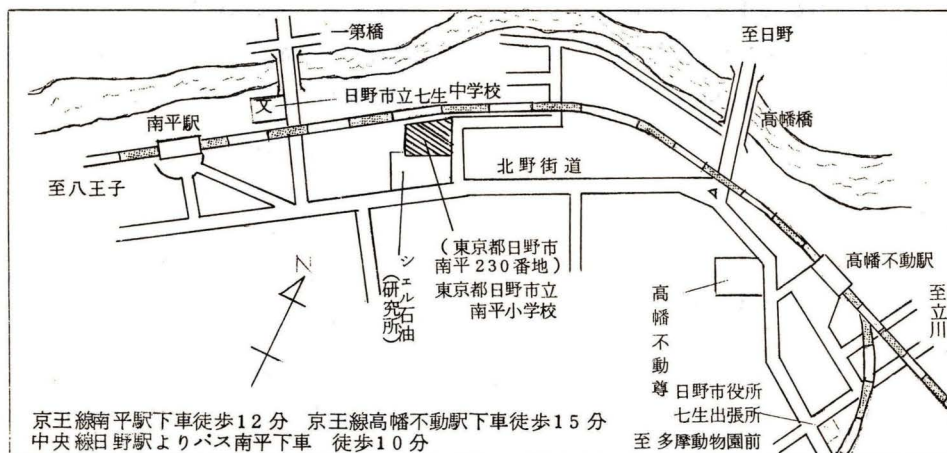
10. 都教育研究員・研究生歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員別 研究生	年 度	氏 名	教科領域	研究員別 研究生
昭和35年度	黒沢 保雄	社 会	研 究 生	昭和45年度	村上 悦子	音 楽	
昭和39年度	黒沢 保雄	社 会	研 究 員	昭和48年度	藤田 孝彦	特 活	〃
昭和40年度	野口 昭平	道 徳	〃	昭和48年度	越村 清治	社 会	〃
昭和42年度	坂井 和子	教育方法 (図書館)	〃	昭和51年度	山中 義男	道 徳	〃
昭和44年度	山中 義男	道 徳	研 究 生				

11. 保護者の職業一覧（53.4調）

職 業	家庭数	%	職 業	家庭数	%
会 社 員	366	65	各 種 技 師	5	1
公 務 員	41	7	会 社 役 員	13	2
教 員	20	4	団 体 職 員	11	2
運 輸	13	2	農 業	5	1
工 員	5	1	建 設 業	12	2
自 宅 商 ・ 工	43	8	そ の 他	8	1
報 道 関 係	11	2			
サ ー ビ ス 業	14	2	合 計	567	100

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日野市立程久保小学校
所 在 地 日野市程久保504の1
電 話 0425-92-5014
順 路 京王線高幡不動駅より動物園行きバスにて
5分 中程久保下車徒歩2分

校長氏名 渋谷 義 一

教頭氏名 村 松 徹 二

1. 沿革の概要

昭51. 校舎新築起工

52. 2. 1 初代校長渋谷義一就任
潤徳小学校内に開設準備室をおく

52. 2.28 校舎完成

52. 4. 1 日野市立程久保小学校として開校。学級数18、児童数657、教職員26、市職8

52.10.20 落成式 校歌・校章発表会

2. 歴代校長

氏 名 年月～年月

渋谷 義 一 昭52.2.1～現在

3. 地域の環境

日野市の南東部にあって八王子市と接しており、明星・三井・電建の新興住宅地が主な学区域である。住宅は多摩動物公園線の両側の起伏に富んだ傾斜地に建てられている。西側には動物公園の園舎もみられ遠足時には子どもの集団が遠望できる。東側は高幡台団地に接しているけれど一面緑が目に入る自然環境である。

4. 教育目標

心身ともに健康で互いに協力しあい豊かな情

操の持ち主を次の三点をととして育成する。

- 本 気
- 元 気
- 根 気

5. 指導の重点

- 各 教 科
 - ・意欲的な学習態度を育てる
 - ・教材研究を深め実地授業をととして指導法の改善をはかる。
 - ・教材教具の整備充実と活用をはかる。
- 道 徳
 - ・教育目標の本気・元気・根気の実現をめざした道徳教育を推し進める。
 - ・教科・特活指導と連けいを持たせて道徳性の内面化・態度化をはかる。
- 特別活動
 - ・学級会活動、児童会・クラブ活動を充実させ自主性、社会性の育成をめざす。
 - ・学校の行事にすすんで参加することによって学校生活を安全で明るく楽しいものにする。
- 生活指導
 - ・連帯感のある学校づくりをすすめる。
 - ・学校における基本的行動様式を身につけさせる。
 - ・安全教育の徹底をはかる。

6. 児 童 数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	3	3	3	4	3	3	19
男	60	60	64	63	49	55	351
女	55	48	58	73	60	51	345
計	115	108	122	136	109	106	696

7. 教 職 員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	渋谷 義 一	51	校 長	昭52. 2. 1	理 科	
2	村 松 徹 二	51	教 頭	昭52. 4. 1	理 科	
3	堀 越 満 枝	52	3の1	昭52. 4. 1	体 育	研究主任
4	小 畑 智恵子	49	6の3	昭52. 4. 1	国 語	学年主任
5	上 野 森 良	48	6の1	昭52. 4. 1	道 徳	教務主任
6	河 野 千 秋	42	2の1	昭52. 4. 1	社 会	生活指導主任
7	川 井 矩 子	38	1の3	昭52. 4. 1	社 会	学年主任
8	井 浦 弘	35	4の2	昭52. 4. 1	図 工	学年主任
9	塚 本 純 子	34	2の2	昭52. 4. 1	家 庭	
10	川原田 和 子	34	3の2	昭52. 4. 1	体 育	
11	土 方 邦 男	33	5の2	昭52. 4. 1	理 科	学年主任
12	佐 藤 智 子	32	4の1	昭53. 4.16	社 会	
13	川 上 卓 一	31	専 科	昭52. 4. 1	理 科	
14	松 田 英 明	30	5の3	昭52. 4. 1	体 育	保健主任
15	小 堀 こう子	29	専 科	昭52. 4. 1	音 楽	
16	浜 野 育 子	29	2の3	昭52. 4. 1	国 語	給食主任
17	間 瀬 悦 子	29	1の1	昭52. 4. 1	国 語	
18	渡 辺 みち子	28	4の4	昭52. 4. 1	国 語	
19	米 川 みえ子	27	5の1	昭52. 4. 1	国 語	
20	石 川 茂 子	27	3の2	昭52. 4. 1	算 数	
21	松 本 真知子	26	専 科	昭52. 4. 1	図 工	
22	佐々木 千鶴子	25	4の3	昭52. 4. 1	体 育	
23	小 原 ゆりえ	24	6の2	昭52. 4. 1	家 庭	
24	糸 井 則 子	24	1の2	昭52. 4. 1	理 科	
25	細 井 聖 子	53	養 護	昭52. 4. 1	保 健	
26	横 山 謙 二	30	事 務	昭52. 4. 1	事 務	
27	宮 坂 典	36	給 食	昭52. 4. 1	給 食	

8. 本校の特色

在学児童の多くは家庭環境にめぐまれており、いろいろな面でみたまされている。しかし、児童は保護されて育った感じで、たくましさに欠けている。これが今後の課題である。

開校間もないため、校庭など整備されていない面が多いが一つずつ整備につとめている。

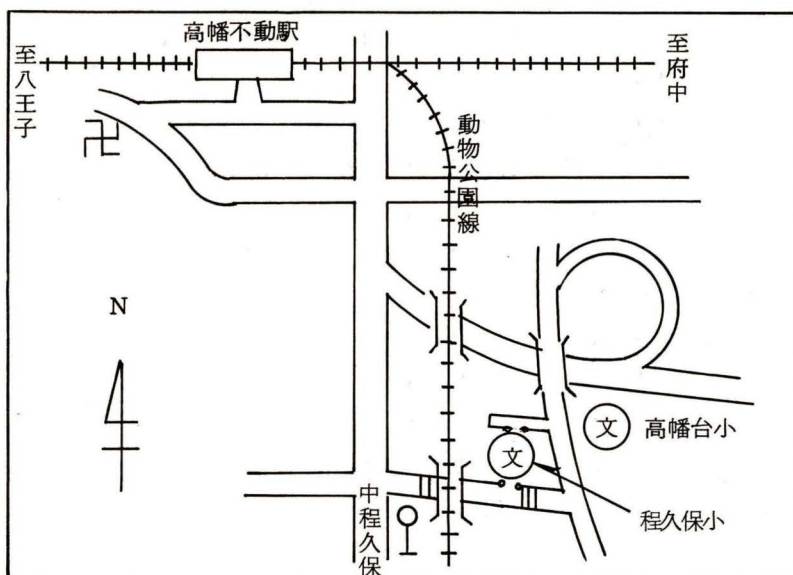
9. 都教育研究員・研究生歴

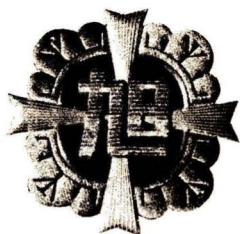
年 度	氏 名	教科領域	区 分
昭和41年度	渋谷 義一	理 科	研 究 員
昭和41年度	村 松 徹二	理 科	研 究 員
昭和42年度	渋谷 義一	理 科	研 究 生
昭和49年度	上 野 森 良	国 語	研 究 員

10. 保護者の職業一覧

職 業	家 庭 数	%	職 業	家 庭 数	%
会 社 員	319	64.7	運 輸	6	1.2
公 務 員	47	9.3	報 道 関 係	8	1.7
教 員	33	6.8	団 体 職 員	15	3.1
自 宅 商	30	6.2	そ の 他	15	3.1
自 宅 工	11	2.3	無 職	4	0.8
医 師	4	0.8	計	492	100

11. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日野市立旭が丘小学校
所 在 地 日野市旭が丘 5 丁目 2 1 番地 1
電 話 0425-83-3733・3748
順 路 中央線豊田駅北口下車徒歩 2 5 分
京王バス(大和田坂上)下車 10 分
都バス(石川入口)

校長氏名 小野寺 東 雄

教頭氏名 山 口 武 彦

1. 沿革の概要

- 昭 51. 5.21 仮称第 18 小学校の開設準備委員会が発足する。六小 8 名、滝合小 8 名、市教委 8 名、計 24 名。
- 昭 51. 9. 6 安全祈願祭が、仮称第 18 小学校の敷地で行われる。
- 昭 51.11.29 日野市教育委員会で、仮称第 18 小学校の学区域がきまる。
- 昭 51.12.23 日野市議会で仮称第 18 小学校の設置が正式に決定する。
- ・学校 の名称 日野市立旭が丘小学校
 - ・設 置 場 所 日野市旭が丘 5 丁目 2 1 番地の 1
- 昭 52. 2. 1 初代校長として、日野市立日野第六小学校教頭小野寺東雄が補せられる。
- 昭 52. 4. 1 日野市立旭が丘小学校開校する。学級数 18、児童数 707 名、教職員 26 名、市職員 8 名、計 34 名
- 昭 52. 4. 6 第 1 学期始業式、第 1 回入学式挙行する。
- 昭 52. 4.20 授業研究校を受けることを決定する。
- 昭 52. 4.21 給食を開始する。
- 昭 52. 4.27 教育目標決定
- 昭 52. 5.20 校舎完成

- 昭 52. 7.20 校章決定
- 昭 52. 8.15 体育館完成
- 昭 52.10. 1 開校記念大運動会
- 昭 52.10.13 市主催落成式
- 昭 52.11.12 開校記念展覧会
- 昭 52.11.21 校歌制定
- 昭 52.11.22 第 1 回開校記念日
- 昭 53. 3.24 第 1 回修了式
- 昭 53. 3.25 第 1 回卒業式

2. 歴代校長

	氏 名	年月～年月
初代	小野寺 東雄	52.2.1～現在

3. 地域の環境

本校は、日野市西南部の八王子市との境に位置している。学区は、浅川の第一河岸段丘と第二河岸段丘の二段にまたがっている。東西 2 km、南北 1.5 km と広く、学校が西に偏在しているため、通学時間が 30 分以上かかる児童もいる。学区の中心部は、東芝や帝人などの大工場がしめ、その周辺に個人住宅や集団住宅が混在している。主要道路には歩道があるが、通学路の交通安全施設の整備はおくれている。また、工場は多いが、公害問題は少ない。学校の周辺には、畑や雑木林も多く公園もあり、自然に恵まれている。父母は、66% が会社員で学校教育への関心は深い。

4. 教育目標

- (1) よく考える子ども
- (2) なかよくする子ども
- (3) がんばりぬく子ども
- (4) からだをきたえる子ども

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア 各教科

- 昨年度に引き続き、授業研究をより深め、ひとりひとりの児童の発言・発表を大切に、児童にわかる授業をめざす。
- 子どもに考えさせる授業をめざすために、基本方針の(ア)を受けて、児童に物事をよく見、聞く態度を育て、気づかせる指導法をくふうする。

イ 道徳

- 自分の言動に責任を持ち、協調し合い、相手に迷惑をかけない子どもの育成をめざす。
- 本校の自然林への愛護の精神を通して、環境の保全に目を向けさせ、動植物へのやさしい思いやりの心を育てる。

ロ 特別活動

- 学級指導の指導内容を明確にし、学級内のよい人間関係を育てる。
- 委員会・クラブ活動の実践を通して、最後までやりぬく子どもを育てる。

(2) 生活指導・進路指導の重点

- 本校児童の基本的生活習慣の実態の分析と、「学校生活のきまり」の定着化を推進し、児童のより望ましい習慣形成を図る。

(3) その他の配慮事項

- 校舎・校庭の諸施設が完成した本年度は、その整備・保全と、児童の教育指導への活用に留意する。
- 父母会、授業参観日、地区児童会、家庭訪問などのあらゆる機会をとらえて、父母と学校との交流を深める。

6. 児童数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
学級数	4	4	3	3	3	3	20
男	87	74	57	57	65	39	379
女	73	74	66	65	46	54	378
計	160	148	123	122	111	93	757

7. 教 職 員

(※ 年令は昭和54年3月現在)

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	小野寺 東 雄	52	校 長	昭52. 2. 1	学校経営	
2	山 口 武 彦	47	教 頭	昭52. 4. 1	学校経営	
3	渡 辺 健 一	39	1の1	昭52. 4. 1	理 科	学年主任、理科主任、校内指導主任
4	柴 順 子	30	1の2	昭53. 4. 1	算 数	教務部、研究委
5	石 原 美 代	31	1の3	昭52. 4. 1	国 語	教務部
6	諏 訪 喜代子	29	1の4	昭52. 4. 1	体 育	庶務部
7	渡 辺 馨 鴻	46	2の1	昭52. 4. 1	体 育	生活指導主任、学年主任、体育科主任
8	飯 田 国 代	33	2の2	昭52. 4. 1	図 工	校外指導主任、庶務部
9	川 原 由 紀	30	2の3	昭52. 4. 1	理 科	産休・育休(53.4.1～54.3.31)
10	齊 藤 弥 生	32	2の4	昭52. 4. 1	算 数	教務部
11	中 村 麗 子	47	3の1	昭52. 4. 1	算 数	学年主任、図書館主任、教務部
12	金 畑 昭 正	32	3の2	昭52. 4. 1	理 科	安全教育主任
13	間 島 春 美	30	3の3	昭52. 4. 1	国 語	研究委
14	田 中 和 子	33	4の1	昭52. 4. 1	体 育	教務部、庶務部
15	馬 場 富 男	42	4の2	昭52. 4. 1	国 語	国語科主任、研究委
16	前 川 せ っ	51	4の3	昭52. 4. 1	社 会	学年主任、教育相談主任
17	泉 芳 夫	45	5の1	昭52. 4. 1	社 会	学年主任、社会科主任、視聴覚主任、研究主任
18	上 山 洋一郎	48	5の2	昭52. 4. 1	理 科	教務主任
19	石 原 八重子	47	5の3	昭52. 4. 1	道 徳	保健主任、道徳主任
20	佐 藤 慎 一	28	6の1	昭52. 4. 1	体 育	特活主任、研究委
21	石 井 和 子	51	6の2	昭52. 4. 1	道 徳	学年主任、行事主任
22	菅 野 君 江	26	6の3	昭53. 4. 1	算 数	算数科主任、特活部
23	伊 東 春 子	26	音 楽	昭52. 4. 1	音 楽	音楽科主任、教務部
24	藤 田 富治郎	33	図 工	昭52. 4. 1	図 工	図工科主任、研究委
25	奈 良 悦 子	47	家 庭	昭52. 4. 1	家 庭	給食主任、家庭科主任
26	倉 林 紀 子	38	養 護	昭52. 4. 1	保 健	保健部
27	伊 藤 功	33	事 務	昭52. 4. 1	事 務	管材主任
28	加 藤 広 子	35	栄 養	昭52. 4. 1	栄 養	給食部

1	野 村 治 子	42	2-4 1-3	昭53. 2. 13	音 楽	産休育休補助(53.2.13～53.8.4) (53.8.17～54.3.31)
2	中 川 治 子	43	2-3	昭53. 4. 1	音 楽	産休育休補助(53.4.1～54.3.31)

8. 本校研究主題の推移

昭和52年度	子どもによく考えさせる授業のあり方
昭和53年度	同 上

9. 本校の特色

本年は、開校2年目である。教育目標のうちの1つ「よく考える子ども」に視点をあて、よき教育環境づくりをめざして、教育活動を展開している。

- (1) 授業研究の推進
- (2) 職員、児童、父母の協働による環境整備と美化
- (3) 敷地内の自然林の保存と活用

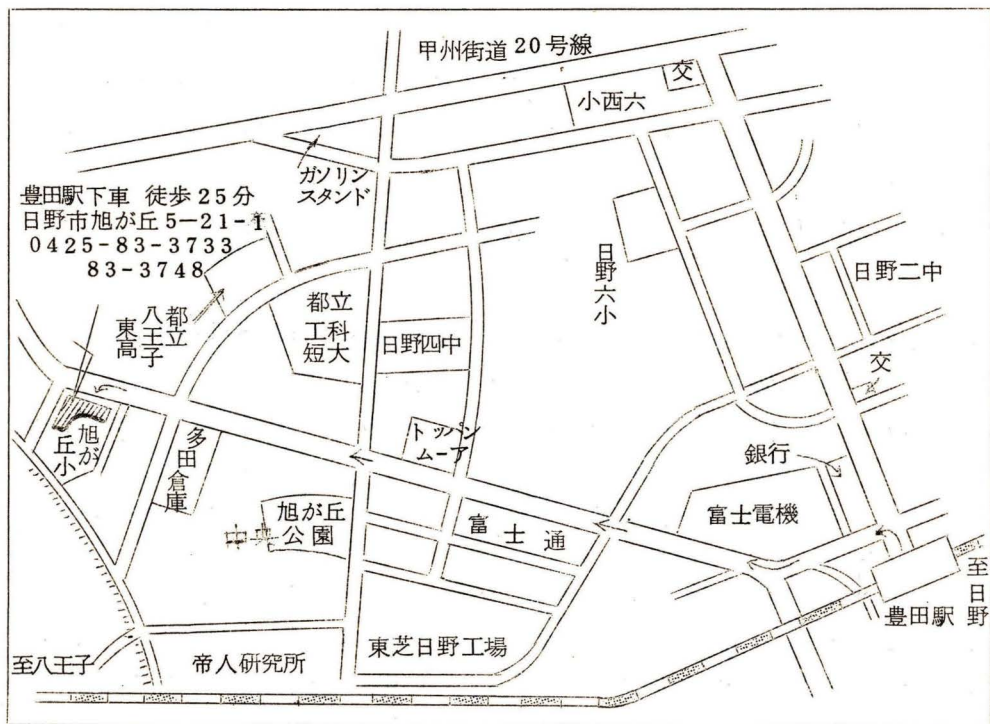
10. 都教育研究員・研究生歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員・研究生別
昭和42年度	小野寺 東 雄	理 科	教 育 研 究 員
昭和42年度	上 山 洋一郎	道 徳	教 育 研 究 員
昭和44年度	奈 良 悦 子	家 庭	教 育 研 究 員
昭和46年度	山 口 武 彦	社 会	教 育 研 究 員
昭和47年度	山 口 武 彦	社 会	研 究 生（都研）
昭和48年度	中 村 麗 子	給 食	教 育 研 究 員
昭和49年度	山 口 武 彦		文部省中央研修
昭和49年度	奈 良 悦 子	家 庭	現 代 化 委 員

11. 保護者の職業一覧（昭和53年4月6日現在）

区 分	内 容	人 数	%
会 社 員	各種会社員、店員、工員、銀行員	377	66.0
自 営 商 工	商業、工業、建築業、アパート経営	55	9.6
公 務 員	地方公務員、国家公務員	47	8.2
公社・公団職員	国鉄、電信電話、国民金融公庫	37	6.5
教 員	国・公・私立の幼・小・中・高・大の教員	18	3.2
サービスマン	美容、理容、タクシー運転手、ウェイトレス、看護婦	10	1.8
自 由 業	タレント、デザイナー、著述業、弁護士、計理士、医師	19	3.3
農 業	専業農家	1	0.2
無 職		7	1.2
合 計		571	100.0

1 2. 学校に至るまでの地図



学 校 名 日野市立平山台小学校
所 在 地 日野市平山2-1-1 〒191
電 話 0425-92-6381・6382
順 路 京王線平山城址公園下車徒歩15分

校長氏名 小 川 格

教頭氏名 石 井 三 士

1. 沿革の概要

- 昭52. 3.28 学校建設校舎予算市議会議決
52. 6. 3 学校開設準備委員会開催
52. 8.16 学校用地買収予算市議会議決
52. 8.19 学校用地売買契約締結
52. 9. 3 校舎建設工事請負契約締結
53. 1. 7 現在地に建設着工
53. 12.6 プール建設工事請負契約締結
53. 3.25 体育館建設工事請負契約締結
53. 4. 1 日野市立平山台小学校として開校、平山小学校の学区から、新たに平山1, 2, 3, 6丁目を平山台小学校の学区と定める。
児童数 男268、女282
計550名 17学級（内心障2学級）の規模で開校する。

2. 歴代校長

初代 小 川 格 （昭53.2～現在）

3. 地域の環境

本校は日野市の南端、多摩丘陵の頂きを開発して建設、北側は、日野市はもちろん八王子、立川も一望でき、巨大な鳥瞰図を眺めるようである。また、南側は、多摩テックから平山城址公園に連なる雑木林が四季の移り変わりを物語る。

このように、景観にすぐれるだけでなく、児童が学習をすすめる上で生きた教材が得易く恵

まれた学校である。

学区は、京王電鉄が造成し分譲した平山1丁目から3丁目に加えて、平山6丁目を含んだまとまりのある地域である。また、この地に住む人々が、相互に環境の美化、浄化に心している。したがって、静かでおちつきのある雰囲気が維持されている。

4. 教育目標

憲法、教育基本法、学校教育法の示す国民の育成につとめることを目指し、次のように教育目標を定める。

本校の教育は、生命の尊重を基底とし、自ら考え、正しく判断し実践できる力をもつ児童を育成する。

- よく考え くふうする子
- 力を合わせてやりぬく子
- 心豊かなやさしい子
- 明るくたくましい子

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア 各 教 科

- 指導内容の精選、重点化を図り、教材教具の活用を工夫し、基礎的・基本的な内容を習得させる。
- 児童自らよく考え工夫し、力を合わせて学習を進めることができるように指導方法を改善する。

イ 道 徳

- ・ 人や動植物の生命を大切にし、やさしい思いやりのある心を育てる。
- ・ 望ましい行動様式を身につけさせるとともに道徳的実践力を育成する。

ウ 特別活動

- ・ 児童の意欲的な活動を盛りあげ、協力してよい学校生活を築いていこうとする、自主的、実践的な態度を育てる。
- ・ 勤労奉仕にかかわる体験的な学習を積極的にすすめる。

エ 生活指導

- ・ 日本の学校生活を通して健康安全に留意し、学校の一員として自己実現を図る態度や能力を身につけさせる。
- ・ 児童に対する理解を深め、教師と児童、児童相互の心の交流を図る。
- ・ 家庭や地域社会との連携を図り、全校的な指導体制を整え、指導の充実を図る。

6. 児 童 数

	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	心 障	計
学級数	3	3	2	3	2	2	2	17
男	50	56	41	42	41	30	11	271
女	56	43	42	54	40	39	7	281
計	106	99	83	96	81	69	18	552

7. 教 職 員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
1	小 川 格	53	校 長	昭53. 2. 1	理 科	経 営
2	石 井 三 士	47	教 頭	昭53. 4. 1	国 語	経 営
3	飯 田 幸 次	55	1-1	昭53. 4. 1	算 数	生活指導主任
4	大 田 喜久子	27	1-2	昭53. 4. 1	理 科	特別活動、研究
5	西 尾 京 子	30	1-3	昭53. 4. 1	図 工	保 健
6	古 賀 暉 子	37	2-1	昭53. 4. 1	国 語	図書館
7	淵 上 かおる	30	2-2	昭53. 4. 1	音 楽	教務、視聴覚
8	長 尾 節 子	58	2-3	昭53. 4. 1	図 工	給食、生活
9	赤 松 昭 子	34	3-1	昭53. 4. 1	国 語	教務、給食
10	谷 津 誠 一	38	3-2	昭53. 4. 1	道 徳	管財、生活
11	溝 江 恵美子	36	4-1	昭53. 4. 1	国 語	教務、生活
12	小 俣 靖 江	34	4-2	昭53. 4. 1	算 数	図 書
13	古 山 郁 夫	48	4-3	昭53. 4. 1	社 会	研究主任
14	尚 樹 和 子	47	5-1	昭53. 4. 1	道 徳	保健主任、研究

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	そ の 他
15	小 島 義 範	29	5-2	昭53. 4. 1	社 会	特別活動、視聴覚
16	橋 本 允 子	36	6-1	昭53. 4. 1	家 庭	教務、給食
17	和 田 文 雄	44	6-2	昭53. 4. 1	体 育	教務主任
18	吉 川 郁 子	43	理 科	昭53. 4. 1	理 科	教務、視聴覚
19	村 田 那智子	39	音 楽	昭53. 4. 1	音 楽	教務、生活
20	北 野 義 昭	31	図 工	昭53. 4. 1	図 工	生活指導、視聴覚
21	植 木 雅 子	44	心 障	昭53. 4. 1	国 語	図 書
22	中 沢 芙美子	40	心 障	昭53. 4. 1	図 工	研究、生活
23	信 夫 清 彦	33	心 障	昭53. 4. 1	体 育	生活指導、保健
24	八 木 文 夫	32	心 障	昭53. 4. 1	体 育	教 務
25	田 島 佳 子	36	養 護	昭53. 4. 1	保 健	保 健
26	幸 地 通 夫	23	事 務	昭53. 4. 1	事 務	事 務

8. 本校の研究主題の推移

昭和53年度	教育目標に迫る授業のくふう
--------	---------------

9. 本校の特色

市内全域がほぼ見渡せるところに建設された開校初年度の学校である。

特に、心障学級の設置校として、本校に課せられた教育内容は多く、その1つ1つについて検討、実践していかなければならない。各面の協力と努力によって設けられたブレイルーム、等、心障児のために与えられた施設の生かし方も課題の一つである。又本校は、機械警備で夜間、休日等は完全な警備がとれている。恵まれた環境と設備を日々の教育実践にどう生かすか、検討を加える努力を重ねている。

新設校として、教育目標の設定、校風づくり、校歌、校章の作成等、創立に伴う基礎づくりに職員一同とりくんでいる。

10. 都教育研究員・研究生・中央研修生歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員・研究生別
昭和25年度	小 川 格	理 科	研 究 生
昭和44年度	石 井 三 士	国 語	研 究 員
昭和48年度	小 川 格		中 央 研 修
昭和49年度	和 田 文 雄	体 育	研 究 員

11. 保護者の職業一覧

職業分類	実家庭数	%
会社員	296	72.5
公務員	55	13.5
自宅商	6	1.5
自宅工	1	0.2
サービス業	3	0.7
自由業	8	2.0
運輸・通信業	8	2.0
自営業	18	4.4
無職	2	0.5
その他	11	2.7

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日野市立日野第一中学校
所 在 地 日野市日野2614
電 話 0425-81-0009(代)
順 路 国電 日野駅下車 徒歩10分

校長氏名 松 延 耕 作

教頭氏名 安 谷 功

1. 沿革の概要

- 昭22. 4.30 公立中学校として設置認可日野
中学校と称する。
23. 3.24 第一回卒業式挙行(卒業生43
名)
24. 4. 1 校歌制定
29. 4. 1 校名を日野第一中学校と改称
32. 3.22 校旗制定
37. 1.17 標準服実施の決定、37年度よ
り実施
37. 9.17 新校舎(鉄筋防音)落成
38. 9. 9 プール落成
- 38.11. 3 日野市制施行、市立日野第一中
学校となる。
39. 5. 1 特別教室完成
41. 7. 1 体育館落成
- 42.11. 4 二十周年記念式典挙行
- 44.10.19 救助袋5個取付
- 44.10.23 プレハブ校舎完成
46. 6.30 校庭夜間照明灯設置
(社会教育)
47. 2. 4 井戸水を市水道に切替え
47. 2.29 体育館への渡り廊下建設
48. 3.10 校舎増築(普3、特別2)完成
(東側)特別教室への渡り廊下
完成
49. 6.30 プール循環装置完成
- 49.10.26 プール脱衣所完成
50. 3.26 体育倉庫完成

- 昭50. 4.12 プレハブ二階建校舎完成
51. 3.19 校舎増築(普3、教材1、生徒
指導2)完成、石灰庫完成、浄
化槽完成(西側)
52. 3.19 第30回卒業式挙行(卒業生
331名)
- 52.11. 4 創立30周年記念、校歌刻字の
記念碑設立(故・二代目校長飯
塚節三氏寄贈)
- 52.11. 4 文化祭実施(30周年記念誌発
行)
53. 3.22 第31回卒業式挙行(卒業生
338名累計8,368名)

2. 歴代校長

- 初代 町田勘之助 昭22. 4~25. 9(死去)
- 2代 飯塚 節三 25.10~37. 3(死去)
- 3代 大沢 彰 37. 4~40. 3
- 4代 大沢 量作 40. 4~45. 3
- 5代 安部 達郎 45. 4~49. 3
- 6代 東 恭朝 49. 4~53. 3
- 7代 松延 耕作 53. 4~現在

3. 地域の環境

日野市の東部、多摩川と浅川の合流する第四
紀沖積層の低地に当り、水の便よく水田が発達
し甲州街道ぞいの宿場町として栄えて来た。近
年郊外の住宅、工場(羽田ヒューム管、雪印乳
業、オリエント時計)、特に中小企業家内工業、

商業が多く、近郊農業も見られる。

なお、日野市の中心地区として、市役所、警察署、郵便局、消防署等が置かれ、他に農林省、水産（淡水）研究所、蚕業研究所がある。

4. 教育目標

わたしたちは、ひとりひとりを尊重し、真理と平和を求める人間となるために学び、希望に満ちた社会をめざして、つぎの目標を定めます。

- 一、よく考え、やりぬく人 （主体性）
- 一、協力し、全体につくす人 （連帯性）
- 一、心豊かで、思いやりのある人 （人間性）
- 一、進んで、心身をきたえる人 （健康）

5. 教育目標を達成するための基本方針

教育内容の組織

思考力や創造力の育成をめざし、移行措置の趣旨に沿って基本事項の精選、集約化をはかる。

授業時数の配当

自主的な態度、社会連帯の精神、豊かな情操と積極的な体力の育成をめざし、調和と統一のとれた人間の育成を期するための時数の配当をする。

指導方法

自発的態度を助長し、思考力を育成するため、表現や発表の機会を常にとり入れる。

諸条件の整備

教育内容の組織化と効率化をめざし、教育機器の活用をはかる。

6. 指導の重点

(1) 各教科

積極的に学習する態度を育てる。

- ・発表の場や、表現の機会を多くする。
- ・学習の計画を立てさせ、予習、復習の習慣をつける。
- ・よく考える態度を養い、学力の伸長をはかる。

指導内容の精選、指導法の改善に努める。

(2) 道徳

ひとりひとりを尊重する態度を養う。

きまりを守り行動する態度を伸ばす。

感謝の気持ちを育てる。

(3) 特別活動（生徒活動、学級指導、学校行事）

教師の指導体勢を十分整え、自発的、自律的活動を伸ばす。

- ・クラブ活動に参加し、自主的な活動を伸長する。

- 学級の基盤に立った生徒活動、委員会活動を重視し、自主的な活動を伸長する。
- 望ましい人間関係を育て、健全な生活態度を形成する。
- 活動の場を明確にし、自主性を育てる。

(4) 生活指導

基本的生活態度の育成をはかるため、教師の共通理解を深める。

- 登下校の時刻を守り、休み時間と授業時間の区別をつけさせ、時間をたいせつにする態度を養う。
- 公共物をたいせつにし、進んで清掃に努めるなど、共同社会への貢献を自覚させる。

(5) 進路指導

個々の生徒の能力、適性のは握に努め、自ら進んで進路について考えるよう指導する。

7. 生徒数（4月1日現在）

	1 年	2 年	3 年	計
学級数	9	9	8	26(2)
男	192(3)	202(1)	203(2)	597(6)
女	183(3)	190(1)	154(4)	527(8)
計	375(6)	392(2)	357(6)	1,124(14)

() = 心障学級

8. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	担任教科	校 務 分 掌
1	松 延 耕 作	56	校 長	53. 4. 1	経 経	
2	安 谷 功	45	教 頭	53. 4. 1	技 術	
3	青 木 保	33	1 A	51. 4. 1	音 楽	教務部
4	能 瀬 典 子	33	1 B	50. 4. 1	国 語	図書視聴覚部
5	太 田 圭次郎	53	1 C	53. 4. 1	理 科	生活指導部
6	山 本 節 子	38	1 D	41. 4. 1	数 学	研究部
7	天 野 義 雄	45	1 E	47. 4. 1	社 会	研究部
8	吉 田 忠 夫	23	1 F	53. 4. 1	英 語	研究部
9	保 阪 暁	39	1 G	52. 4. 1	技 術	教務部
10	及 川 和 子	30	1 H	52. 4. 1	美 術	教務部
11	阿 藤 貞 夫	41	1 I	44. 4. 1	保 体	生活指導部
12	蓑 輪 博 美	30	1 年所属	48. 4. 1	家 庭	保健部
13	黒 木 利 武	52	〃	45. 4. 1	英 語	事務部
14	市 塚 正 史	46	〃	42. 4. 1	数 学	教務部、一年学年主任
15	宇津木 十四男	52	〃	46. 4. 1	国 語	事務部

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	担任教科	校 務 分 掌
16	森 田 寿 子	58	1 年心障	43. 4. 1	心障教育	教務部
17	古 厩 清 夫	47	2 A	52. 4. 1	数 学	教務部
18	設 楽 益 穂	39	2 B	49. 4. 1	社 会	図書視聴覚部
19	松 岡 史 記	26	2 C	52. 4. 1	技 術	教務部
20	高 橋 賢	24	2 D	52. 4. 1	保 体	生活指導部
21	宮 田 和 子	47	2 E	48. 4. 1	理 科	教務部
22	渡 部 正 元	39	2 F	53. 4. 1	社 会	研究部
23	島 倉 昭 雄	49	2 G	51. 4. 1	英 語	研究部
24	森 屋 文 子	45	2 H	53. 4. 1	数 学	保健部
25	森 田 与一郎	25	2 I	50. 4. 1	国 語	生活指導部
26	安 食 久 子	30	2 年所属	52. 4. 1	国 語	保健部
27	阿 部 敬	50	〃	43. 4. 1	音 楽	事務部
28	立 川 泰 司	50	〃	47. 4. 1	理 科	生活指導部主任
29	真 船 治 美	43	〃	45. 4. 1	保 体	生活指導部
30	土 田 きよみ	26	2 年心障	52. 4. 1	心障教育	保健部
31	大 山 正 昭	48	3 A	43. 4. 1	英 語	図書視聴覚部
32	宮 田 隆	29	3 B	48. 4. 1	保 体	研究部
33	内 堀 範 子	30	3 C	47. 4. 1	英 語	保健部
34	黒 田 健 蔵	29	3 D	51. 4. 1	社 会	生活指導部
35	福 島 良 樹	29	3 E	47. 4. 1	理 科	研究部
36	筒 井 ハ ル	57	3 F	45. 4. 1	家 庭	教務部
37	保 井 雅 之	24	3 G	52. 4. 1	国 語	生活指導部
38	榊 原 紀 子	39	3 H	52. 4. 1	理 科	生活指導部
39	大 貫 米 子	45	3 年所属	44. 4. 1	国 語	保健部
40	逸 見 敏	40	〃	46. 4. 1	美 術	生活指導部
41	岩 村 武	49	〃	50. 4. 1	社 会	教務部三年学年主任
42	伊 藤 利 子	33	〃	46. 4. 1	体 育	事務部
43	長谷川 忠 男	45	〃	48. 4. 1	数 学	教務部主任
44	鶴 田 幸 夫	24	3 年心障	51. 4. 1	心障教育	生活指導部
45	小 谷 澄 江	29	養 護	45. 4. 1		保健部主任
46	古 塚 淳 夫	35	主 事	49. 4. 1		事務部主任
47	大 森 信 子	45	講 師	53. 4. 1	理 科	
48	峯 岸 富美子	46	〃	53. 4. 1	音 楽	
49	浅 井 健 作	28	〃	53. 4. 1	美 術	
50	城 所 京 子	40	〃	53. 4. 1	美 術	
51	浜 谷 紀 子	30	〃	53. 4. 1	音 楽	

9. 本校研究主題の推移

昭和41年度	本校生徒の学力と学習適応性
昭和42年度	基礎学力の充実とその効果的指導法
昭和43年度	小集団活動を通しての学級づくり
昭和44年度	小集団活動を通しての学級づくり
昭和45年度	新指導要領はどのように変わるか（教科について）
昭和46年度	新指導要領はどのように変わるか（教科以外について）
昭和47年度	特別教育活動の指導のありかた
昭和48年度	教科における指導法の改善について
昭和49年度	教科における指導法の改善について
昭和50年度	教科における指導法の改善について
昭和51年度	基礎学力の向上をめざす指導法のくふう
昭和52年度	基礎学力の向上をめざす指導法のくふう
昭和53年度	打ちこめない生徒の学力向上をめざす指導

10. 本校の特色

掲げられた教育目標の具現化の一つとして、次の二点に特に意を用いている。

- (1) 基礎学力の向上をめざす指導法のくふうをととして、生徒の学習の意欲を高め、よく考える態度を養うため、他校参観や校内での授業研究をもとに、資料の収集や整理につとめている。
- (2) 情操の育成を図るために、教室・廊下などの掲示指導に意を用い、また、校舎内外の美化のために清掃に意を用い実施している。登下校時間の厳守には、教師・生徒会が一体となつてつとめている。

11. 都教育研究員・研究生歴

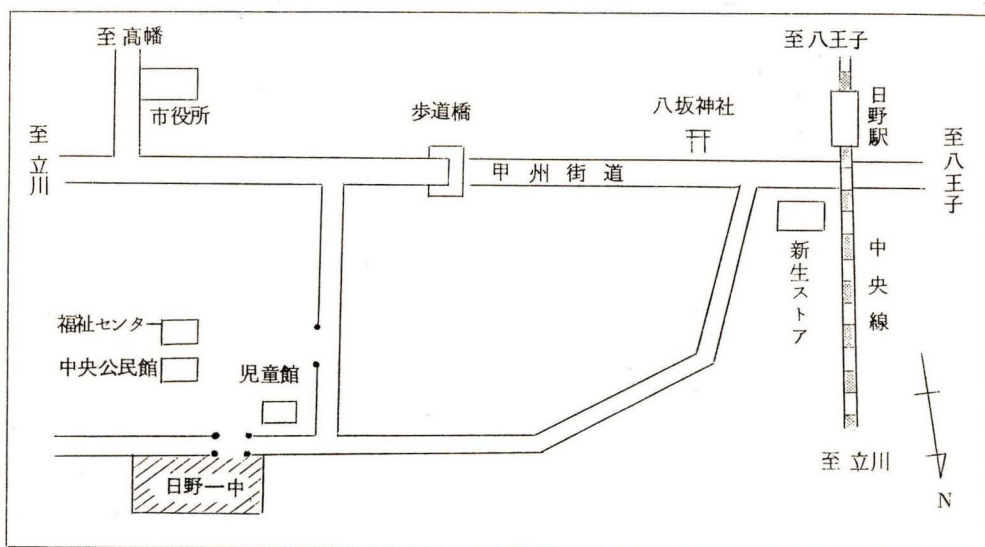
年 度	氏 名	教科領域	研究員・研究生別
昭和26年度	松 延 耕 作	社 会	研 究 生
昭和36年度	松 延 耕 作	社 会	研 究 員
昭和43年度	立 川 泰 司	特 活	研究員（八王子市横山中）
昭和43年度	長谷川 忠 男	数 学	研究員（福生市福生一中）
昭和44年度	市 塚 正 史	数 学	研 究 員
昭和46年度	島 倉 昭 雄	英 語	研究員（小平市小平四中）
昭和47年度	岩 村 武	教育方法	研究員（昭島市清泉中）
昭和47年度	市 塚 正 史	教育方法	研 究 員
昭和48年度	阿 藤 貞 夫	保 体	研 究 員
昭和49年度	天 野 義 雄	特 活	研 究 員
昭和49年度	保 阪 暁	技 術	現代化要員（国立一中）
昭和50年度	逸 見 敏	美 術	研 究 員

年 度	氏 名	教科領域	研究員・研究生別
昭和50年度	島 倉 昭 雄	特 活	研究員（都立久我山盲）
昭和50年度	安 谷 功	特 活	研究員（八丈島富士中）
昭和51年度	真 船 治 美	保 体	研 究 員

12. 保護者の職業一覧

職 業	人 数	%	職 業	人 数	%
専門的・技術的職業	168	15	技 能 的 職 業	188	17
管 理 的 職 業	102	9	運 輸 ・ 通 信 の 職 業	59	5
事 務 的 職 業	394	35	サ ー ビ ス 的 職 業	56	5
販 売 的 職 業	97	8	無 職 ・ そ の 他	35	3
農 業 ・ 漁 業	39	3	計	1,138	100

13. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日野市立日野第二中学校
所 在 地 日野市多摩平 4丁目5の2
電 話 0425-81-0056・0262
順 路 中央線豊田駅下車 徒歩10分

校長氏名 小 林 政之助

教頭氏名 長谷川 辰 美

1. 沿革の概要

昭29年度 設立認可、開校式、入学式（生徒200名）
第二期工事八教室増築落成
昭31年度 第三期工事竣工落成
昭32年度 第一回卒業式（卒業生204名）
昭33年度 校旗、校歌制定
昭34年度 産業教育研究校に指定される。
昭35年度 特別教室（工作、調理、理科）竣工落成
昭36年度 第二期特別教室竣工
産業教育研究発表会、修学旅行研究発表会
昭37年度 プール竣工落成
昭38年度 保健体育研究発表会
昭39年度 普通教室3教室竣工、創立10周年記念式典挙行
昭40年度 体育館竣工
昭41年度 防音校舎第一期工事完成（6教室）
昭42年度 防音校舎第一期工事完成（18教室）、プール用更衣室工事完成
昭43年度 南校舎前、境栽花壇完成
体育倉庫と校庭用便所完成
昭44年度 プール専用便所一棟完成
プレハブ一棟
昭45年度 プレハブ一棟
昭46年度 プレハブ一棟

昭47年度 プレハブ二棟
昭48年度 四中新設のため34学級より25学級に縮小
昭48年度 創立20周年記念式挙行
校舎改修工事（内装）
昭49年度 南校舎3階塗装。技術科教室及同準備室改造整備。調理室床塗装。体育館屋根修理、外装、中庭、池整備。
昭50年度 南校舎6教室増設、南校舎2階塗装
昭51年度 理科室・家庭科調理室・机・床整備
昭52年度 体育館照明工事・暗幕完成
校舎電気配線整備。

2. 歴代校長

初代 橋本 貫一 昭29. 3.31～30.9.30
二代 増山 恒 昭30.10.1～41.3.31
三代 飯田 栄一 昭41. 4. 1～46.3.31
四代 河村俊一郎 昭46. 4. 1～48.3.31
五代 飯田 卯吉 昭48. 4. 1～51.3.31
六代 小林政之助 昭51. 4. 1～現在

3. 地域の環境

学区は3,000世帯を収容する多摩平公団住宅を中心に日野五社勤務者の居住する住宅がこれをとりまき、東南部になお農業地域を残し、本校は多摩平公団住宅のほぼ中央に位置してい

る。

4. 教育目標

人間尊重の精神を基本とし、民主的な社会の形成者としてたくましく実践力のある人間をめざし、

- (1) 健全なからだ、節度ある自主的精神を養う。
- (2) お互いに尊敬し合い、奉仕の態度を身につける。
- (3) 高い知性と豊かな情操を養う。

5. 本年度指導の重点

- ・ 各 教 科
 - 自ら学びとる学習の態度を育成し、基礎学力の充実をはかる。
- ・ 生活指導
 - 基礎的生活習慣の確立、生徒との交流を深める。
- ・ 進路指導
 - 系統的指導計画の実践を通じて自己を理解し、将来の進路を選択する能力を育成する。

6. 生 徒 数 （ 5 3 . 4 . 1 5 現在 ）

	1 年	2 年	3 年	計
学 級 数	9	9	8	2 6
男	2 0 4	1 7 9	1 6 4	5 4 7
女	1 9 7	2 0 1	1 6 8	5 6 6
計	4 0 1	3 8 0	3 3 2	1,113

7. 教 職 員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	教 科	校 務 分 掌
1	小 林 政之助	54	校 長	51. 4. 1	国 語	経営管理
2	長谷川 辰 美	50	教 頭	48. 4. 1	英 語	校務一般
3	渡 辺 貴 一	24	1 - 1	52. 4. 1	理 科	生徒指導部
4	石 田 洋 子	31	1 - 2	46. 4. 1	英 語	教務部
5	井 田 武	48	1 - 3	41. 4. 1	国 語	庶務部主任
6	福 地 和 子	38	1 - 4	47. 4. 1	理 科	生徒指導部
7	広 瀬 昭	46	1 - 5 1年主任	48. 4. 1	英 語	生徒指導部
8	内 田 耕一郎	46	1 - 6	48. 4. 1	数 学	学習指導部主任
9	森 紀 子	36	1 - 7	45. 4. 1	社 会	教務部
10	矢 崎 博	29	1 - 8	52. 4. 1	数 学	保健部

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	教 科	校 務 分 掌
1 1	伊 藤 務	4 1	1 - 9	5 2. 4. 1	社 会	学習指導部
1 2	水 野 美 鈴	2 7	1 年	5 3. 4. 1	国 語	学習指導部
1 3	和 田 啄 子	4 0	"	4 7. 4. 1	保 体	生徒指導部
1 4	小 林 初 子	4 0	"	4 6. 4. 1	美 術	教務部
1 5	飯 島 利 三	3 8	"	4 8. 4. 1	技 術	学習指導部
1 6	渡 辺 欣 哉	2 4	2 - 1	5 2. 4. 1	理 科	生徒指導部
1 7	我 妻 要	5 3	2 - 2	4 2. 4. 1	国 語	学習指導部
1 8	鎌 田 正 人	2 6	2 - 3	5 3. 4. 1	美 術	保健指導部
1 9	西 川 良 三	2 4	2 - 4	5 2. 4. 1	英 語	生徒指導部
2 0	山 崎 智 子	2 6	2 - 5	5 2. 4. 1	保 体	教務部
2 1	大 庭 和 義	2 6	2 - 6	5 1. 4. 1	数 学	生徒指導部
2 2	中 根 勉	3 3	2 - 7	5 2. 4. 1	社 会	生徒指導部
2 3	有 井 堅	3 9	2 - 8	5 3. 4. 1	理 科	教務部
2 4	石 渡 和 子	4 9	2 - 9	4 7. 4. 1	国 語	教務部
2 5	大 石 幸 雄	3 8	2年主任	4 6. 4. 1	保 体	生徒指導部
2 6	佐 藤 光 子	4 6	2 年	5 0. 4. 1	音 楽	庶務部
2 7	安 原 美 代	2 6	"	5 0. 4. 1	英 語	学習指導部
2 8	筆 吉 則 子	3 3	"	4 9. 4. 1	家 庭	庶務部
2 9	千 田 正 之	3 9	3 - 1	4 3. 4. 1	保 体	生徒指導部
3 0	大 山 裕 子	3 1	3 - 2	5 1. 4. 1	社 会	保健指導部
3 1	佐 藤 実枝子	5 5	3 - 3	4 8. 4. 1	英 語	生徒指導部
3 2	村 上 敏 雄	4 2	3 - 4	4 7. 4. 1	音 楽	学習指導部
3 3	古 莊 斗糸子	3 8	3 - 5	4 5. 4. 1	数 学	教務部
3 4	高 崎 雅 子	4 2	3 - 6	4 6. 4. 1	国 語	教務部
3 5	稲 川 正 義	4 9	3 - 7	4 4. 4. 1	理 科	生活指導主任
3 6	渡 辺 恵 敏	4 2	3 - 8	4 6. 4. 1	理 科	生徒指導部
3 7	永 谷 豊	4 4	3年主任	4 7. 4. 1	技 術	保健指導部
3 8	由 佐 豊 子	3 5	3 年	4 7. 4. 1	国 語	庶務部
3 9	渡 辺 勉	5 2	"	4 4. 4. 1	数 学	教務主任
4 0	武 藤 光 哉	5 0	"	4 7. 4. 1	社 会	学習指導部
4 1	西 村 敦 子	3 8	"	4 7. 4. 1	家 庭	学習指導部
4 2	須 藤 節 子	3 0	養護教諭	4 5. 4. 1	養 護	保健指導部主任
4 3	佐 藤 博 助	5 7	主 査	4 9. 4. 1	事 務	学校事務主任・庶務部
4 4	市 川 昌 子	3 3	主 事	4 8. 1 0. 1 5	事 務	学校事務・庶務部
4 5	久 納 ともし子	2 3	主 事	5 2. 4. 1	事 務	学校事務・庶務部
4 6	川 村 道 雄	5 5	用 務 員	4 8. 4. 1 5	用 務	

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	教 科	校 務 分 掌
47	村 野 正 次	54	用 務 員	50. 7. 15	用 務	
48	田 村 静 子	49	講 師	53. 4. 1	美 術	
49	中 西 久 恵	39	講 師	53. 4. 1	保 体	
50	大 江 清 子	28	講 師	53. 4. 1	音 楽	
51	山 本 昭 子	32	教 諭	53. 4. 1	英 語	
52	伊 礼 博	35	講 師	53. 4. 1	保 体	

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	教科の経営について	昭和46年度	性教育について
昭和41年度	目標と評価（初年度）	昭和49年度	授業研究
昭和42年度	目標と評価（継続）	昭和50年度	授業研究
昭和43年度	環境整備について 市美術教育研究協力校	昭和51年度	授業研究
昭和44年度	環境美化について（継続）	昭和52年度	授業研究
昭和45年度	基本的生活習慣の具体的指導 について	昭和53年度	授業研究（内容の精選・指導 法の研究による基 礎学力の定着）

9. 本校の特色

3,000世帯を収容する多摩平団地のほぼ中央に位置する。東にけやきの大木、北に緑の中央公園に囲まれ、自然環境は良好。海拔105m。公害を知らない学校。51年度は6教室の校舎増築も完成した。広い校庭に恵まれ、体育系のクラブ活動は活発である。都の愛鳥モデル校に指定され、情操教育の一環として、生徒の手で野鳥の飼育をしている。青桐祭（運動会、文化祭）も3年目を迎え定着しつつある。

生徒数1,113名、26学級。出身小学校は、二小、三小、五小、六小、七小その他である。進路は殆ど全員が進学である。

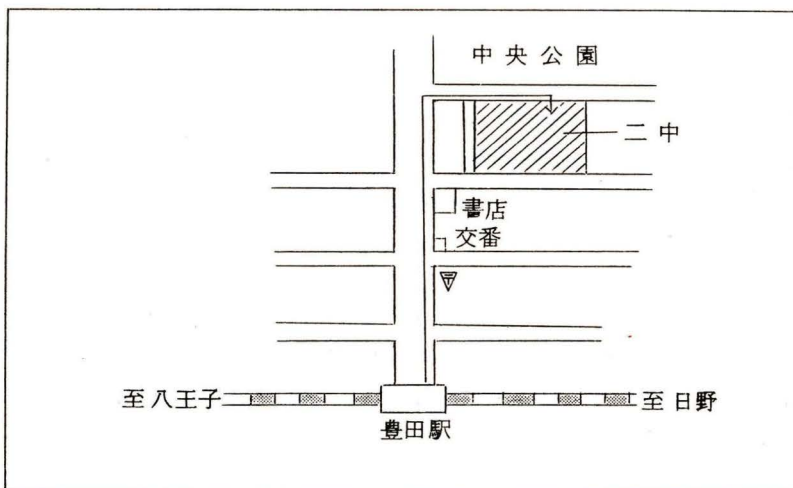
10. 都教育研究員・研究生歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員・研究生別
昭和49年度	村 上 敏 雄	音 楽	研 究 員
昭和51年度	村 上 敏 雄	音 楽	研 究 生
昭和51年度	内 田 耕一郎	数 学	現 代 化 委 員
昭和52年度	広 瀬 昭	英 語	研 究 員
昭和52年度	永 谷 豊	教育課題	〃

11. 保護者の職業一覧

職 業	家庭数	%	職 業	家庭数	%
専門的・技術的職業	94	9.0	技 能 的 職 業	53	5.0
管 理 的 職 業	75	7.2	運輸・通信的職業	17	1.6
事 務 的 職 業	705	67.2	サ ー ビ ス 業	15	1.4
販 売 的 職 業	68	6.5	無 職 ・ そ の 他	14	1.3
農 業	9	0.8	計	1,050	100%

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日野市立七生中学校
所 在 地 日野市南平 6-7-1
電 話 0425-91-0174・0175
順 路 南平駅(京王線)下車徒歩7分
豊田駅(国電) 下車徒歩15分

校長氏名 吉 岡 孝二郎

教頭氏名 川 崎 昭 三

1. 沿革の概要

- 昭22. 4. 1 学制改革により七生村立中学校を役場庁舎内に設置。
- 昭22. 5.15 七生村役場庁舎を仮校舎として開校式挙行 2部授業で発足。
- 昭23. 2.15 七生村南平1944番地に七生中学校敷地決定、地鎮祭を挙行
- 昭23. 9. 4 新校舎完成、本日より授業開始
- 昭32.12. 1 PTA結成第1回総会を挙行
- 昭32.12. 1 創立十周年の記念式典及び校歌制定の発表会を挙行
- 昭36. 7.15 プール新設工事着工(東京都費による)
- 昭37. 7.31 プール開きを挙行
- 昭41. 7. 1 体育館落成
- 昭41. 1.31 鉄筋コンクリート防音校舎改築はじまり現在にいたる。
- 昭45. 3.31 鉄筋コンクリート防音校舎九教室完成する。
- 昭45. 4. 1 七生中学校三中分校設置
- 昭45. 9.30 日野第三中学校開校につき七生中学校三中分校廃止
- 昭46. 3.31 第二期防音鉄筋校舎完成
- 昭46. 5.27 防音校舎落成記念式典挙行
- 昭46. 8.24 プール浄化装置、更衣室完成
- 昭47. 3.20 観察用水槽完成
- 昭47. 5.22 訪問学級開級式
- 昭47. 7.10 自然観察園完成
- 昭50. 5.22 南校舎西側増築工事完成

訪問学級教室完成

昭52.11. 3 創立30周年を祝う会挙行

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
飯塚 節 三	昭22. 4～昭25. 9
増山 恒	昭25.10～昭30.10
飯島 一 吉	昭30.10～昭37. 3
木村 功	昭37. 4～昭40. 3
芳西 幸 三	昭40. 4～昭44. 3
羽崎 一 男	昭44. 4～昭47. 3
高橋 太 一	昭47. 4～昭51. 3
吉岡 孝二郎	昭51. 4～現在

3. 地域の環境

学校は京王線より徒歩7分、中央線豊田駅より南へ20分、浅川にそう静かな位置にある。学区は京王線に沿って東西に長く、平坦部と多摩丘陵からなり、急速に都市化が進みつつある。生活環境がよく、生活指導には恵まれている。

学区近くには、高幡不動、また多摩動物園、平山城址等の文化施設がある。

4. 教育目標

(1) 学校の教育目標

教育基本法と学校教育法の定めるところに
もとづき、自主、敬愛、勤勉、責任、健康の
五つを教育目標とする。

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ① 人権を尊重し、実践活動をととして教育目標の達成実現に努力する。
- ② 家庭と緊密な連絡のもとに生徒の生活環境の実態把握につとめ、生徒ひとりひとりの個性をより広く理解して十分な教育効果を高める。
- ③ 年間授業時数を確保し、更に教材研究、授業研究をすすめる。

5. 指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア 各教科

基本的事項の指導の徹底をはかるとともに、進んで学ぶ態度を育てる。

イ 道徳

- ① 健康で明るく思いやりのある態度を養う。
- ② 謙虚に物事を理解し、判断して他人に感謝や尊敬の念を持つ態度を養う。
- ③ 物事に対して建設的でしかも積極的に実践していく態度を養う。
- ④ 強い責任感を持ち、進んで物事を行う態度を養う。
- ⑤ 公共物を愛護し、清潔・整頓等奉仕活動をととして、勤勉なる態度を養う。

ウ 特別活動

生徒の自主活動をととして規律正しい学校生活を築き、身心共に調和のとれた自主的な生活態度を育成する。

(2) 生活指導・進路指導の重点

学校の教育目標を身につけた中学生らしい生活態度を養成し、生徒の非行防止に努める。

(3) その他の配慮事項

健康の保持増進、交通に対する安全教育を推進する。更に本年度は生活指導に重点をおき、特に学級経営の充実をはかりたい。

6. 生徒数

	1 年	2 年	3 年	計		1 年	2 年	3 年	計
学級数	7	7	6	20	訪問学級				1
男	158	154	144	456	男	1	1	2	4
女	146	157	112	415	女	1	0	0	1
計	304	311	256	871	計	2	1	2	5

7. 教 職 員

(昭和54.3.31現在)

番号	氏 名	年 令	担 任	本校就任年月日	研究教科	校 務 分 掌
1	吉 岡 孝二郎	55.7	校 長	51. 4. 1	技 術	
2	川 崎 昭 三	50.1	教 頭	52. 2. 1	理 科	
3	三 浦 義 次	41.6	1年主任 1 - 1	49. 4. 1	技 術	生活指導
4	大 藪 和 子	52.2	1 - 2	48. 4. 1	数 学	生活指導
5	久 村 敏 男	27.8	1 - 3	52. 4. 1	理 科	教 務
6	成 舞 京 子	43.0	1 - 4	46. 4. 1	理 科	事 務
7	岡 部 隆 男	41.10	1 - 5	53. 4. 1	英 語	視聴覚
8	大 石 文 秋	32.5	1 - 6	50. 4. 1	国 語	研 究
9	白 井 政	35.0	1 - 7	53. 4. 1	保 体	保 健
10	永 井 みどり	28.11	1年所属	51. 4. 1	国 語	教 務
11	本 城 裕 彬	34.7	〃	51. 4. 1	社 会	生活指導主任
12	安 藤 ゆき江	38.3	〃	49. 4. 1	保 体	図 書
13	森 山 レイ子		産休補助		国 語	教 務
14	小 松 文 木	47.2	2 - 1	48. 4. 1	理 科	教務主任
15	本 田 貞 子	25.6	2 - 2	52. 4. 1	英 語	保 健
16	白 田 重 孝	51.2	2 - 3	53. 4. 1	数 学	視聴覚
17	佐 藤 栄	34.5	2 - 4	49. 4. 1	社 会	事 務
18	戸 川 二美子	31.1	2 - 5	45. 4. 1	国 語	研 究
19	釣 晃 敏	35.11	2 - 6	49. 4. 1	社 会	教 務
20	山 本 和 夫	26.5	2 - 7	51. 4. 1	保 体	生活指導
21	山 辺 文 男	56.10	2年所属	43. 4. 1	国 語	生活指導
22	大 沢 津 香	29.0	〃	52. 4. 1	音 楽	生活指導
23	阿 部 晃 一	46.8	2年主任	42. 4. 1	美 術	図書主任
24	高 木 あけみ	30.4	2年所属	51. 4. 1	英 語	教 務
25	守 屋 千 佑		産休補助		英 語	教 務
26	荒 井 式 子	47.1	3 - 1	48. 4. 1	社 会	図 書
27	天 野 敏 明	42.0	3 - 2	52. 4. 1	音 楽	研 究
28	内 藤 由紀子	41.7	3 - 3	49. 4. 1	英 語	保 健
29	山 川 昭 子	46.5	3 - 4	48. 4. 1	数 学	事 務
30	須 貝 光 一	31.2	3 - 5	53. 4. 1	保 体	生活指導
31	吉 田 太 郎	39.5	3年主任 3 - 6	51. 4. 1	理 科	生活指導
32	高 橋 定 吉	42.2	3年所属	53. 4. 1	国 語	生活指導
33	小 林 敏 朗	48.7	〃	53. 4. 1	数 学	教 務

番号	氏 名	年 令	担 任	本校就任年月日	研究教科	校 務 分 掌
34	高 野 徐 一	47.7	3年所属	53. 4. 1	美 術	視聴覚主任
35	高 見 登志子	32.8	〃	50. 4. 1	家 庭	教 務
36	御子柴 昭 治	52.2	訪問学級	47. 4. 1	訪 問	訪問学級
37	榎 沢 日出子	33.5	訪問学級	49. 4. 1	訪 問	訪問学級
38	箭 田 真由美	29.5	養 護	53. 4. 1	保 健	保健主任
39	吉 岡 興 村	45.0	事 務	51. 4. 1	事 務	事務主任
40	伊 藤 秀 則	41.2	休 職	49. 4. 1	保 体	休職中
41	中 村 やす子	30.0	主 事	51. 4.20		事 務
42	森久保 真知子	18.0	主 事	53. 4. 8		事 務
43	立 川 錦 国	60	主 事	49. 4. 1		用 務
44	宮 崎 惣 次	48	主 事	52. 4. 1		用 務
45	大 山 博 子	46	P.T.A	44. 9. 1		
46	佐 藤 靖 子	39	講 師	53. 4. 1	家 庭	
47	伊 礼 博	36	講 師	53. 4. 1	保健体育	

8. 本校研究主題の推移

昭和40年度	学校行事等の基本的考え方について
昭和41年度	学校行事等の調査検討
昭和42年度	学校行事等の指導計画作成について (市)
昭和43年度	学校と家庭の協力について (市)
昭和44年度	効率を高める学級経営のすすめ方について (市)
昭和45年度	生徒の自主性を高めるための生徒会活動のあり方について (市)
昭和46年度	効率をたかめるための指導のあり方について
昭和47年度	学級経営の効率的運営について
昭和48年度	ひとりひとりを生かす学級経営について
昭和49年度	ひとりひとりを生かす学級活動について
昭和50年度	生活指導を充実するための学級活動について
昭和51年度	生活指導を充実するための学級活動について
昭和52年度	授業の充実をめざして
昭和53年度	生活指導に重点をおき、学級活動の充実をめざして

9. 本校の特色

本校は浅川と四季それぞれ変化を見せる多摩丘陵にはさまれ、自然環境には恵まれた位置にある。

昭和35年頃までは、純農村であったが、現在は農業経営の子弟は2.0%、ほとんどがサラリーマンの子弟で、急速に生徒数も激増しつつある。

生徒は明かるく、素直であり、父母も教育熱心である。P T A活動も、伝統と新しさをうまく調和して建設的で意欲的である。

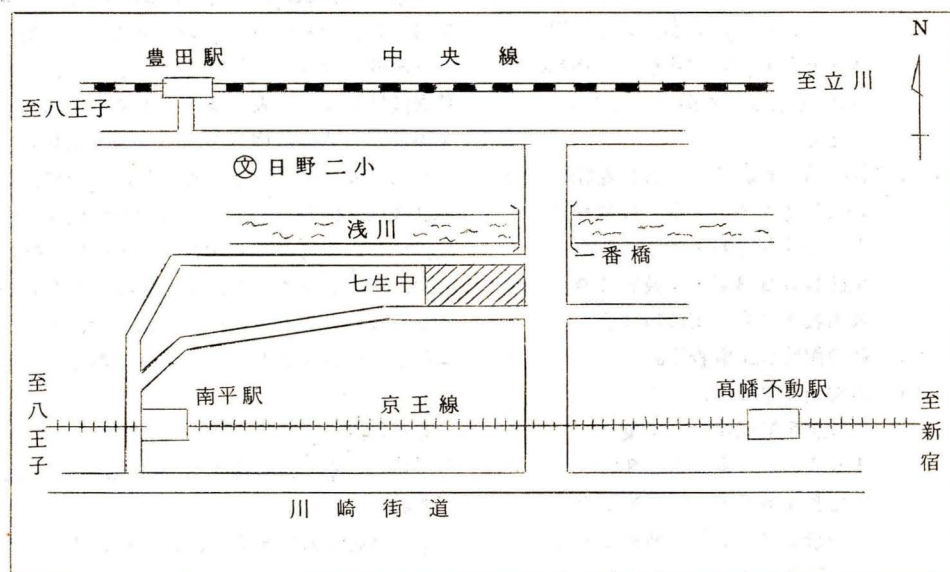
10. 都教育研究員・研究生歴

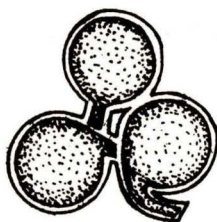
年 度	氏 名	教科領域	研究員・研究生別
昭和41年度	天 野 敏 明	音 楽	研 究 員
昭和43年度	阿 部 晃 一	美 術	〃
昭和45年度	小 松 文 木	理 科	〃
昭和46年度	三 浦 義 次	技 術	〃
昭和49年度	山 川 昭 子	数 学	〃

11. 保護者の職業一覧

	家庭実数	%		家庭実数	%
会 社 員	516	63.2	自 営 商 業	38	4.6
公 務 員	72	8.8	自 営 農 業	15	1.8
学 校 職 員	37	4.5	自 由 業	24	2.9
鉄道関係職員	27	3.3	無 職	7	0.8
公 団 職 員	6	0.7	そ の 他	23	3.2
自 営 工 業	51	6.2	計	816	100

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日 野 市 立 日 野 第 三 中 学 校
所 在 地 日 野 市 程 久 保 6 5 0
電 話 0 4 2 5 - 9 1 - 2 2 2 8 (代)
順 路 京王線高幡不動駅より百草団地行バスに
て高幡台団地下車 徒歩5分

校長氏名 田 中 弘 明

教頭氏名 小 林 節 夫

1. 沿革の概要

- 昭45. 4. 1 日野市立七生中学校日野第三中
分校として、七生中学校内で授
業開始。生徒数26名。教職員
数12名。
- 昭45. 7. 7 プール建設工事着工(日野市程
久保650)
- 昭45. 9. 4 校舎新築工事着工。(同上)
- 昭45.10. 1 日野市立日野第三中学校開校、
七生中学校内で授業。生徒数
44名、教職員14名。百草団
地、高幡台団地を学区とする。
- 昭45.10.2 8 プール工事竣工。
- 昭46. 3.27 校舎新築工事竣工。
- 昭46. 4. 1 学区変更、程久保地区全部、
三沢地区上、中を加える。生徒
数228名、学級数7、教職員
16名、市職員3名、日野市程
久保650番地の新校舎に移転。
- 昭46. 7. 1 学区変更、西部百草園団地を
加える。
- 昭46.10. 2 開校式挙行。10月2日を開校
記念日とする。校章、校歌を発
表、制定記念日とする。
- 昭47. 4. 1 生徒数363名、学級数10、
教職員19名、市職員4名。
- 昭47. 8.11 体育館建設工事着工。
- 昭48. 1.31 体育館工事竣工。
- 昭48. 3.17 第2回卒業式挙行。卒業生
105名。(累計128名)
- 昭48. 4. 1 生徒数455名、学級数12、
教職員22名。社会増による教
室不足のためプレハブ2教室増
設

- 昭49. 3.15 プレハブ家庭科室工事着工
- 昭49. 3.18 第3回卒業式挙行。卒業生
144名(累計272名)
- 昭50. 3.20 第4回卒業式挙行 卒業生
142名(累計414名)
- 昭50. 4. 1 校舎増築第二期工事竣工
- 昭51. 3.20 第5回卒業式挙行
- 昭52. 3.19 第6回卒業式挙行
- 昭53. 3.22 第7回卒業式挙行

2. 歴代校長

- 初代 橋本 敏一 昭45.9～48.3
二代 松延 耕作 昭48.4～53.3
三代 田中 弘明 昭53.4～現在

3. 地域の環境

本校の学区は、日野市南部の多摩丘陵地帯
に位置し、日本住宅公団の百草団地、高幡台団
地と民間分譲地の三井団地、電建団地、西部百
草園団地および在来の集落である程久保、三沢
をふくんだ人口急増のベッドタウンである。

起伏が多く林に囲まれた静かな高台で、眼下
には浅川が流れ、はるかに武蔵野台地を一望に
見渡すことができる。学区内に都立多摩動物
公園、明星大学があり、よい環境である。住民
の多くは各地より最近移住した者で、その大半
は都心へ通勤するサラリーマンである。

4. 教育目標

- (1) 自ら判断し、責任をもって実行する人とな
る。
- ① 基礎学力を充実し、文化を創造する人とな
ろう。
- ② 豊かな心を養い、力を合わせて進もう。

③ 若い人らしい気力、体力を養おう。

(2) 基本方針

① 教育目標の具現化をはかり、学級経営の充実をはかる。

② 基礎指導をじゅうぶん行ない、個人および集団の自主性を高める指導方法をくふうする。

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科・道徳・特別活動の指導の重点

ア 各教科

教材を精選するとともに、自主的学習を促進し、学習の効率化をはかる。

イ 道徳他領域との関連をはかりながら、豊かな心を養い、自主的判断のもとに責任ある行動ができるように指導内容をくふうする。

ウ 特別活動

① 小集団を基礎に個人の自発的活動をうながし、学級集団の質を高める。

② 学級学年の活動を母体としての生徒会活動の充実をはかる。

(2) 生活指導・進路指導の重点

ア 生活指導 学級の基礎の上に立った生徒会活動を伸長させ、組織を通して自律ある生活態度を身につけさせる。

イ 進路指導 教師・生徒・保護者の緊密な交流をはかり、各学年に応じた系統的指導を実践する。

6. 生徒数

	1 年	2 年	3 年	計
学 級 数	8	8	6	22
男	178	164	125	467
女	156	187	130	473
計	334	351	255	940

7. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	教 科	校 務 分 掌
1	田 中 弘 明	57	校 長	53. 4. 1		経 営
2	小 林 節 夫	48	教 頭	49. 4. 1	美 術	〃
3	鈴 木 幸 子	47	1 - 1	45.10. 1	数 学	研究部
4	加 藤 和 則	25	1 - 2	53. 4. 1	理 科	事務部
5	富 山 謙 一	32	1 - 3	49. 4. 1	社 会	生活指導部
6	高 橋 清 子	34	1 - 4	53. 4. 1	家 庭	〃
7	遠 藤 仁	44	1 - 5	45.10. 1	英 語	教務部
8	中 山 且 己	25	1 - 6	53. 4. 1	美 術	研究部
9	羽 生 幸 一	45	1 - 7	52. 4. 1	国 語	事務部
10	桜 井 絢 子	40	1 - 8	46. 4. 1	体 育	保健部

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	教 科	校 務 分 掌
1 1	大 塚 長 栄	4 8	教務代表	4 9. 4. 1	国 語	教務部
1 2	加 島 俊 博	3 0	1 学 年	5 0. 4. 1	技 術	研究部
1 3	大 坪 久美子	4 0	〃	5 1. 4. 1	数 学	情報センター
1 4	長 島 寿 平	5 5	学年代表	4 5.1 0. 1	理 科	情報センター
1 5	伊 佐 節 子	4 0	1 学 年	5 0. 4. 1	養 護	保健部
1 6	北 原 景 昭	4 4	2 - 1	4 5.1 0. 1	体 育	生活指導部
1 7	泉 歌 代	3 7	2 - 2	5 2. 4. 1	体 育	事務部
1 8	五十嵐 公 恵	4 6	2 - 3	5 0. 4. 1	国 語	情報センター
1 9	星 野 明	5 8	2 - 4	4 8. 4. 1	国 語	生活指導部
2 0	坂 田 直 子	2 4	2 - 5	5 2. 4. 1	英 語	生活指導部
2 1	吉 住 重 稔	2 2	2 - 6	5 3. 4. 1	理 科	教務部
2 2	河 野 裕 香	4 4	2 - 7	4 5.1 0. 1	音 楽	保健部
2 3	宮 尾 文 子	4 1	2 - 8	5 0. 4. 1	理 科	生活指導部
2 4	綿 引 正 己	4 8	学年代表	4 9. 4. 1	英 語	研究部
2 5	秦 好 一	5 3	2 学 年	5 2. 4. 1	社 会	情報センター
2 6	水 野 英 世	4 7	〃	5 2. 4. 1	数 学	事務部
2 7	佐 藤 恒	4 6	〃	4 5.1 0. 1	美 術	事務部
2 8	志 茂 知 之	4 6	生指主任	4 7. 4. 1	社 会	生活指導部
2 9	佐 藤 寿 枝	3 8	3 - 1	4 5.1 0. 1	家 庭	保健部
3 0	東 郷 隆 盛	5 1	3 年代表 3 - 2	4 5.1 0. 1	国 語	教務部
3 1	小 林 広	3 0	3 - 3	5 2. 4. 1	社 会	生活指導部
3 2	菊 地 貞 光	3 9	3 - 4	4 8. 4. 1	技 術	事務部
3 3	新 井 幹	4 6	3 - 5	5 2. 4. 1	音 楽	教務部
3 4	加 藤 常 光	4 1	3 - 6	5 0. 4. 1	体 育	研究部
3 5	細 谷 洋 三	4 4	3 学 年	4 8. 4. 1	理 科	生活指導部
3 6	西 出 恒 子	4 2	〃	5 2. 4. 1	英 語	情報センター
3 7	高見沢 文 男	2 8	〃	4 8. 4. 1	数 学	教務部
3 8	大 室 郁 夫	2 4	主 事	5 1. 6. 1		事務部

(講 師)

1	広 瀬 玲 子	2 6		5 3. 4. 1	音 楽	
2	林 美津子	3 8		5 3. 4. 1	社 会	

8. 本校研究主題の推移

昭和46年度	評価の改善について 学級活動の組織的研究
昭和47年度	評価について 教育活動（特活を中心としたもの）年間計画の検討
昭和48年度	視聴覚教育機器の取り扱いと利用法の研究
昭和49年度	完全給食実施に関する諸問題について
昭和50年度	学級における自主性の指導
昭和51年度	クラブ問題について
昭和52年度	校務分掌のみなおし（生徒の実態をふまえて）

9. 本校の特色

本校は多摩丘陵の高台に位置し、南には雑木林が接し、四季おりおりの樹木、小鳥のさえずりを楽しむことができる。

開校以来、「自ら判断し、責任をもって実行する人となる」の教育目標の具現をめざし、全教育活動を通じて、生徒の自主性の育成につとめている。

10. 都教育研究員・研究生歴

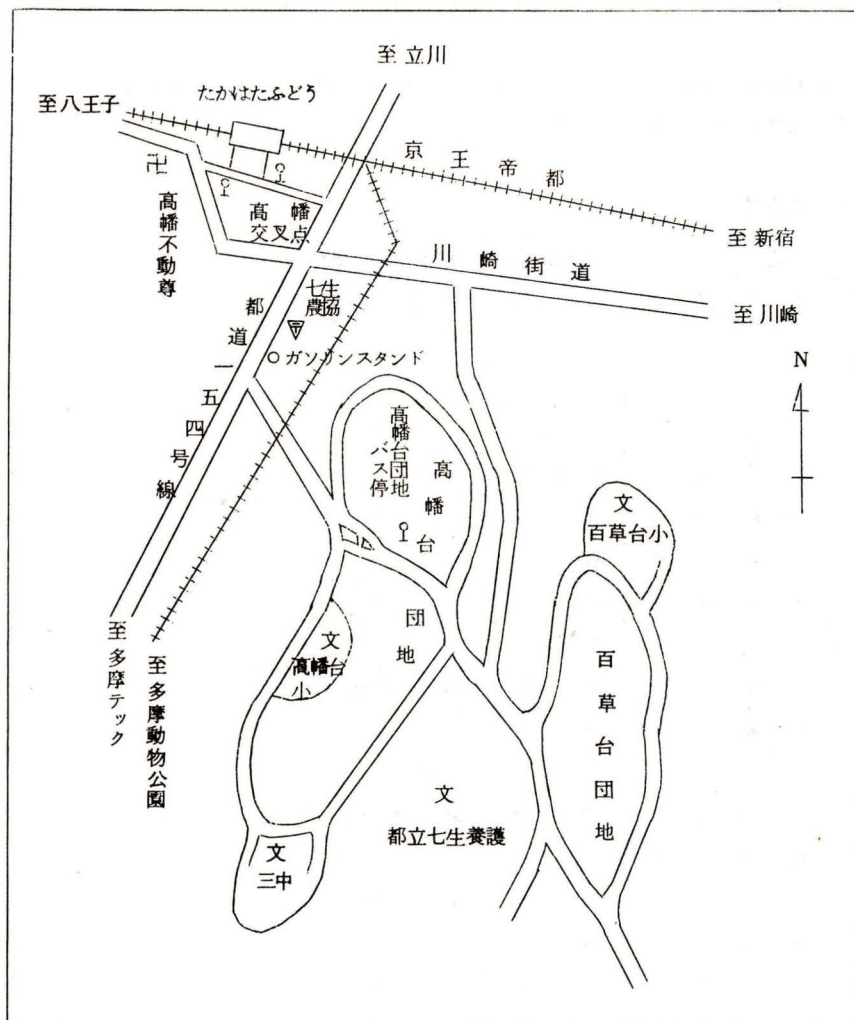
年 度	氏 名	教科領域	研究員・研究生別
昭和38年度	小 林 節 夫	美 術	研 究 員
昭和39年度	〃	〃	〃
昭和40年度	〃	〃	〃
昭和43年度	志 茂 知 之	安全教育	〃
昭和44年度	綿 引 正 己	教育方法	〃
昭和44年度	小 林 節 夫	美 術	〃
昭和45年度	加 島 俊 博	技 術	〃
昭和46年度	東 郷 隆 盛	国 語	〃
昭和48年度	志 茂 知 之	教育経営	〃
昭和48年度	小 林 節 夫	美 術	教育現代化委員
昭和49年度	五十嵐 公 恵	国 語	〃
昭和50年度	大 塚 長 栄	国 語	研 究 員
昭和50年度	志 茂 知 之	社 会	教育現代化委員
昭和51年度	加 藤 常 光	特 活	研 究 員
昭和51年度	綿 引 正 己	英 語	教育現代化委員
昭和51年度	大 塚 長 栄	国 語	研 究 員
昭和52年度	富 山 謙 一	社 会	〃

11. 保護者の職業一覧

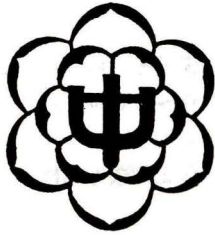
※生徒数941名 家庭実数876

職 業	家庭実数	%	職 業	家庭実数	%
専門的・技術的職業	188	41.214	運輸通信などの職業	50	5.7
管 理 的 職 業	250	28.5	保 安 的 職 業	19	2.2
事 務 的 職 業	176	20.1	サービスの職業	20	2.3
販 売 的 職 業	72	8.2	無 職 ・ そ の 他	13	1.5
農林漁業などの職業	1	0.3			
技 能 的 職 業	87	10.0	計	876	100.0

12. 学校に至るまでの地図



順路：京王線高幡不動駅より百草団地行バスにて高幡台団地下車 徒歩5分



学 校 名 日野市立日野第四中学校
所 在 地 日野市旭ガ丘2-42
電 話 0425-83-3905
順 路 中央線豊田駅下車 徒歩17分
バス(長房団地行)都立工科短大下車5分

校長氏名 山 口 幸 雄

教頭氏名 河 野 寿 忠

1. 沿革の概要

- 昭47. 8.21 四中校舎起工式(工事費1.9億円。施工小田急建設)
- 昭48. 1.18 屋内体育館着工(工費約4千6百万円。施工小田急建設)
4. 1 初代校長 河村俊一郎以下教員24名発令。開校
4. 6 始業式(2年193名、3年152名)
4. 9 第一回入学式(1年192名、全校生徒537名)
- 5.13 プール着工(工費約2,700万円)
- 6.11 プレハブ2教室使用開始
7. 2 屋内体育館完成使用開始
- 7.18 本校シンボル「泰山木」決定
8. 7 プール落成
- 10.13 校歌作詞完成
- 10.16 校章決定
- 10.16 教育目標設定
- 11.10 校歌作曲完成(寺原伸夫)
- 11.14 PTA規約承認 PTA発足
- 11.16 校旗完成
- 11.17 落成式挙行
- 11.22 第一回開校記念日
- 昭49. 2. 2 標準服制定
- 3.18 第一回卒業式(男73、女79)
4. 6 プレハブ3教室使用開始
4. 8 第二回入学式(男129、女122)
- 4.24 佐藤イサ教諭記念造園完成
- 5.30 保健室冷房装置取付
7. 1 増築工事開始(校舎3スパン、体育倉庫・校庭砂場・物置き・機械室)工費約1.6億円

施工 小田急建設

- 昭49. 7. 3 保健室 空気清浄装置取付
- 8.14 玄関前、校門前植樹
9. 6 駐車場舗装
- 10.19 玄関前コンクリート舗装
- 昭50. 1. 8 体育倉庫、砂場完成
- 3.18 増築完成 学校へ引き渡し
- 3.20 第二回卒業式(男130、女123)
4. 7 自転車置き場、新校舎使用開始
4. 8 第三回入学式(男136、女129)
- 4.26 テニスコート 学校へ引渡し
校庭の校舎側U字溝設置
9. 9 物置使用開始
- 昭51. 1.16 図書館開館
- 2.12 赤電話設置
- 3.19 第三回卒業式(男100、女97)
4. 6 プレハブ2教室使用開始
4. 7 第四回卒業式(男173、女144)
- 12.22 玄関前アスファルト舗装
- 昭52. 3.19 第四回卒業式(男127、女124)
4. 6 プレハブ6教室使用開始
4. 7 第五回入学式(男164、女176)
- 9.13 第三期工事開始(東端3スパン
美術室を理科室に改造)工費
9,500万円 施工小田急建設
年度末完成
- 昭53. 3.22 第五回卒業式(男141、女136)
- 3.28 校庭防球フェンス設置

2. 歴代校長

氏 名 年月 ~ 年月

初代 河 村 俊一郎 昭48.4.1~52.3.31

二代 山 口 幸 雄 52.4.1~現在

3. 地域の環境

本校の学区は、地形的・地質的には北半の洪積台地（日野台）と南半の浅川ぞいの沖積低地に2分されている。台地部は2～3段の段丘状になっており、その境界は高低差10～20mの急崖になっている。

この地域は昭和初期まで、人家はほとんどなく、昭和12年、小西六写真工業（株）（六桜社）、昭和18年富士電機製造（株）の進出まではほとんど見るべきものはなかった。

しかし戦後はここも近代化の波が押しよせ、昭和33年多摩平団地入居をきっかけに人口は急増をはじめた。

平山工業団地、国鉄豊田電車区、多数の住宅、アパートなど畑や雑木林をつぶして設置され、学区内の様相は最近10年間でいじりく変化し、人口が急増した。

4. 教育目標

平和で民主的な国家、社会の形成者の育成をめざし、つぎの目標を定めます。

- 一 進んで学習し、向上する人
- 一 進んで力を合わせ、みんなのために努力する人
- 一 進んで心身を鍛え、やりぬく人

学校の教育目標を達成するための基本方針

- (1) 教育内容 基本事項の系統化をはかるとともに、生徒の思考過程をたいせつにするよう教育内容を配列する。
- (2) 指導方法 興味や関心を重んじ、積極的に学習するよう指導する。
- (3) 時数配当 自主性・社会性・実践力（気力・知力・体力）の育成と豊かな情操の育成をめざし、特別活動、音楽、美術は標準時数以上を実施する。

5. 本年度指導の重点

(1) 各教科

- ア 進んで学びとる学習態度を育成する。
- イ 基礎学力の充実をはかる。
- ウ 教材の精選、指導法の研究に努める。

(2) 道徳

- ア 基本的行動様式、特に整理整頓、時と場所に応じたふるまいを身につけさせる。
- イ 異なる考えや立場も尊重する態度を養う。
- ウ よく考えて行動し、結果に責任をもつ態度を養う。

(3) 特別活動

- ア 教師と生徒、生徒相互の心のふれあいを深める。
- イ 自主的に判断し、自発的に行動し、協力する態度と習慣を身につけさせる。

(4) 生活指導

- ア 組織集団を通して自主的に判断し行動する生活態度を養う。
- イ ひとりひとりの生徒との交流（個別指導）と集団指導とが、互いに補足し合うような指導をすすめる。
- ウ 賞さん、承認、注意、指示など適切に反復指導し、基本的な生活習慣を身につけさせる。
- エ すべての教師が全生徒の指導にあたる。それ故、教師の共通理解を深める。

(5) 進路指導

系統的な指導に努め、自己の理解、情報の分析を通して、将来の進路を選択する態度と能力を育成する。

(6) その他の配慮事項

ア 学校の主体性を基盤におき、保護者との連携を推進する。

イ 日野市の指導目標の重点にのっとり、授業研究の推進につとめる。

6. 生徒数

4月10日現在

	1 年	2 年	3 年	計
学 級 数	8	8	7	23
男 子	173	166	169	508
女 子	187	170	139	496
男 女 計	360	336	308	1,004

7. 教職員一覧

番号	氏 名	年令	担 当	本校就任年月日	担当教科	校 務 分 掌
1	山 口 幸 雄	50	校 長	52. 4. 1		
2	河 野 寿 忠	47	教 頭	48. 4. 1	理 科	
3	大 野 馨	45	事務主査	48. 4. 1		事務主任
4	丸 山 尚 夫	46	1年主任	48. 4. 1	数 学	時間割
5	堀 江 富 男	27	1 - 1	49. 5. 1	国 語	視聴覚
6	佐 藤 恵 子	26	1 - 2	53. 4. 1	家 庭	清掃指導
7	鈴 木 浩	40	1 - 3	53. 4. 1	保 体	生徒会
8	柳 沢 美 澄	42	1 - 4	48. 4. 1	英 語	道徳・学活 学校通信
9	大 野 滯 子	43	1 - 5	50. 4. 1	音 楽	出席統計
10	富 士 堯	46	1 - 6	48. 4. 1	理 科	研究・研修
11	木 村 守	45	1 - 7	50. 4. 1	英 語	就学援助・営繕
12	鎌須賀 正 克	26	1 - 8	51. 4. 1	数 学	生徒会
13	鈴 木 良 身	47	1年所属	48. 4. 1	技 術	生活指導主任
14	黒 沢 谷五郎	53	〃	48. 4. 1	社 会	安全指導
15	門 脇 年 子	47	〃	49. 4. 1	美 術	給食・就学援助
16	高 橋 恵 子	26	〃	52. 4. 1		養護・保健指導
17	西 川 利 行	53	2年主任	48. 4. 1	英 語	生徒指導
18	国 信 武 司	29	2 - 1	48. 4. 1	社 会	生徒会
19	天 野 節 子	39	2 - 2	52. 4. 1	国 語	清掃指導 学校通信
20	鈴 木 健 一	30	2 - 3	48. 4. 1	保 体	クラブ指導
21	相 原 美智子	42	2 - 4	48. 4. 1	数 学	転出入・教科書
22	小 畑 亮	56	2 - 5	48. 4. 1	美 術	庶務主任

番号	氏 名	年令	担 当	本校就任年月日	担当教科	校 務 分 掌
23	設 楽 悦 代	42	2 - 6	48. 4. 1	理 科	視聴覚
24	持 田 友 宏	44	2 - 7	52. 4. 1	社 会	教務事務
25	水 田 節 子	31	2 - 8	52. 4. 1	英 語	保健指導
26	藤 原 和 代	32	2年所属	48. 4. 1	保 体	視聴覚
27	工 藤 満 春	43	"	49. 4. 1	理 科	道徳・学活
28	赤 木 清 福	54	"	52. 4. 1	国 語	学習指導主任
29	萩 原 典 子	50	3年主任	48. 4. 1	家 庭	清掃指導
30	樋 口 恢 武	34	3 - 1	51. 4. 1	社 会	図 書
31	野 口 志乃ぶ	26	3 - 2	50. 4. 1	国 語	研究・研修
32	久保田 俊 司	36	3 - 3	49. 4. 1	英 語	教育課程
33	藤 倉 満里子	27	3 - 4	51. 4. 1	理 科	保健指導
34	田 中 佳 弘	26	3 - 5	51. 4. 1	技 術	施設・備品・給食
35	伊 藤 誠	29	3 - 6	48. 4. 1	保 体	クラブ指導
36	西 村 美紗子	42	3 - 7	48. 4. 1	音 楽	道徳・学活
37	吉 見 光 雄	45	3年所属	53. 4. 1	数 学	クラブ指導・進路指導主任
38	高 木 宏 文	45	"	48. 4. 1	数 学	教務主任
39	六本木 茂	49	"	48. 4. 1	社 会	生徒指導・就職指導
40	田 中 栄 一	51	"	48. 4. 1	国 語	図書・学校通信
41	北 条 義 道	66	講 師	52. 4. 1	国 語	
42	野 原 幸 子	36	"	52. 4. 1	理 科	
43	飯 野 清 子	29	"	52. 4. 1	音 楽	
44	浅 井 健 作	29	"	52. 4. 1	美 術	
45	中 川 キイ子	40	"	52. 4. 1	保 体	
46	溝 田 一 成	28	"	52. 4. 1	技 術	

8. 本校の研究主題の推移

昭和48年度 学習指導の現代化（授業研究）

昭和49年度 生徒の自主性をのばす教科指導（授業研究）

昭和50年度 生徒の自主性をのばす教科指導（授業研究）

昭和51年度 進んで学習し行動する生徒を育てる指導法（授業研究）

昭和52年度 進んで学習し行動する生徒を育てる指導法（授業研究）

昭和53年度 進んで学習し行動する生徒を育てる指導法（授業研究）

9. 本校の特色

(1) 教育活動 各領域の調和に心掛けつつ、新しい校風を発展させる意気に燃えている。

ア 授業 校内の研究を深め、1時間1時間をたいせつにする。授業打切りは極力さけ、真面目な生徒を育てる。

イ 特別活動 学級(毎月曜)、生徒会(毎金曜)、クラブ(毎木曜)、学校行事(適時)の調和をめざし、一方に片寄ることなく、時間を厳守して活動し、自発性、自律性を育てる。

下校時刻後、校内に残留する生徒は1名もいない。

クラブは他に、火、木は5時15分まで、土は4時まで自主的活動を時間外に可能とし、全職員分担して指導している。

(2) 授業研究推進

市の学校教育の指導目標にのっとり授業研究の推進につとめる。

(3) 父母との連携

学校通信(学校のようす、生徒の創作)を毎週2～3回全家庭に配布し、共通理解を深め協力態勢を高める。

(4) 美化緑化の推進

校樹泰山木の幼樹を育て、播種による柵周辺の樹木の育成、緑の学園をめざすと共に校内の美化に努める。

10. 都教育研究員・研究生歴

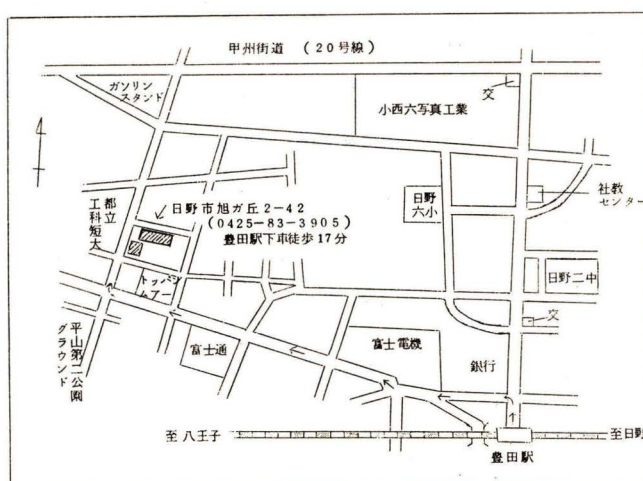
S 4 1	河野 寿忠	研究員	理科(日野一中)	S 3 0	西川 利行	研 究 生	教育大英(八王子五中)
S 4 1	富士 堯	〃	特活(〃)	S 4 6	富士 堯	〃	都 研 理(日野一中)
S 4 5	田中 栄一	〃	国語(日野二中)	S 4 9	持田 友宏	〃	社 会(日野三中)
S 4 4	西村美紗子	〃	音楽()	S 4 9	丸山 尚夫	研 究 員	進 路(日野四中)
S 3 5	西川 利行	〃	英語(八王子五中)	S 4 8	西川 利行	現代化委	学校経営(〃)
S 4 6	高木 宏文	〃	数学(日野二中)	S 4 9	高木 宏文	〃	特別活動(〃)
S 4 7	持田 友宏	〃	社会(日野三中)	S 5 2	丸山 尚夫	〃	数 学(〃)
				S 5 3	樋口 恢武	研 究 員	社 会(〃)

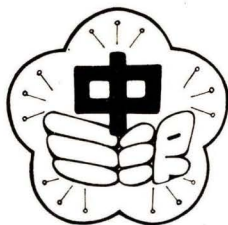
11. 保護者の職業一覧

各クラス在籍者全員調査 全校生徒 1,004名

区 分	内 容	人 数	%
教 員	幼・小・中・高・各種学校	35	3.49
学者・研究者	大学・研究所	12	1.20
医 師	開業医・病院医とも	8	0.80
国鉄・私鉄職員		56	5.58
警 察 署 勤 務		6	0.60
銀 行 勤 務	銀行・信用金庫	21	2.09
公社・公団職員		27	2.68
公 務 員	役所・公共施設勤務	72	7.17
自 営 商 工	商業・工業・アパート経営	94	9.36
店 員 ・ 工 員		30	2.99
企 経 営 者	役員・重役等	34	3.39
業 会 社 員	部課長・一般職員とも	533	53.09
サ ー ビ ス 業	美容・理容・タクシー運転手・ウエイトレス・料理人・看護婦	32	3.19
農 業		2	0.20
無 職		10	1.00
そ の 他	宗教団体・政治団体・奉仕団体等の職員 自由業（タレント・セールス・デザイナー） 著述業・建築士等	32	3.19
合 計		1,004	100

12. 学校に至るまでの地図





学 校 名 日野市立三沢中学校
所 在 地 日野市三沢 25 番地
電 話 0425-92-5017・5018
順 路 京王線百草園駅より西へ徒歩 12 分

校長氏名 古 川 豊

教頭氏名 柳 瀬 治 男

1. 沿革の概要

昭 51. 9.18 仮称 5 中学校舎起工式（工事費 5 億 9,569 万円 施工 東急建設）

10.23 プール着工（工事費 3,712 万円 施工 青木建設）

12.23 屋内体育館着工（工事費 8,480 万円 施工 東京建設興業）

昭 52. 2. 1 初代校長古川豊発令

4. 1 日野市立三沢中学校開校教頭以下教職員 22 名発令

4. 6 始業式（2 年 156 名、3 年 147 名）

4. 7 第一回入学式（1 年 188 名、全校生徒 491 名）

5.20 機械警備開始

5.25 グラウンド使用開始

6.28 プール使用開始

9.16 第一回開校記念日

10.17 落成式挙行

10.25 砂場・鉄棒完成

12. 5 ミルク給食開始

12.10 校歌・校章発表会
（校歌・校章・校旗制定）

昭 53. 1.15 校庭スポーツ開放開始

2.28 校旗完成

3.22 第一回卒業式
（男 80 名、女 66 名）

4. 7 第二回入学式

（男 109 名、女 85 名）

2. 歴代校長

初代 古川 豊 昭 52.2.1～現在

3. 地域の環境

本校は、京王線の高幡不動駅と百草園駅のほぼ中間の北側にある。学区は京王線に沿って北は浅川までの平坦部、南は多摩丘陵からなり環境に恵まれ、高幡不動尊・百草園などの名所がある。

京王線踏切と交通量の多い川崎街道をかかえているので、交通安全指導には力を入れている。

4. 教育目標

憲法と教育基本法にのっとり、平和で民主的な人間に育成することをめざして、次の目標を定める。

- ①みずから学び、真の学力を身につけた人間に育てる。
- ②心豊かで、みんなと協力できる人間に育てる。
- ③からだをきたえ、健全な心身をもつ人間に育てる。

教育目標を達成するための基本方針

- ①授業をたいせつにし、教材研究ならびに授業研究にとりくむ。
- ②生徒と接する機会を多くもち、生徒理解を深める。
- ③りっぱな校風を築き、教育環境を整えるた

め、教職員は和をもってこれにあたる。

5. 指導の重点

① 各教科

◦基礎学力の充実のために、教材を精選し、系統化して学習の効率化をはかる。

② 道徳

◦ひとりひとりの人権を尊重する人間に育てる。

◦きまりを守り、集団や社会の一員として自覚し、行動する態度を伸ばす。

③ 特別活動

◦自主性を育て、堅実な思考力と豊かな文化的創造性を育成するために、教師と生徒が一体となって発表の場や機会を作る。

④ 生活指導

りっぱな校風と伝統を築き上げるため

◦規律ある集団づくりを進める。

◦積極的に環境づくりにとりくむ。

⑤ 進路指導

◦自己理解を深め、進路選択の能力を養うよう各学年に応じた系統的指導を実践する。

⑥ その他

◦こどもの内面的に高まってくれることを願い、図書館の充実、視聴覚の行事等を盛んに行う。

◦学校と家庭の連けいを密にする。

◦安全教育の推進に努める。

6. 生徒数

	1 年	2 年	3 年	計
学 級 数	5	5	4	14
男	109	92	72	273
女	85	93	84	262
計	194	185	156	535

7. 教職員

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	校 務 分 掌
1	古 川 豊	52	校 長	52. 2. 1	英 語	
2	柳 瀬 治 男	44	教 頭	52. 4. 1	理 科	
3	佐 藤 良 枝	55	1年主任	52. 4. 1	国 語	研 修
4	鈴 木 清 司	45	1 - 1	52. 4. 1	社 会	生活指導主任
5	河 田 公 枝	38	1 - 2	52. 4. 1	家 庭	給 食

番号	氏 名	年令	担 任	本校就任年月日	研究教科	校 務 分 掌
6	磯 岡 邦 雄	23	1 - 3	5 2. 4. 1	保 体	清掃指導
7	猪 井 詔 子	32	1 - 4	5 2. 4. 1	英 語	統 計
8	佐 藤 至 正	33	1 - 5	5 2. 4. 1	技 術	施設・備品
9	明 石 敏 春	48	1年所属	5 2. 4. 1	数 学	教務主任
10	新 井 教 旦	40	2年主任 2 - 1	5 2. 4. 1	数 学	生徒会
11	原 沢 和 江	38	2 - 2	5 2. 4. 1	理 科	教科書・転出入
12	松 田 健 司	23	2 - 3	5 2. 4. 1	英 語	道 徳
13	加 藤 邦 子	38	2 - 4	5 2. 4. 1	保 体	営 繕
14	中 村 勝 郎	29	2 - 5	5 2. 4. 1	社 会	生徒会
15	乙 黒 静 子	49	2年所属	5 2. 4. 1	美 術	保健指導
16	樽 川 和 恵	26	〃	5 2. 4. 1	国 語	図書館
17	橋 本 貴 幸	45	3年主任	5 2. 4. 1	理 科	視聴覚
18	田 熊 裕	41	3 - 1	5 2. 4. 1	数 学	クラブ
19	天 野 和 子	26	3 - 2	5 2. 4. 1	英 語	表 簿
20	柁 原 宏 江	30	3 - 3	5 2. 4. 1	国 語	安全指導
21	大 宅 寛	43	3 - 4	5 2. 4. 1	音 楽	学習指導部主任
22	沓 沢 博	31	3年所属	5 3. 4. 1	社 会	時間割
23	富 樫 昭 子	36	養護教諭	5 2. 4. 1	養 護	保健指導
24	八 木 守	54	主 査	5 2. 4. 1	事 務	事務主任
25	中 井 芳 子	47	講 師	5 3. 4. 1	国 語	
26	内 田 功	38	〃	5 3. 4. 1	理 科	
27	松 葉 恭 子	28	〃	5 3. 4. 1	音 楽	
28	荻 原 延 元	30	〃	5 3. 4. 1	美 術	
29	伊 礼 博	35	〃	5 3. 4. 1	保 体	
30	中 川 キイ子	40	〃	5 3. 4. 1	保 体	
31	笠 間 信 也	45	〃	5 3. 4. 1	技 術	
32	大 和 幸 子	46	主 事	5 2. 4. 1		事 務
33	土 方 栄 子	21	〃	5 2. 4. 1		事 務
34	石 坂 正 三	63	〃	5 2. 4. 1		用 務
35	西 浦 賢 治	64	〃	5 2. 1 2. 7		用 務

8. 本校研究主題の推移

昭和52年度 基礎学力の充実（授業研究）・教育機器の活用法

昭和53年度 生徒を授業に集中させるための指導法

学級づくりのすすめ方・教育機器の活用法

9. 本校の特色

昭和52年4月1日開校で、本年は二年目にあたる。

近代的な設備の整った校舎であり、自然環境にも恵まれた位置にある。教職員も新しい校風をつくるため意欲的にこれにあたっている。生徒は明るく、素直であり、父母も学校への期待が大きく、教育に熱心で協力的である。

10. 都教育研究員・研究生歴

年 度	氏 名	教科領域	研究員・研究生別
昭和41年度	乙 黒 静 子	美 術	研究員（亀 有 中）
昭和46年度	橋 本 貴 幸	理 科	研究員（立川三中）
昭和49年度	田 熊 裕	数 学	研究員（日 野 中）

11. 保護者の職業一覧

職 業	家 庭 数	%	職 業	家 庭 数	%
会 社 員	2 6 8	5 4.5	農 業	1 4	2.9
自 営 工 業	4 1	8.3	自 由 業	8	1.6
公 務 員	3 9	7.9	公団・公社職員	6	1.2
自 営 商 業	3 4	6.9	無 職	7	1.4
サ ー ビ ス 業	3 1	6.3	そ の 他	1 1	2.2
学 校 職 員	1 7	3.5			
鉄道関係職員	1 6	3.3	計	4 9 2	1 0 0

12. 学校に至るまでの地図

